

創立 70 周年記念誌
日本鍍金協会 十日会



輝くめつき

輝く未来

目次

始めに

十日会会長	江原 弾	6
十日会創立 70 周年記念式典実行委員長	石川 英孝	8

祝 辞

全国鍍金工業組合連合会 会長	森 脇 隆	10
東京都鍍金工業組合 理事長 東京鍍金公害防止協同組合	神谷 博行	11
日本鍍金協会 会長	渡邊 享祐	13
名鍍会 会長	伊 藤 亮	14
大阪青年鍍金研究会 会長	河 合 博	15

回 顧

10 年間を振り返って ～十日会活動回顧録～	18
役員名簿	38
世界史・日本史	42
十日会賞 受賞者名簿、ゴルフ大会リザルト	48

寄稿文 ～十日会と共に歩んだ人生～

八幡鍍金工業株式会社 取締役会長	八 幡 順一	56
神谷電化工業株式会社 代表取締役	神谷 博行	57
立石電化株式会社 代表取締役	狐 塚 保之	58
福井電化工業株式会社 取締役会長	福 井 順子	59

座談会 ～輝ける未来に向かって～

62

十日会会則・十日会賞表彰規定・十日会道標	82
十日会 会員名簿	90
J.E.S. 日本鍍金協会とは	94
広告	99
編集後記	138

初めに



『十日会創立 70 周年を迎えて』

日本鍍金協会 十日会会長 江原 弾

この度、日本鍍金協会十日会は昭和 23 年の発足以来、創立 70 周年という大きな節目を迎えることが出来ました。

この大きな節目の年に歴史ある十日会の周年行事を催す事が出来ますのも諸先輩方の深い理解と会員皆様方、多くの関係者のご指導、ご支援の賜物と厚く感謝いたしております。

十日会は戦後の混迷期である昭和 23 年 11 月 15 日に発足されました。戦火の傷痕がそのままであり、総べての日本国民が失意のどん底の時代、故高浜二郎先生は「青年が決起せねばならない時がきている」と意気に燃え、志を同じくする 9 名が会合したのが始まりであります。

過去の記念誌を紐解いてみますと「会合の目的は諸外国との間につけられためっき技術の格差を一日も早く取り戻すこと、たとえ学んだ学校が別々であっても、一堂に会して勉強するならば、新しい技術に関する理解はさらに早まるはずであり、また同業者としての親睦の度が深まるならば、きつとめっきの業界を勇気づけるであろう。そして、将来、公私の行動においてお互いに意見を討論すること、それらの意見がうまく噛み合うように司会すること、また、一旦決まったことに対しては積極的に協力することという、これらの修練を技術研究の場において、さり気なくやっていたことしたのであります。」と記されてあります。

これこそが十日会の精神である「討論する・司会する・協力する」となるのです。

故高浜二郎先生の呼びかけのもととはじまった、任意団体である十日会が 70 年もの長きに亘り存続できたのは、発足以来先人の意思を受け継いだ諸先輩方が時代に合わせ変化を遂げてきたことに加え、常に業界の先駆者として活動した経験を活かし十日会事業に携わってきたからこそだと思います。

現在も現状に甘んじず常に問題意識をもった志の高い仲間が、討論しあう中でいろいろな価値観を学び、お互いに刺激し合うことで企業が負のスパイラルに陥りそうな局面にあっても乗り越え続けていけるのです。

困難な時代を乗り越えるたびに成長してきたことも紛れもない事実であり、その成長が次の難局を乗り越える原動力ともなっています。

十日会は名鍍会、青研会の 3 会で構成される日本鍍金協会の一員であり、また九青会・鍍秀会・埼鍍会など全国各地の青年部の熱い志をもった仲間と会えばどんな苦境な時でさえ笑って乗り越える力がそこには存在するのです。

さて、昨今の日本経済は緩やかながらも安定的な景気回復を遂げています。デフレからの完全脱却に向けた新たな飛躍のステージに向かう一方で、環境規制の厳格化、原材料の高騰・働き方改革法案の成立により長時間労働の是正、同一労働同一賃金現実等、労働制度の大胆な改革が推し進められていきます。又、我々製造業において最も深刻な人口減少社会、少子高齢化に伴う労働力人口の減少が問題となっており労働生産性の向上が迫られています。

この70周年を機に先人の歴史、意志を常に大切にしながら山積する課題を悲観的に捉えるのではなくこの大変革時代を楽しんで柔軟にそしてスピード感をもって変化していき挑戦し続ける事で10年・20年先の十日会に繋げていきたいと思ひます。

最後になりますが、この記念誌発刊に際しまして、業界関連団体の皆様より賜りました多大なるご厚情に対し、会員ともども厚く御礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。



『十日会創立 70 周年を迎えて』

十日会創立 70 周年記念式典実行委員長 石川英孝

十日会は発足以来ここに創立 70 周年を迎える。昭和 23 年 11 月 15 日に故高浜二郎先生が文京区小石川後楽園「函徳亭」で 9 名の業界人を募ったのが始まりであるが、一言で 70 年は語りきれぬ長さであり、改めて会組織の団結力、会員の支えに感謝する次第である。

時の流れはあっという間で、私自身 60 周年時に会長を務めた時から、もう 10 年が経った。今回実行委員長を拝命するにあたり、まずは 70 周年記念行事のテーマを決めることとした。60 周年時は遠藤前実行委員長の元、「挑む」をテーマとし、「業界が厳しい経営環境や試練を幾度も乗越え、今がある。この先 10 年も挑み続ける」とした。当時の記念誌を見返し、当時がどんな時代で、今と比べてどうだったかを確認してみると、「いざなぎ景気が終わり、仕入コストの上昇や環境対応で、中小製造業にとって厳しい時代が到来」と書いてあった。受注や人の問題など 10 年経っても抱えてきた問題はほとんど変わらずにあることに驚きを見た。

ここ数年景気は主に大企業を中心に回復基調にあり、我々もその恩恵に少しは預かっていることは良い意味で多少の変化と思うが、一方で働き方改革や若者の製造業離れなどで人的資源の確保が猛烈なスピードで厳しくなっている。そして 10 年前は今ほど耳にしなかった「AI」「IoT」「人工知能」という人になるロボットがモノを作る時代に突入しつつある。このような中で更なる 10 年、20 年先に我々はどうすれば輝ける会社であり続けられるのかの実現を希望に「輝く」をテーマとすることにした。そして会員同士が輝ける未来に向けて忌憚ない意見を出し合い、問題の共有や解決の糸口を見つける座談会が今回発刊した記念誌の目玉といってもよいくらい、我々の思いが詰まった出来となった。

同じめっきでも取り扱うめっき仕様が違う、業界も違う、規模も違う中で出た意見たちは、必ずや皆さんの今後の経営の、ひとつのヒントになるものと自負している。

十日会も 70 年経つと 3 代目の若手経営者にほぼバトンタッチされ、会の運営が引き継がれている。会の歴代会長や先輩方は組合の要所で土壌汚染問題や環境問題などで国との交渉を優位に進めるべく活躍されている。また、愛知「名鍍会」、大阪「青研会」で構成される「日本鍍金協会」も定期的な交流でお互いの切磋琢磨になっている。

十日会は綱領にある「業界の推進力」となるべく、会員相互の『討論する・司会する・協力する』で、必ず輝ける組織、企業として発展していくことを誓う。

そして 80 年、100 年に向けて邁進していく所存である。

最後にこの記念誌の編集にあたり会員ならびに関連業界各位から賜りましたご協力に対し深く感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。

祝 辞

全国鍍金工業組合連合会
会長 森脇 隆

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合
理事長 神谷博行

日本鍍金協会
会長 渡邊享祐

名鍍会
会長 伊藤 亮

大阪青年鍍金研究会
会長 河合 博

祝 辞

『十日会 70 周年を祝して』

全国鍍金工業組合連合会 会長 森脇 隆



この度、十日会がめでたく創立 70 周年という大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。貴会は、昭和 23 年に「めっきを天職とすることによって、日本に奉仕する」という崇高な創立理念のもと、70 年にもわたり幾多の難関を乗り越え、活動を継続されてこられましたこと、心から敬意を表します。私自身かつて大阪青研会の一員だったころ貴会諸先輩をはじめ皆様方には大変お世話になり、今でも多くの皆様と親しくさせていただいており、貴会は私にとり大変身近な存在であります。思えば貴会 40 周年のタイミングで青研会会長を務めておりましたが、70 周年の節目に全鍍連会長として筆を取らせていただく事に、大変感慨深く感じています。

貴会の歴史を紐解きますと、戦後まもない混乱期を経て、オイルショック、リーマンショック、東日本大震災など、まさにその時々逆境を会員の皆様が一丸となって跳ね除け、70 年という輝かしい歴史を歩んでこられました。まさに歴代会長をはじめ役員ならびに会員の皆様の熱意とご努力のたまものと感じるところであります。

十日会とは、情報の収集、技術の習得と共に、将来にわたり公私の活動において、『討論する・司会する・協力する』の修練を、さりげなく技術研究の場で行うことを目指した同志により、昭和 23 年 11 月 15 日に初めて会合が開かれました。続く第 2 回会合が 12 月 10 日に開催され、毎月 10 日に例会を開くことを決定した際に、会の名前を「十日会」と呼ぶようになったとお聞きしております。70 年経過した現在でも、情報の収集、技術の習得はめっき業の経営にとって「生命線」であり、先人の方々の的確な問題意識に脱帽せざるを得ません。現在におかれましては毎月の勉強会や定期工場見学会など、皆様の研究熱心さに頭が下がる思いであります。また貴会ホームページを拝見しますと、十数年にもわたり、きめ細かに活動記録がまとめられており、貴会の魅力が十分伝わってくると同時にホームページの更新に携わっている関係者の方々の熱意が感じとれます。

さて昨今の国際情勢を見渡しますと、米国トランプ大統領が本格的に保護貿易政策を打ち出し、「反グローバル」が加速するなか非常に混沌とした経営環境に陥っています。国内においては、少子高齢化が待ったなしで進行するなか、労働確保・事業承継・環境対策など大きな課題が山積しております。しかし困難に直面したときほど、横の繋がりの有難みを感じることはありません。70 年は大きな通過点ではありますが、同時に新しい出発点とも言えます。優秀な会員の皆様の英知を結集させ、一丸となって問題解決に当たり、次の 10 年を更に飛躍させて頂きたいと心から願っています。

奇しくも今年全鍍連も創立 70 周年を迎えます。できますれば、貴会をはじめとする研究団体、現在活性化している全国の若手青年部、そして成長著しい女性経営者部会など、あらゆるチャンネルを通じて、皆様全員の力で全鍍連を盛り立てて頂き、めっき業界の次なる時代を切り拓いていきたいと思っています。

最後になりますが貴会のますます発展を祈念申し上げお祝いのご挨拶とさせていただきます。



『十日会創立70周年を迎えて』

東京都鍍金工業組合
東京都鍍金公害防止協同組合
理事長 神谷博行

十日会が創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

めっき業界に貢献し功績のあった方々に対する表彰を昭和23年の制度創設以来70年もの長きにわたり続けてこられたことに大いなる敬意を表する次第です。戦後間もなくめっき企業にとって操業すら難しい時代に業界の発展とそれを担う人材の育成を目指して制度創設にご尽力されました高浜二郎先生の先見の明には深い感銘を覚えるばかりです。

敗戦直後からの我が国経済を眺めると、昭和24年ドッジ不況から朝鮮特需による経済復興を経て、昭和31年の経済白書は「もはや戦後ではない。」と宣言します。その後ひたすら経済成長にまい進し、高度経済成長を成し遂げます。それが昭和48年オイルショック以降安定成長に移行しますが、日米貿易摩擦を経て昭和60年プラザ合意による円高から金融緩和が進みバブル景気をもたらします。平成3年バブル崩壊とともに凋落し、大手金融機関の破綻が相次ぎ「失われた20年」と言われる経済停滞が続きます。平成20年リーマンショック、22年には高成長が続く中国に抜かれGDP世界第3位に転落、翌23年には東日本大震災が発生し、福島原子力発電所の事故などから我が国経済は大きなダメージを受けることとなります。平成24年安倍内閣発足とともに「アベノミクス」を推し進め、経済を復活させようとの試みが続いています。

こうした戦後の荒廃から現在に至るまでの我が国経済の変遷は十日会が歩んだ70年の道のりと重なります。その間東京都鍍金工業組合も組織的に大きな変化を遂げます。電気メッキ業が中小企業業種別振興法の指定業種となることなどから昭和42年東京協組、関信越協組、中央協組、西部鍍金工業会の4団体が大同団結して現在の工業組合が誕生します。昭和28年めっき技術の普及を目指し東京都鍍金工業学校が設立され、昭和45年東京都の認定を受け高等職業訓練校として現在に至っています。昭和40年代公害問題が世上を揺るがす中、昭和46年めっき濃厚廃液の共同処理事業を行う東京鍍金公害防止協同組合の設立、めっき排水に対して工業組合が責任をもって対応できるよう公害研究所が47年に設立され、その後62年環境科学研究所に改称されています。

目まぐるしい変転を遂げた経済環境、そして工業組合も大きく変化する中で、終始一貫十日会はめっき技術の向上や業界の進歩・発展を目指して会の運営を続けてこられたことに改めて頭の下がる思いをいたします。

十日会の記録をたどりますと、受賞者はもちろんのこと十日会の運営に携わられた多くの方々の名前が掲載されています。そしてそれら先輩がその後工業組合役員として活動の中心を担い、めっき業界の発展に大きく寄与されてきたことがわかります。表彰を通じて業界の発展と人材の育成を目指す十日会の目的を

成就してきただけでなく、十日会の制度そのものが業界発展に貢献する有為な人材を育成してきたといえます。

70周年を迎えられ、貴会がめっき業界発展に大きな成果を挙げられてきたことは誰もが認めるところです。しかし、これは通過点に過ぎません。環境規制や後継者問題をはじめ、めっき業界は未だに多くの課題を抱えています。こうした課題の解決を迫られる中で十日会が果たす役割は今後益々高まるでしょう。これからもめっき業界の発展やめっき技術の向上に大きな功績を発揮される人材の発掘に努められ、貴会の益々の活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。



『十日会創立70周年を祝して』

日本鍍金協会 会長 渡邊 享祐

十日会が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。日本鍍金協会活動におきましては、十日会の皆様に積極的な御参加をしていただき誠にありがとうございます。日本鍍金協会では、東京の十日会、愛知の名鍍会、大阪の青研会が合同役員会、秋季大会、年次大会の3回の行事を中心に研修会や親睦を行っています。この活動があることにより所属している地域の状況だけではなく、他の地域の状況を直接知る機会に恵まれ、我々自身の経営活動の大きな一助となっていると確信しております。

これまで多くの我々の先輩が日本鍍金協会の活動を通じて、信頼関係を築き切磋琢磨してきました。その信頼関係が日本のめっき業界の礎の一部になっているということを私も若い頃から見えております。現在、会長を仰せつかっておりますが、今後もこの関係が続くよう、日本鍍金協会をより大きく盛り上げていきたいと考えています。

現在、時代が大きく動きつつあります。IoTやAIなどの技術発展が製造業にも大きな影響を与えるようになり、自動車産業におきましても電気自動車や自動運転技術の確立で、これまでの経営環境に大きな変化が求められております。それに加えて、昨今、めっき業界は厳しい経営環境になっております。人手不足や原材料の高騰、環境規制の厳格化など抱えている課題は山ほどあります。

私の会長就任時のあいさつでも申しましたが、『進化論』で有名なダーウィンは「もっとも強いものが生き残るわけではなく、もっとも賢いものが生き残るわけでもない。唯一生き残るのは変化できるものである。」と述べています。この言葉通り、我々の業界も時代の変化に対応していかなければなりません。日本鍍金業界をはじめ、めっき業界の多くの仲間達と広く交流を持って、情報を共有しあいながらこれからの難局を共に乗り越え、平成の先の未来に向けて邁進していきましょう。

最後になりましたが、十日会の今後の更なる発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



『十日会創立70周年を祝して』

名鍍会 会長 伊藤 亮

十日会創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

平素より日本鍍金協会を通じて、十日会の皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。十日会は昭和23年に設立されました。また名鍍会は十日会に遅れること10年、名鍍会も本年60周年の記念事業を行います。慶ばしいことを続けて出来るのをとても嬉しく思います。

この10年を振り返ってみますと100年に一度といわれているリーマンショック、トヨタショック、また1000年に一度という東日本大震災に見舞われました。昨今は、経済ではトランプ大統領の方針でアメリカファーストによる貿易戦争が行われ、日本の自動車もその中に含まれそうで日本の経済も先行きがとても不安です。生産現場では労働者人口減少、働き方改革による残業規制による人材・労働力不足、環境ではZEV規制が本格化し電気自動車に切り替える準備が急速に進んでいきます。また海洋のプラスチックごみを減らそうとプラスチックストローを無くそうとする活動があります。夏は異常な高温が全国で続き、突然の大雨、線状降水帯による水害などの異常気象が起きました。このような状況を見ていると、今まで当たり前と思っていた常識が通用しなくなっているのではないかと思います。

思い起こせば、私が最初十日会に参加させていただいたのは、昭和59年の日本鍍金協会年次大会で行った東京ディズニーランドが最初になります。あの時は父親に連れられて、名鍍会がチャーターしたバスで東京に行き、子供同士遊んだのがとても心に残っています。時がたち、会社に入って、平成12年から名鍍会の幹事として、十日会、青研会の皆様と交流し切磋琢磨してまいりました。平成29年から会長職を仰せつかり、諸先輩、幹事の多大なる協力の元、記念事業に立ち会えるのはとても光栄な事だと思っております。

めっき業界として、この先明るい未来に進んで行くには今まで以上に十日会と青研会と名鍍会の強い絆をもって突き進んで行きこの難局を乗り越えて行きたいと思っています。

最後になりましたが、十日会の更なる発展を心より祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



『十日会 創立70周年記念を祝して』

大阪青年鍍金研究会(青研会) 会長 河合 博

十日会が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また平素より十日会の皆様には日本鍍金協会を通じて、大変お世話になりありがとうございます。

日本鍍金協会では十日会、名鍍会、青研会の3会で交流を行っており、情報交換等を通じて、お互いが切磋琢磨し刺激し合える関係になっていると実感しています。

青研会は1983年に前身である鍍友会と鍍生会が合流してできた組織です。その前身の1つである鍍友会は1947年に設立しており、日本鍍金協会を結成する前から十日会の方々とお付き合いがあるということもうかがっております。鍍友会・鍍生会・青研会の歴史を合わせると十日会と同じく約70年の歴史となりますので、ずいぶんと長いお付き合いを十日会の方々と続けているのだと感じます。

現在は昔とは異なり、全国の鍍金業界の青年部での交流が増えコミュニケーションが取りやすくなってきています。青研会では日本鍍金協会の交流の他に京都鍍金工業組合青年部の鍍秀会、兵庫県鍍金工業組合青年部会と三府県青年部勉強会を毎年開催しており、十日会の皆様にもオブザーバーとしてご参加をさせていただいております。この場を借りて、御礼申し上げます。

さて、青研会では現在、めっき読本の改訂作業を行っております。前回作業を行ったのが20年ほど前になっており本編集のノウハウがない中、20年前の本を元に手探りで作業を行っています。その改訂版については2年後を目途に発版予定ですので、完成した際には十日会の皆様にもぜひ手に取っていただきたいと思えます。

そのめっき読本の改訂作業のために以前のテキストを確認しておりますと、めっき技術というのが様々な知識や技術や多くの経験が関わることで構築されているのを改めて実感しています。このようなめっき技術を支えているものの1つがめっき業界内での親密な関係性ではないでしょうか。

会議では、会社やめっきの種類が異なる人が参加し様々な経験に基づいた各人の視点で本の内容・めっき技術についての意見が述べられます。このような意見は信頼関係が構築できているからこそ話せる内容のものであり、その意見は仕事の参考になるものが多く存在します。つまり、めっき業界の仲間と親密な関係を築き維持していくことは、自社や業界の成長に繋がるものであるといえるでしょう。

私は戦後のめっき業界の発展が、日本鍍金協会などの活動を通じて親密な交流関係を継続してきたことも少なからず寄与しているのではないかと考えま

す。今後も十日会や名鍍会の方々との交流を継続していくことは、自社の成長や日本の鍍金業界の技術を支えていく底力になりますし、それが日本のものづくり、更にはグローバル市場におけるものづくりを牽引できる力に繋がっていくといえるでしょう。

東京は2年後の2020年に大イベントである東京オリンピックを迎えるなど、今後も大きく経済が盛り上がる要因が継続すると考えられます。大阪でも現在、万博誘致活動を積極的に行っており、東京オリンピックの勢いに負けまい、官民一体となって大阪を盛り上げている最中です。

めっき業界は環境規制の厳格化、人手不足問題、事業承継問題などの厳しい経営環境局面を迎えています。その厳しい局面を乗り越えるためにも十日会の皆様との親密な交流を今後も継続していきたいと思えます。

最後になりましたが、十日会の今後の更なる発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。今後ともよろしく願いいたします。

回 顧

平成20年4月～平成30年3月

・ 10年 間 回 顧 録
・ 役 員 名 簿

10年間を振り返って ～ 十日会活動回顧録 ～

2008年（平成20）年度

会 長	石川 英孝 (株)ヒキフネ
副 会 長	柴田 徹 (有)扶桑電化上平井工業所
副 会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
会 員 数	正会員 66 社・名誉会員 1 名・相談役 1 名・特別会員 2 名・報道 4 名
会員の動静	入会：4 社 [三明化成(株)・(株)三松・(株)スイレイ・メイホー(株)] 退会：0 社



◇定例総会

日 時 平成 20 年 3 月 10 日 参加者：32 名
場 所 めっきセンター4F会議室

◇例会【9回】

4 月例会
日 時 平成 20 年 4 月 10 日 参加者：38 名
場 所 めっきセンター4F会議室
演 題 新製品紹介
(株)三進製作所 「エコエース・プラス」
(株)セムコーポレーション 「セムコン ccp-200 型」
ディップソール(株) 「環境調和型 DS プロセス」



5 月例会
日 時 平成 20 年 5 月 12 日 参加者：44 名
場 所 めっきセンター4F会議室
演 題 新製品紹介 その2
奥野製薬工業(株) 「トップニコロンシリーズ」
ユケン工業(株) 「次世代洗浄剤バクナ NEX」
(株)タイホー 「亜鉛めっき用ノークロム後処理剤 T-90」
日本表面化学(株) 「アシッドジंक 6600」



6 月例会
日 時 平成 20 年 6 月 16 日 参加者：35 名
場 所 めっきセンター4F会議室
演 題 エコアクション 21 の概要及び ISO14000 との比較
講 師 東京都中小企業団体中央会 業務課課長 瀬瀬 博氏



7 月例会
日 時 平成 20 年 7 月 18 日 参加者：26 名
場 所 (株)トーテック千葉事業所 工場見学会

8 月例会
日 時 平成 20 年 8 月 29 日 参加者：41 名
場 所 トルコレストラン「ソフラ」

9月例会
 日時 平成20年9月10日 参加者：31名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 特定健診・保健指導とは？
 講師 (株)マベリックトランスナショナル
 管理栄養士 浅野満美子氏



12月例会
 日時 平成20年12月12日 参加者：36名
 場所 割烹風居酒屋「酒菜 浪漫亭」

1月例会
 日時 平成21年1月25日 参加者：57名
 場所 ロステリー・レカン



2月例会
 日時 平成21年2月12日 参加者：44名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 今後ニッケルの動向と将来の成長分野について
 講師 住友金属鉱山(株)
 金属事業本部ニッケル営業原料部長 江崎慎二氏

◇創立60周年記念式典

日時 平成20年11月16日 参加者：180名
 場所 パレスホテル



◇日本鍍金協会関連事業

第47回年次大会
 日時 平成20年3月29日～30日
 場所 旅館立花 十日会参加：20名

合同役員会
 日時 平成20年5月31日
 場所 名古屋会議室 十日会参加：10名

名鍍会創立50周年記念式典
 日時 平成20年9月20日
 場所 名古屋マリオットアソシアホテル 十日会参加：14名

第45回秋季大会
 日時 平成20年10月4日
 場所 名古屋クラウンホテル 十日会参加：11名



◇十日会ゴルフコンペ

日時 平成20年5月11日
 場所 穴戸カントリークラブ
 優勝 上市孝志氏
 準優勝 二木一郎氏

日時 平成20年11月30日
 場所 霞ヶ浦国際ゴルフコース
 優勝 上村福子氏
 準優勝 柴田 徹氏

2009年（平成21）年度

会 長	石川 英孝 (株)ヒキフネ
副 会 長	柴田 徹 (有)扶桑電化上平井工業所
副 会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
会 員 数	正会員 67社・名誉会員 1名・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：2社 [(株)田島製作所・(株)高岡] 退会：1社 [(有)籠利鍍金工業所]



◇定例総会

日 時	平成 21 年 3 月 11 日 参加者：36 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4 月例会	
日 時	平成 21 年 4 月 13 日 参加者：34 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 キザイ(株) 「ノーシアンスベキュラ」 日本表面化学(株)「ジャスコハイ Ni ジンク ZN-204」 ユケン工業(株) 「メタス ZYK」



5 月例会	
日 時	平成 21 年 5 月 18 日 参加者：38 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	企業取引信用保険について
講 師	ウィリスジャパンサービス(株) 網野 力氏 ユーラーヘルメス信用保険会社 斎藤輝貢氏



6 月例会	
日 時	平成 21 年 6 月 15 日 参加者：35 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 その2 メルテックス(株) 「メルカパーCF-2170」 奥野製薬工業(株) 「CRP プロセス」 (株)共和機器製作所 「スイング揺動型バレル」 (株)三進製作所 「エコエスプラス type-CUV」



7 月例会	
日 時	平成 21 年 7 月 15 日 参加者：28 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	中小企業緊急雇用安定助成金の拡充
講 師	ハローワーク助成金事務センター室長 水戸常博氏

8 月例会	
日 時	平成 21 年 8 月 27 日 参加者：42 名
場 所	大井競馬場 4 号スタンド

9月例会
 日時 平成 21 年 9 月 17 日 参加者：31 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 本気で叱る-卓越した理論と情熱のコーチング-
 講師 元プロ野球選手
 現社会人野球 NTT 東日本コーチ 仁村 薫氏



11月例会
 日時 平成 21 年 11 月 18 日 参加者：40 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 中国経済の現状
 講師 (財)日本技能者交流センター
 技能交流部 調査研究部長 小針俊郎氏



12月例会
 日時 平成 21 年 12 月 10 日 参加者：40 名
 場所 北大路 赤坂茶寮

1月例会
 日時 平成 22 年 1 月 24 日 参加者：51 名
 場所 イタリアン&カフェダイニング いちこし

2月例会
 日時 平成 22 年 2 月 15 日 参加者：26 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 出来る社長の身だしなみ
 講師 (有)SONORI 代表取締役社長 中川裕美子氏

◇日本鍍金協会関連事業

第 48 回年次大会
 日時 平成 21 年 3 月 28 日～29 日
 場所 ひだホテルプラザ 十日会参加：11 名

合同役員会
 日時 平成 21 年 6 月 20 日
 場所 大阪府鍍金工業組合 十日会参加：8 名

第 46 回秋季大会
 日時 平成 21 年 10 月 16 日～17 日
 場所 KKRホテル大阪
 十日会参加：11 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 68 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 21 年 5 月 24 日
 場所 紫カントリークラブ
 優勝 内藤喜達氏
 準優勝 新井嘉喜雄氏

第 69 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 21 年 11 月 29 日
 場所 千代田カントリークラブ
 優勝 内藤喜達氏
 準優勝 石川英孝氏



2010年（平成22）年度

会 長	柴田 徹 (有)扶桑電化上平井工業所
副 会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
会 員 数	正会員 68社・名誉会員 1名・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：2社 [小石田鍍金工業(株)・ジャスト(株)] 退会：1社 [不二ケミカル(株)]



◇定例総会

日 時	平成22年3月16日 参加者：34名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4月例会	
日 時	平成22年4月12日 参加者：34名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 上村工業(株) 「パールシャイン」 (株)スイレイ 「セリウム・ジルコニア系高性能吸着樹脂」 ユケン工業(株)「次世代型濃縮液体洗浄剤バクナRPC」



5月例会	
日 時	平成22年5月10日 参加者：32名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	中国視察研修報告会
講 師	神谷電化工業(株) 代表取締役 神谷博行氏、(株)梅田鍍金工業所 代表取締役 永田一雄氏 八幡鍍金工業(株) 専務取締役 八幡真二氏



6月例会	
日 時	平成22年6月11日 参加者：41名
場 所	東新工業(株)横浜工場 工場見学会 関東学院大学六浦キャンパス 講演会
演 題	下請け型産業から提案型産業への転換
講 師	関東学院大学六浦キャンパス 本間英夫氏



7月例会	
日 時	平成22年7月12日 参加者：46名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介
講 師	奥野製薬工業(株)「トップソフトカップー」 (株)三進製作所 「エコノセルフイー」 日本表面化学(株)「ハイパージंक 300」 メルテックス(株)「Bio Prep 20/100B」

8月例会	
日 時	平成22年8月26日 参加者：37名
場 所	表参道ヴィーノボーノ

9月例会
 日時 平成22年9月6日 参加者：30名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 AEDに関する取扱いと心肺蘇生法に関する講演
 講師 (株)ヤガミ 営業第一課 係長 田中章氏



10月例会
 日時 平成22年10月18日 参加者：38名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 金ではなくて頭を使え-町工業経営の必勝発想法-
 講師 (有)中里スプリング製作所 代表取締役 中里良一氏



12月例会
 日時 平成22年12月10日 参加者：38名
 場所 牡丹

1月例会
 日時 平成23年1月30日 参加者：62名
 場所 リストランテ・シルベラード

2月例会
 日時 平成23年2月15日 参加者：33名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 タイ視察研修を終えて-海外の動向について-
 講師 平和工業(株) 常務取締役 内藤喜達氏、メイホー(株) 代表取締役 江原 弾氏

◇日本鍍金協会関連事業

第49回年次大会
 日時 平成22年3月20日～21日
 場所 宝塚ホテル 十日会参加：11名

合同役員会
 日時 平成22年5月22日
 場所 めっきセンター4F 十日会参加：8名

第47回秋季大会
 日時 平成22年11月5日
 場所 TKP 品川カンファレンスセンター 十日会参加：39名



◇十日会ゴルフコンペ

第70回大会ゴルフコンペ
 日時 平成22年5月23日
 場所 フレンドシップカントリークラブ
 優勝 江原 弾氏
 準優勝 吉岡英則氏

第71回大会ゴルフコンペ
 日時 平成22年11月28日
 場所 太平洋クラブ&アソシエイツ美野里コース
 優勝 石川英孝氏
 準優勝 上市孝志氏

2011年（平成23）年度

会 長	柴田 徹 (有)扶桑電化上平井工業所
副 会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
会 員 数	正会員 67社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：0社 退会：1社 [(有)小島鍍金工業所]



◇定例総会

日 時	平成23年3月10日 参加者：30名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4月例会	
日 時	平成23年4月11日 参加者：28名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	緊急事態に遭遇した場合の行動と対応について



5月例会	
日 時	平成23年5月18日 参加者：35名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介
講 師	奥野製薬工業(株)「トップファインクロム」 日本表面化学(株)「低窒素型三価クロム化成処理剤」 (株)三進製作所 「高耐食精密ろ過エコエースプラス type-S」 ユケン工業(株) 「低電流・高光沢・高効率アルカリ浴プロセス」

6月例会	
日 時	平成23年6月8日 参加者：29名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	環境調査依頼についての対策
講 師	上村工業(株) 化成品営業グループ 志浦 広和氏



7月例会	
日 時	平成23年7月13日 参加者：30名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	夏の電力不足を乗り切るための現場対応
講 師	(株)エフェクト 代表取締役 石井住枝氏

8月例会	
日 時	平成23年8月26日 参加者：26名
場 所	うすげぼーり日比谷店



9月例会

日時 平成 23 年 10 月 7 日 参加者：23 名
場所 ポッシュ(株)東松山工場、創研工業(株) 工場見学会



10月例会

日時 平成 23 年 10 月 13 日 参加者：40 名
場所 めっきセンター4F会議室
演題 中小企業の市場創造戦略
講師 嘉悦大学経営経済学部教授
経済学博士 黒瀬直宏氏



12月例会

日時 平成 23 年 12 月 8 日 参加者：40 名
場所 銀座 Sun-mi 本店 日本料理香川

1月例会

日時 平成 24 年 1 月 29 日 参加者：54 名
場所 中国飯店 Chao Meng Lai



2月例会

日時 平成 24 年 2 月 13 日 参加者：35 名
場所 めっきセンター4F会議室
演題 海外の情勢について
講師 上村工業(株) 専務取締役 橋本滋雄氏

◇日本鍍金協会関連事業

第 50 回年次大会

日時 平成 23 年 4 月 2 日～3 日
場所 コートヤードマリオット
銀座東武ホテル 十日会参加：39 名

合同役員会

日時 平成 23 年 5 月 28 日
場所 名古屋会議室 十日会参加：15 名

第 48 回秋季大会

日時 平成 23 年 11 月 11 日
場所 キャッスルプラザ 十日会参加：8 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 72 回大会ゴルフコンペ

日時 平成 23 年 11 月 20 日
場所 豊里ゴルフクラブ
優勝 柴田 徹氏
準優勝 内藤喜達氏

2012年(平成24)年度

会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
副 会 長	内藤 喜達 平和工業(株)
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
会 員 数	正会員 67社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：2社 [上毛電化(株)・富田電子工業(有)] 退会：1社 [(株)サンシンメンテナンス]



◇定例総会

日 時	平成 24 年 3 月 15 日 参加者：29 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4月例会	
日 時	平成 24 年 4 月 11 日 参加者：32 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 (株)三進製作所 「メンテナンスサービス」 奥野製薬工業(株)「トップポーラスニッケル RSN」 「トップポーラス銅 CPP」 日本表面化学(株)「添加型脱脂剤プラスクリン」



5月例会	
日 時	平成 24 年 5 月 7 日 参加者：28 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	知的資産を活用した知的資産経営導入セミナー
講 師	事業継続研究所 代表 京盛真信氏

6月例会	
日 時	平成 24 年 6 月 28 日 参加者：30 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	めっきの密着の基礎
講 師	大阪府立産業技術総合研究所 工学博士 森河 務氏



7月例会	
日 時	平成 24 年 7 月 6 日～7 日 参加者：30 名
場 所	スズキハイテック(株)、ジャスト(株) 工場見学会



8月例会	
日 時	平成 24 年 8 月 23 日 参加者：30 名
場 所	銀座 GINTO

9月例会
 日時 平成24年9月13日 参加者：34名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 世界の化学物質規制の動向とその対応について
 講師 社団法人産業環境管理協会
 国際化学物質管理支援センター室長 遠藤智道氏



10月例会
 日時 平成24年10月11日 参加者：22名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 主体的行動を引き出す為のビジネスコーチング
 講師 (株)エンパワー21 代表取締役 能勢みゆき氏



12月例会
 日時 平成24年12月13日 参加者：41名
 場所 神楽坂 久露葉亭



1月例会
 日時 平成25年1月27日 参加者：41名
 場所 トラットリア・マンジャパッセ

2月例会
 日時 平成25年2月14日 参加者：30名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 WPC処理の処理方法及び活用術
 講師 (株)不二機販 専務取締役 加藤 修氏
 営業第一グループ課長代理 横田智哉氏

◇日本鍍金協会関連事業

第51回年次大会
 日時 平成24年3月24日～25日
 場所 東京第一ホテル錦 十日会参加：11名



合同役員会
 日時 平成24年6月2日
 場所 大阪府鍍金工業組合 十日会参加：7名

第49回秋季大会
 日時 平成24年11月2日～3日
 場所 箕面観光ホテル 十日会参加：10名



◇十日会ゴルフコンペ

第73回大会ゴルフコンペ
 日時 平成24年5月27日
 場所 千葉セントラルゴルフクラブ
 優勝 新井嘉喜雄氏
 準優勝 上原裕司氏

第74回大会ゴルフコンペ
 日時 平成24年11月11日
 場所 セントラルゴルフクラブ
 優勝 宮坂 純氏
 準優勝 村松康裕氏

2013年（平成25）年度

会 長	上原 裕司 (有)上原メッキ工業
副 会 長	内藤 喜達 平和工業(株)
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
会 員 数	正会員 65社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：2社 [(有)太陽鍍金工業所・(資)東亜鍍金工場] 退会：4社 [近藤耐酸槽(株)・(株)高岡・日本プラント工業(株)・富田電子工業(有)]



◇定例総会

日 時	平成 25 年 3 月 14 日 参加者：29 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【11回】

4月例会	
日 時	平成 25 年 4 月 15 日 参加者：37 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	インドネシア視察研究報告会
講 師	(株)梅田鍍金工業所 代表取締役 永田一雄氏、神谷電化工業(株) 代表取締役 神谷博行氏、 (有)朝日鍍金工場 代表取締役 遠藤清孝氏、(株)トーテック 代表取締役 坂手保弘氏、 八幡鍍金工業(株) 八幡浩二氏

5月例会	
日 時	平成 25 年 5 月 8 日 参加者：30 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介
講 師	上村工業(株) 「ユープロクロム CZH-1」 (株)中央製作所 「新型 PowerMaster PME2」 日本表面化学(株) 「ベルスクード VS-624」



6月例会	
日 時	平成 25 年 6 月 10 日 参加者：42 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 Part2
講 師	(株)三進製作所 「イオン交換による水洗水リサイクルと回収技術」 奥野製薬工業(株) 「プロテクターシリーズ」 (株)JCU 「JNシリーズ」



7月例会	
日 時	平成 25 年 7 月 8 日 参加者：38 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	FANUC 「ロボットを利用した工場の自動化について」
講 師	トークシステム 営業部 竹嶋 浩氏 パナソニックデバイス SUNX 川口芳裕氏 パナソニック(株) オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 楠 和宏氏

8月例会	
日 時	平成 25 年 8 月 20 日 参加者：37 名
場 所	SALVATORE CUOMO

9月例会
 日時 平成 25 年 9 月 11 日 参加者：34 名
 場所 めっきセンター4F 会議室
 演題 チタン・アルミの表面硬化（ドライプロセス）
 講師 千葉工業大学工学部 坂本幸弘氏



10月例会
 日時 平成 25 年 10 月 17 日 参加者：20 名
 場所 めっきセンター4F 会議室
 演題 発言力向上研修
 講師 (株)エンパワー21 代表取締役 能勢みゆき氏



11月例会
 日時 平成 25 年 11 月 11 日 参加者：28 名
 場所 めっきセンター4F 会議室
 演題 DLC の概要・製法
 講師 (株)オンワード技研 関東工場 営業部 枝 貴行氏



12月例会
 日時 平成 25 年 12 月 5 日 参加者：38 名
 場所 三定

1月例会
 日時 平成 26 年 1 月 27 日 参加者：42 名
 場所 神楽坂イタリアンスタジオオーネ

2月例会
 日時 平成 26 年 2 月 20 日～21 日 参加者：12 名
 場所 (株)マキノ・(株)三進製作所・ヤイリギター・太陽電化工業(株) 工場見学会

◇日本鍍金協会関連事業

第 52 回年次大会
 日時 平成 25 年 3 月 23 日～24 日
 場所 ホテル日航大阪 十日会参加：11 名



合同役員会
 日時 平成 25 年 6 月 1 日
 場所 めっきセンター会議室 十日会参加：14 名

第 50 回秋季大会
 日時 平成 25 年 10 月 4 日
 場所 フクラシア東京ステーション 十日会参加：27 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 75 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 25 年 5 月 26 日
 場所 レイクウッド総成カントリークラブ
 優勝 小松慎司氏
 準優勝 小島秀樹氏



第 76 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 25 年 10 月 27 日
 場所 豊里ゴルフクラブ
 優勝 山田英佐夫氏
 準優勝 狐塚保之氏

2014年(平成26)年度

会 長	内藤 喜達 平和工業(株)
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
副 会 長	江原 弾 メイホー(株)
会 員 数	正会員 64社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：1社 [東和工機(株)] 退会：2社 [三明化成(株)・谷口ヒーターズ(株)]



◇定例総会

日 時	平成 26 年 3 月 12 日 参加者：29 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4 月例会	
日 時	平成 26 年 4 月 7 日 参加者：37 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介
講 師	宮田工業(株) 「アルミ製消火器アルテシモ」 東芝キャリア(株) 「循環加温ヒートポンプ」 (株)三進製作所 「酸・金属塩分離装置リサイター」



5 月例会	
日 時	平成 26 年 5 月 21 日 参加者：42 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新製品紹介 その2
講 師	日本表面化学(株) 「アシッド Ni ジンク AZN-6900」 (株)JCU 「新型コーティング剤 JN COAT」 ユケン工業(株) 「電気コストパフォーマンス」



6 月例会	
日 時	平成 26 年 6 月 18 日 参加者：45 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	今後のめっき市場の動向 (海外・国内)
講 師	上村工業(株) 専務取締役 橋本滋雄氏

7 月例会	
日 時	平成 26 年 7 月 17 日 参加者：28 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新日鉄住金エンジニアリング(株)
講 師	環境ソリューション事業部 平石耕一氏



8 月例会	
日 時	平成 26 年 8 月 26 日 参加者：38 名
場 所	ブルガリアダイニング SOFIA

9 月例会	
日 時	平成 26 年 9 月 18 日 参加者：30 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	薄膜コーティング技術について
講 師	奥野製薬工業(株) 表面技術研究部 次長 村橋浩一郎氏

10月例会
 日時 平成 26 年 10 月 22 日 参加者：23 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 経営者保証除外の条件
 講師 五十嵐靖税理士事務所 五十嵐靖氏



12月例会
 日時 平成 26 年 12 月 4 日 参加者：39 名
 場所 入母屋 銀座グラッセ

1月例会
 日時 平成 27 年 1 月 25 日 参加者：44 名
 場所 キャーズ・ド・ひらまつ

2月例会
 日時 平成 27 年 2 月 19 日 参加者：27 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 メキシコ視察報告会
 講師 旬朝日鍍金工場 代表取締役 遠藤清孝氏
 平和工業(株) 常務取締役 内藤喜達氏



◇日本鍍金協会関連事業

第 53 回年次大会
 日時 平成 26 年 3 月 29 日～30 日
 場所 共和会館 十日会参加：30 名

合同役員会
 日時 平成 26 年 6 月 7 日
 場所 世界の山ちゃん本丸ホール 十日会参加：7 名

第 51 回秋季大会
 日時 平成 26 年 11 月 14 日
 場所 名鉄ニューグランドホテル 十日会参加：19 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 77 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 26 年 5 月 17 日
 場所 若洲ゴルフリンクス
 優勝 上原裕司氏
 準優勝 廣嶋 力氏

第 78 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 26 年 11 月 9 日
 場所 石岡ゴルフ倶楽部
 優勝 中村 博氏
 準優勝 石川英孝氏



2015年（平成27）年度

会 長	内藤 喜達 平和工業(株)
副 会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
副 会 長	江原 弾 メイホー(株)
会 員 数	正会員 64社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：0社 退会：1社〔有繩田鍍金工業所〕



◇定例総会

日 時	平成 27 年 3 月 11 日 参加者：34 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4月例会	
日 時	平成 27 年 4 月 13 日 参加者：45 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	技術・製品・サービスの紹介
講 師	(株)中央製作所 「PowerMaster PMD2」「新型 Auto-Feeder」 (株)タイホー 「キレート剤不使用電解洗浄剤ノーキレート M197」 日本表面化学(株)「3価クロム化成皮膜のコバルトフリー化」

5月例会	
日 時	平成 27 年 5 月 18 日 参加者：30 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	日本のチタン業界の現状
講 師	一般社団法人 日本チタン協会 木下和宏氏

6月例会	
日 時	平成 27 年 6 月 17 日 参加者：36 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	天然ガス及びヨウ素を用いた機能性表面の創製
講 師	千葉工業大学工学部 機械サイエンス学科 坂本幸弘氏

7月例会	
日 時	平成 27 年 7 月 13 日 参加者：58 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	脱脂剤の作用の仕組みと成分の役割
講 師	東京都鍍金工業組合 環境科学研究所 主任 戸井崎 茂氏

8月例会	
日 時	平成 27 年 8 月 28 日 参加者：34 名
場 所	BARABABAO



9月例会
 日時 平成 27 年 9 月 7 日 参加者：21 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 マイナンバー制度導入における対応について
 講師 三崎経営労務事務所 代表 三崎亜紀子氏



11月例会
 日時 平成 27 年 11 月 16 日 参加者：39 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 楽しくなければ仕事じゃない～町工場から夢工場へ～
 講師 HILLTOP(株) 代表取締役副社長 山本昌作氏



12月例会
 日時 平成 27 年 12 月 4 日 参加者：33 名
 場所 煌蘭 丸の内

1月例会
 日時 平成 28 年 1 月 31 日 参加者：40 名
 場所 ドンピエールハート

2月例会
 日時 平成 28 年 2 月 8 日 参加者：21 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 職場における化学物質管理
 講師 労働衛生調査分析センター 健康開発課 武井貴史氏

◇日本鍍金協会関連事業

第 54 回年次大会
 日時 平成 27 年 3 月 28 日～29 日
 場所 名鉄犬山ホテル 十日会参加：10 名

合同役員会
 日時 平成 27 年 6 月 13 日
 場所 大阪府鍍金工業組合 十日会参加者：8 名

第 52 回秋季大会
 日時 平成 27 年 10 月 23 日
 場所 新大阪ワシントンホテル 十日会参加：10 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 79 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 27 年 5 月 17 日
 場所 プレステージカントリークラブ
 優勝 梅田輝幸氏
 準優勝 小松慎司氏

第 80 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 27 年 11 月 8 日
 場所 上総モナークカントリークラブ
 優勝 廣嶋 力氏
 準優勝 稀代次郎氏



2016年（平成28）年度

会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
副 会 長	江原 弾 メイホー(株)
副 会 長	福井 通人 福井電化工業(株)
会 員 数	正会員 62社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：1社 [旭電化工業(株)] 退会：3社 [(有)いわき製作所・(有)太陽鍍金工業所・東和工機(株)]



◇定例総会

日 時	平成 28 年 3 月 10 日 参加者：30 名
場 所	めっきセンター4F会議室

◇例会【10回】

4 月例会	
日 時	平成 28 年 4 月 13 日 参加者：45 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	技術・製品・サービスの紹介
講 師	(株)三進製作所 「メカニカルシール式ポンプ」 「簡易開閉カムレバー方式」 日本表面化学(株)「非鉄金属最新表面処理剤」 奥野製薬工業(株)「トップファインシリーズ」 ユケン工業(株)「排水負荷低減洗浄剤」 「新型ジンケート光沢剤」



5 月例会	
日 時	平成 28 年 5 月 11 日 参加者：23 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	新電力の動向について
講 師	シナネン(株) エネルギーソリューション部 横山亨氏



6 月例会	
日 時	平成 28 年 6 月 22 日 参加者：39 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	黒色化表面処理技術
講 師	奥野製薬工業(株) 表面技術研究部 次長 片山順一氏

7 月例会	
日 時	平成 28 年 7 月 14 日 参加者：19 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	市場縮小の時代に業績を伸ばす企業経営術
講 師	日本成長戦略研究所(株)代表取締役 中丸秀昭氏



8 月例会	
日 時	平成 28 年 8 月 24 日 参加者：35 名
場 所	響-HIBIKI 丸の内店

9月例会
 日時 平成 28 年 9 月 12 日 参加者：34 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 今後のめっき市場の動向（海外・国内）
 講師 上村工業(株) 専務取締役 橋本滋雄氏



11月例会
 日時 平成 28 年 11 月 11 日 参加者：39 名
 場所 太田鍍金工業(株)、神谷電化工業(株)、三友電化(株)、(株)ヒキフネ 工場見学会



12月例会
 日時 平成 28 年 12 月 8 日 参加者：33 名
 場所 祢保希 赤坂店

1月例会
 日時 平成 29 年 1 月 29 日 参加者：45 名
 場所 ANTHEMBLE by My Humble House

2月例会
 日時 平成 29 年 2 月 16 日 参加者：41 名
 場所 めっきセンター4F会議室
 演題 被めっき素材に起因する不具合について
 講師 (株)ヒキフネ 技術部長 小林道雄氏



◇日本鍍金協会関連事業

第 55 回年次大会
 日時 平成 28 年 3 月 26 日～27 日
 場所 ホテル近鉄ユニバーサル・シティ 十日会参加：9 名

合同役員会
 日時 平成 28 年 6 月 4 日
 場所 東京都鍍金工業組合 十日会参加：12 名

第 53 回秋季大会
 日時 平成 28 年 10 月 28 日
 場所 南極観測船しらせ 十日会参加：22 名



◇十日会ゴルフコンペ

第 81 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 28 年 4 月 23 日
 場所 スカイウェイカントリークラブ
 優勝 谷許俊之氏
 準優勝 梅田輝幸氏

第 82 回大会ゴルフコンペ
 日時 平成 28 年 10 月 30 日
 場所 ザ・ゴルフクラブ電ヶ崎
 優勝 梅田輝幸氏
 準優勝 村松康裕氏



2017年(平成29)年度

会 長	八幡 義一 八幡鍍金工業(株)
副 会 長	江原 弾 メイホー(株)
副 会 長	福井 通人 福井電化工業(株)
会 員 数	正会員 62社・相談役 1名・特別会員 2名・報道 4名
会員の動静	入会：1社 [(株)大倉] 退会：1社 [(株)大沢鍍金工業所]



◇定例総会

日 時	平成 29 年 3 月 9 日 参加者：28 名
場 所	めっきセンター4F会議室

資格例会 (10回)

4月例会	
日 時	平成 29 年 4 月 10 日 参加者：47 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	技術・製品・サービスの紹介
講 師	(株)三進製作所 「小型 MF 膜ろ過装置パトローネ F」 日本表面化学(株) 「トップコートシリーズ」 ディップソール(株) 「ジンケート静止亜鉛めっき光沢剤 NZ-98LC」 奥野製薬工業(株) 「トップニコロン EC-LF」 「トップニコロン MSH-LF」

5月例会	
日 時	平成 29 年 5 月 10 日 参加者：19 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	ネットを活用した中小企業自社製品開発
講 師	(株)ニッター 代表取締役 藤澤秀行氏

6月例会	
日 時	平成 29 年 6 月 7 日 参加者：22 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	導電性ダイヤモンド作製と工業的応用の可能性
講 師	千葉工業大学工学部 先端材料工学科教授 坂本幸弘氏

7月例会	
日 時	平成 29 年 7 月 13 日 参加者：18 名
場 所	めっきセンター4F会議室
演 題	めっき工場における任期制自衛官の採用
講 師	防衛省 海上幕僚監部 桐田 輝氏

8月例会	
日 時	平成 29 年 8 月 24 日 参加者：32 名
場 所	ポルトファアロ銀座



9月例会

日時 平成 29 年 9 月 4 日 参加者：23 名
場所 めっきセンター4F会議室
演題 燃えてからでは遅い-工場火災が起きる前にできること-
講師 SOMPO リスクアマネジメント(株)シニアコンサルタント 渡部尚樹氏

11月例会

日時 平成 29 年 11 月 9 日 参加者：35 名
場所 めっきセンター4F会議室
演題 めっきの仕上げ処理（後処理）
講師 日本表面化学(株) R&D センター 栗原達也氏
奥野製薬工業(株) 京浜営業所所長 谷許俊之氏



12月例会

日時 平成 29 年 12 月 7 日 参加者：32 名
場所 悠久之蔵 銀座並木通り本店

1月例会

日時 平成 30 年 1 月 28 日 参加者：50 名
場所 アレグロ日本橋店



2月例会

日時 平成 30 年 2 月 8 日 参加者：20 名
場所 めっきセンター4F会議室
演題 働き方改革-今後の法改正の動向と対策-
講師 吉永社会保険 労務事務所 所長 吉永晋治氏

◇日本鍍金協会関連事業

第 56 回年次大会

日時 平成 29 年 4 月 1 日～2 日
場所 ヴァンティアン 十日会参加：29 名

合同役員会

日時 平成 29 年 5 月 27 日
場所 名古屋会議室 十日会参加者：6 名

第 54 回秋季大会

日時 平成 29 年 10 月 27 日
場所 東京第一ホテル錦 十日会参加：11 名



Yamazaki Mazak Corporation World Technology Center 日本鍍金協会 様 2017年10月27日

◇十日会ゴルフコンペ

第 83 回大会ゴルフコンペ

日時 平成 29 年 5 月 21 日
場所 千代田カントリークラブ
優勝 遠藤清孝氏
準優勝 中村 博氏

第 84 回大会ゴルフコンペ

日時 平成 29 年 10 月 14 日
場所 皆川城カントリークラブ
優勝 上市孝志氏
準優勝 内田悦美氏

役員名簿 (平成 20 年度から平成 30 年度)

平成 20 年度(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

会 長	石川 英孝	(株)ヒキフネ			
副会長	柴田 徹	(有)扶桑電化上平井工業所	副会長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業
幹 事(会計)	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)	幹 事(編集)	内藤 喜達	平和工業(株)
幹 事	梅田 伊三夫	ミナモト電機(株)	幹 事	江原 弾	メイホー(株)
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 21 年度(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

会 長	石川 英孝	(株)ヒキフネ			
副会長	柴田 徹	(有)扶桑電化上平井工業所	副会長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業
幹 事(会計)	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)	幹 事(編集)	内藤 喜達	平和工業(株)
幹 事	梅田 伊三夫	ミナモト電機(株)	幹 事	江原 弾	メイホー(株)
幹 事	福井 通人	福井電化工業(株)			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 22 年度(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

会 長	柴田 徹	(有)扶桑電化上平井工業所			
副会長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業	副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)
幹 事(会計)	内藤 喜達	平和工業(株)	幹 事(編集)	江原 弾	メイホー(株)
幹 事	梅田 伊三夫	ミナモト電機(株)	幹 事	福井 通人	福井電化工業(株)
幹 事	田島 正一	(株)田島製作所			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

会 長	柴田 徹	(有)扶桑電化上平井工業所			
副会長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業	副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)
幹 事(会計)	内藤 喜達	平和工業(株)	幹 事(編集)	江原 弾	メイホー(株)
幹 事	大澤 成晃	(株)大沢鍍金工業所	幹 事	梅田 伊三夫	ミナモト電機(株)
幹 事	福井 通人	福井電化工業(株)	幹 事	田島 正一	(株)田島製作所
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 24 年度(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

会 長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業			
副会長	内藤 喜達	平和工業(株)	副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)
幹 事(会計)	江原 弾	メイホー(株)	幹 事(編集)	大澤 成晃	(株)大沢鍍金工業所
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	福井 通人	福井電化工業(株)	幹 事	村松 康裕	(株)三松
幹 事	田島 正一	(株)田島製作所			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 25 年度(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

会 長	上原 裕司	(有)上原メッキ工業			
副会長	内藤 喜達	平和工業(株)	副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)
幹 事(会計)	江原 弾	メイホー(株)	幹 事(編集)	大澤 成晃	(株)大沢鍍金工業所
幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松	幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー
幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)	幹 事	福井 通人	福井電化工業(株)
幹 事	田島 正一	(株)田島製作所			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 26 年度(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

会 長	内藤 喜達	平和工業(株)			
副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)	副会長	江原 弾	メイホー(株)
幹 事(会計)	福井 通人	福井電化工業(株)	幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	田島 正一	(株)田島製作所			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

会 長	内藤 喜達	平和工業(株)			
副会長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)	副会長	江原 弾	メイホー(株)
幹 事(会計)	福井 通人	福井電化工業(株)	幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	田島 正一	(株)田島製作所			
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 28 年度(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

会 長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)			
副会長	江原 弾	メイホー(株)	副会長	福井 通人	福井電化工業(株)
幹 事(会計)	田島 正一	(株)田島製作所	幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	川上 隆史	(資)東亜鍍金工場	監 事	石川 英孝	(株)ヒキフネ
監 事	上原 裕司	(有)上原メッキ工業	監 事	内藤 喜達	平和工業(株)
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

会 長	八幡 義一	八幡鍍金工業(株)			
副会長	江原 弾	メイホー(株)	副会長	福井 通人	福井電化工業(株)
幹 事(会計)	田島 正一	(株)田島製作所	幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	川上 隆史	(資)東亜鍍金工場	幹 事	蝦名 一輝	(株)シルバック
監 事	石川 英孝	(株)ヒキフネ	監 事	上原 裕司	(有)上原メッキ工業
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

平成 30 年度(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

会 長	江原 弾	メイホー(株)			
副会長	福井 通人	福井電化工業(株)	副会長	田島 正一	(株)田島製作所
幹 事(会計)	川上 隆史	(資)東亜鍍金工場	幹 事(編集)	村松 康裕	(株)三松
幹 事	大村 雅史	(株)都南ビービー	幹 事	小松 慎司	キクヤビーエム(株)
幹 事	蝦名 一輝	(株)シルバック	幹 事	岡田 祥一	(株)大倉
幹 事	島田 昌潔	(有)島田工業所			
監 事	石川 英孝	(株)ヒキフネ	監 事	上原 裕司	(有)上原メッキ工業
事務局	宮部 圭典	東京都鍍金工業組合			

世界史・日本史

平成20年から平成30年

世界史・日本史 (平成 20 年～平成 30 年まで)

2008 年 (平成 20 年)	原油先物価格は 147.27 ドルと、過去最高値を記録！ 日本人選手が大健闘！北京五輪で金 9 個をゲット 100 年に 1 度の危機！世界同時不況が襲来、証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻 初快挙！日本人 5 人がノーベル賞 米国で経営危機に瀕した「ビッグスリー」(大手自動車メーカー 3 社)が、政府に公的支援を求める ユーキャン新語流行語大賞 「アラフォー」40 歳前後のこと、「グー！」エド・はるみ オバマ氏がアメリカで史上初の黒人系大統領に就任！ 大阪府知事に橋下徹氏が就任する 日銀総裁空席になる 北海道洞爺湖サミット開催 iPhone 3G 発売、爆発的人気機種に 福田首相辞任、麻生内閣発足する
2009 年 (平成 21 年)	鹿児島市の桜島が爆発的噴火 歌手 マイケル・ジャクソン氏 死去 円高ドル安、一時 84 円台に 民主党・鳩山代表が第 93 代内閣総理大臣に決まる 裁判員制度による初の裁判が始まる ワールドベースクラシックで日本が優勝 世界同時不況で電機、自動車など巨額赤字。ソニーが 1 万 6,000 人の削減に踏み切る GDP、第 1 次石油危機以来 35 年ぶり 2 けた減 当時マリナーズのイチローが 9 年連続 200 安打の米大リーグ記録を樹立 当時ヤンキースの松井秀喜がワールドシリーズで最優秀選手 (MVP) に選ばれた 米自動車最大手ゼネラル・モーターズ (GM) が経営破綻 18 歳の石川遼選手、史上最年少の賞金王に輝く。宮里藍選手、米女子ツアー初優勝 ボルト選手、世界陸上で人類初の 9.58 秒記録
2010 年 (平成 22 年)	大量の米外交公電を公開した「ウィキリークス」(機密情報を公開するウェブサイト) 北朝鮮の金正日総書記の後継者に正恩氏 尖閣沖で中国漁船衝突。映像がネット流出 小惑星探査機「はやぶさ」が 7 年ぶり帰還。小惑星「イトカワ」の微粒子の回収に成功、世界初の快挙を達成した 円高で 6 年半ぶり市場介入。ゼロ金利復活 1 ドル=82 円台に突入 宮崎県で口蹄疫、牛豚 2 9 万頭を処分 日本航空が経営破綻、負債額約 2 兆 3,000 億円と過去最大。約 1 万 6,000 人の人員削減 チリ鉱山、作業員 33 人奇跡の生還 欧州債務危機が拡大、ユーロに懸念 中国 GDP、四半期ベースで世界 2 位 サッカーワールドカップ南アフリカ大会で日本大健闘のベスト 16 バンクーバー五輪開催 (銀 3、銅 2)
2011 年 (平成 23 年)	マグニチュード 9.0、国内観測史上最大の東日本大震災が発生 首都圏は「計画停電」で混乱。 全国で「タイガーマスク運動」広がる サッカー女子 W 杯で「なでしこジャパン」が初の世界一 歴史的円高、一時 1 ドル=75 円 32 銭 タイで大洪水、日本企業にも被害 九州新幹線 博多-新八代間開業 上野動物園の 2 頭のジャイアントパンダ、「リーリー」と「シンシン」の公開を開始

警備会社で6億400万円が奪われる強盗致傷事件 国内での1件の強盗事件としては史上最悪の被害額

2011年
(平成23年)

小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録
ユーキャン新語流行語大賞「なでしこジャパン」
霧島山「新燃岳」が約52年ぶりとなる爆発的噴火
大相撲で“八百長”が疑われるメールが発覚
イギリスで、ウィリアム王子とキャサリン妃が挙式
オバマ大統領、ビンラディン容疑者の殺害を発表
菅首相が「浜岡原発」の全面停止を中部電力に要請
フランスで主要8か国首脳会議（G8サミット）が開催
「小笠原諸島」と「平泉」が世界遺産に登録される
スパコン世界ランキング、日本が7年ぶりに首位を奪還
アナログ放送終了 地上デジタル放送へ完全移行
民主党・新代表に野田佳彦氏 第95代首相に
円相場 戦後最高値の75円台
米アップルの前CEO スティーブ・ジョブズ氏 死去
世界の人口が70億人突破
オウム裁判が終結
北朝鮮・金正日総書記が死去 後継には三男の正恩

2012年
(平成24年)

復興庁が発足
東京スカイツリー開業
自民党総裁・安倍晋三が内閣総理大臣に再就任。自公連立政権が発足する
山中伸弥がiPS細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞
欧州債務危機によりユーロが急落。1ユーロ=95円58銭を記録
家電メーカーが壊滅的な業績悪化 パナ、ソニー、シャープ3社合計でおよそ1兆3,000億円弱の赤字
Wikipediaの登場で「ブリタニカ百科事典」が書籍版刊行の打切り発表
少子高齢化 15歳未満の子どもの数が過去最低の1,665万人
Facebookナスダック上場
「LINE」の会員数、全世界で6,000万を突破 国内は2,800万人に
元自民党衆院議員の「ハマコー」こと浜田幸一氏 死去
ロンドンオリンピック 日本は過去最高38個のメダルを獲得し、夏季オリンピックでの獲得総数が合計400個
人類初の月面着陸に成功した ニール・アームストロング氏 死去

2013年
(平成25年)

ドラマ『あまちゃん』・『半沢直樹』がヒット。最終回の『半沢直樹』が視聴率「42.2%」を記録。
LINEの利用者が1億人を超える
中国からの大気汚染「p m2.5」について警戒するよう環境省が注意喚起
ロシアのチェリャビンスク州に直径17メートル（過去最大の大きさ）の隕石が落下
メタンハイドレートの試験採取に成功
安倍首相が環太平洋経済連携協定（TPP）への交渉参加を正式に表明
オレオレ詐欺、振り込め詐欺に代わる新名称が「母さん助けて詐欺」に決定
長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞
富士山が世界文化遺産
ニューヨーク・ヤンキースのイチロー選手が、日米通算4,000安打を達成
ヤクルトのバレンティン選手が阪神戦で56号本塁打のプロ野球新記録を達成
大人気ゆるキャラ「ふなっしー」が歌手デビュー

2013 年 (平成 25 年) 今年の流行語大賞は「じぇじぇじぇ」「倍返し」「今でしょ」「お・も・て・な・し」の4つが選ばれた

2020 年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定

黒田東彦が日銀総裁に就任。大胆な金融緩和を開始する

公職選挙法の改正で、インターネット選挙運動が解禁となる

楽天イーグルスの田中将大が連続勝利投手で日本プロ野球記録を更新

高知県四万十市で、日本国内観測史上最高気温となる 41.0 度を観測

出雲大社と伊勢神宮がそろって遷宮

2014 年 (平成 26 年) ソチ冬季五輪 羽生結弦(19)が日本人初の金メダルを獲得

スノーボード男子ハーフパイプ平野歩夢氏(15)が2位とジャンプ男子ラージヒル葛西紀明氏(41)が1位

日本一の超高層ビル、あべのハルカス開業

消費税、8%に引き上げ

宇宙飛行士の若田光一氏が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任

若田光一氏が宇宙から帰還

デング熱感染が拡大

全米テニスで錦織 圭が準優勝

i P S 細胞使った世界初の手術を実施

俳優 高倉 健氏、菅原文太氏 死去

特定秘密保護法が施行

高田宮家二女の典子女王と出雲大社神職千家国麿が婚約

富岡製糸場が世界文化遺産に登録

御嶽山が7年ぶりに噴火し、50人以上が死亡

赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏の3人がノーベル物理学賞を受賞

2015 年 (平成 27 年) 第8回ラグビーW杯で日本が強豪”南アフリカ”を破るという歴史的勝利!

北陸新幹線開業

阪神・淡路大震災から20年

白鵬が歴代最多優勝(33回)を果たす

発売から1分で感情認識人型ロボット「Pepper(ペッパー)」完売

世界最速の「エアレース」が日本初開催

浦和レッズが”16戦無敗優勝”達成

トワイライトエクスプレスの運航終了

日経平均株価が一時、ほぼ15年ぶりに2万円台を回復

安全保障関連法案が可決

ノーベル生理学・医学賞に大村智、ノーベル物理学賞に梶田隆章が選出される

日本郵政グループ3社が東京証券取引所の一部に上場

北陸新幹線開業、東京-金沢間が2時間半に

スマートウォッチ”Apple Watch”発売

第153回芥川賞をお笑い芸人 又吉直樹氏の『火花』が受賞

新国立競技場の建設計画をゼロベースで見直す事を表明

ノーベル医学・生理学賞を北里大特別荣誉教授の大村智氏が受賞

マイナンバー制度がスタート

国産初のジェット旅客機、初飛行成功

2016 年 (平成 28 年) オバマ米大統領、広島訪問

マイナス金利導入

リオ五輪 パラ含め最多41個メダル

2016年

(平成28年)

18歳で選挙権 改正選挙法施行
シャープ、台湾の鴻海傘下に
新元素「ニホニウム」と命名日本で発見された初の元素
広島東洋カープ 25年ぶりリーグ優勝
熊本地震発生。震度7 (M7.3) を2回観測
東京都知事の舛添要一が自身の政治資金問題などで辞職。都知事選で小池百合子が当選
オートファジーの仕組みの解明で、大隅良典がノーベル生理学・医学賞受賞
北海道新幹線が開業
位置情報ゲーム「ポケモンGO」がヒット
SMA Pが騒動の末に解散
長寿漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の連載終了
イギリスの国民投票でEU離脱派が勝利
アメリカ大統領選でドナルド・トランプが勝利

2017年

(平成29年)

安室奈美恵(歌手)、宮里藍(プロゴルファー)、浅田真央(フィギュアスケート)が引退発表
トランプ大統領就任
北朝鮮が弾道ミサイル発射、日本上空を通過、Jアラート発令
天皇退位法案可決
上野動物園 パンダ「シンシン」5年ぶり出産
「インスタ映え」が流行
稀勢の里が第72代横綱
将棋の羽生善治竜王と、囲碁の井山裕太棋聖への国民栄誉賞授与
「プレミアムフライデー」初実施
「沖ノ島」世界遺産に
早実・清宮幸太郎氏が高校通算111号本塁打
箱根駅伝、青学大が3連覇
世界卓球混合複、日本勢48年ぶり優勝
東芝が経営危機に陥る
複合商業施設「GINZA SIX」開業
前年の2016年に生まれた子供の数が79万人余りと判明、100万人割れは統計の残る1899年以来初
小池百合子東京都知事の「都民ファーストの会」が都議選で躍進。その後、希望の党を立ち上げる
エアバッグの欠陥問題でタカタが経営破たん。負債は1兆円を超える見通し
中学生プロ棋士の藤井聡太氏が公式戦新記録となる29連勝
広島東洋カープ 2年連続リーグ優勝
大手企業でデータ改ざんや品質検査を無資格者が行っていたことが発覚
陸上の桐生祥秀が日本人選手初の公認記録100m走9秒98を達成
日経平均株価が25年10ヶ月ぶりの高値2万2937.60円をつける
仮想通貨ビットコインが高騰を続ける
将棋棋士の羽生善治竜王が史上初の永世七冠を達成

2018年

(平成30年)

関東甲信で大雪=東京20センチ超、4年ぶり警報
草津白根山で噴火
小平奈緒氏、日本女子初の金=スピード女子500m、スピード団体追い抜きで日本女子が金
カジノ法が成立
埼玉・熊谷で41.1度=国内最高
オウム死刑囚の死刑執行終える
日本相撲協会の不祥事相次ぐ
平昌五輪が開幕。羽生弓弦選手が五輪2連覇、6年ぶりフィギュア五輪連覇

2018 年
(平成 30 年)

安倍内閣の「働き方改革」
俳優 大杉 漣氏 死去
エンゼルス大谷が劇的デビュー
歌手 西城秀樹氏 死去
史上初の米朝首脳会談
日本をはじめ世界各地で異常猛暑
西日本豪雨
タイ北部の洞窟に少年ら閉じ込め 国際救助チームが結成され、救助活動が行われた 2 週間ほどかけ全員 (13 人) を救助
格闘家 山本” K I D “徳郁氏 死去
女優 樹木希林氏 死去

年度別十日会賞受賞者名簿 ゴルフ大会リザルト

年度別十日会賞受賞者名簿

期	表彰年度	受賞者氏名	業績内容
1	昭和 47 年	永井淑晴	めっき専業工場における排水処理対策に多大な貢献のほか。
2	昭和 48 年	持田有信	永年の毒劇物取扱者試験準備講習会講師としての功績ほか。
3	昭和 49 年	加瀬敬年	永年の高等職業訓練校講師としての功績を高く評価。
4	昭和 50 年	中村 実	光沢銅めっき法・濃厚シアン廃液処理法。クローズドリサイクルシステム研究ほか。
5	昭和 51 年	古川 茂	城南処理センター初代所長として濃厚廃液の処理に対する運営管理に専念された功績。
6	昭和 52 年	押切芳之	永年の高等職業訓練校講師としての功績を高く評価。
7	昭和 53 年	足立支部	公害防止の徹底と省資源化を目標とした足立方式、近年のクロム排水のクローズド化。イオン交換再生作業の共同化及び教育映画の編集などの功績。
8	昭和 54 年	江原猛二	昭和 45 年法律改正により排水基準が強化されたとき除害後における排水中のシアン・クロム濃度の正確かつ簡易な測定方法として簡易比色分析器を開発し、東京をはじめ広く全国に普及に図った功績。
9	昭和 55 年	矢部 賢	電気めっき業における公害源の除害技術を改良しかつ技術開発に努力され組合員に公害防止の重要性和防止意識の高揚に多大なる貢献をされた。
10	昭和 56 年	石川 進	めっき業界に公害問題が発生した当初から指導的立場に立ち公害防止技術の開発、普及に尽力された功績。当組合の委員を多年にわたり歴任し後継者の育成に献身的努力された功績ほか。
11	昭和 57 年	鈴木昭一	職業訓練校、毒劇物講習、各講師、技能検定委員等の役職を永年にわたり在職され、めっき技能向上に多大なる貢献をされた功績。
12	昭和 58 年	横山一男	粉じん作業特別教育指導員としての功績、公害防止実態調査に貢献された功績、訓練校講師としてめっき技術向上に多大なる功績をされた功績。
13	昭和 59 年	柴 文人	11 年の永きに亘り、技能検定員としてめっき業界の技術振興に寄与された功績ほか。
14	昭和 60 年	細井義一	技能検定委員及び委員長を務め、めっき技能者の技術水準の向上と人材育成に尽力し、業界の振興に寄与した。また、本部委員、役員等を務め組合の健全な発展と組織運営に寄与した等の功績による。
15	昭和 61 年	該当者無し	
16	昭和 62 年	米倉茂男	13 年の永きに亘り、東京通産局主催の電気めっき廃水巡回指導の指導員として、業界の無公害化・作業環境改善等に貢献された。また、永年に亘り、組合主催の研修会において、講師を務めるなどの組合の事業運営に積極的に貢献し、電気めっき業界の件残なる発展に寄与された功績による。
17	昭和 63 年	佐藤二郎	永年に亘り、組合役員として業界に貢献。特に教育委員会委員長として、組合員師弟、従業員の人材養成の要である高等職業訓練校の充実に多大の貢献をした功績による。
18	平成 1 年	小橋秀寿	永年に亘り組合役員として業界に貢献。特に環境委員長として、公害防止管理規約の立案、成立等、今日の公害防止事業の基盤を作ってこられた功績による。
19	平成 2 年	西原一夫	永年に亘り組合役員として業界に貢献。とりわけ副理事長時代広報委員会を担当、組合事業の PR に尽力され、又、百周年記念誌編集委員長としての功績ほか。
20	平成 3 年	下浦岩夫	東京鍍金公害防止協同組合の技術委員会委員として協同組合の技術的な運営に献身的に尽力されたことによる。
21	平成 4 年	遠藤雅夫	城南処理センター副所長として公害防止協同組合の事業に協力して、20 年にわたる無災害記録の維持に大きく貢献されたことによる。
22	平成 5 年	和田 勝	城南処理センターのシアン無害化施設の建設における献身的な尽力による。
23	平成 6 年	板橋利次	昭和 60 年から 4 期にわたり広報委員長として活躍。広報発刊の基盤を作られた功績による。
24	平成 7 年	青木 正	組合事業所からの有害産業廃棄物の収集運搬業務を今日事故もなく円滑に遂行してこられた事による。
25	平成 8 年	瀬田新二	教育委員会副委員長、環境委員会副委員長、環境担当副理事長などを歴任され、組合及び業界発展のため誠意努力され、組合運営に有形、無形の多大な貢献をされた事による。
26	平成 9 年	葛飾支部	昭和 60 年から毎年葛飾区産業展に参加し、地場産業としてのめっき産業を地域住民に PR。また組合常設展示場における趣向を凝らした展示物を具現化された努力と行動力による。

27	平成 10 年	川上洋一	永年に亘り技能検定業務を通じてめっき技能者の技術評価を進めた結果、技能者に技能向上の意欲を持たせることとなった。また、環境問題では昭和 58 年以来、所属支部の公害防止自主管理本部長として、事故発生の原因究明、設備改善の指導に加え、技術的指導を当該事業所に与えるなど、地域めっき事業者のレベルアップに尽力されたことによる。
28	平成 11 年	太田寿一	永年に亘り技能検定と職業訓練校に尽力し、平成 8 年には、合併した技能教育委員会を担当し、一貫して訓練校の教育訓練、技術向上に貢献し、訓練校も周 3 日から週 2 日へ変更、全鍍連主催のめっき技術コンクールに訓練生全員が参加できるようなり尽力した。
29	平成 12 年	小倉芳夫	情報化事業において組合のホームページ創りをリードするとともに組合員事業所を対象としたホームページ講習会を企画実施して啓発・普及に努めた。また、人材・教育の面では経営・技術の両面から経営者及び中堅技術者層の知識の涵養と意識改革のために有益な講演会を開催。組合員事業の発展と組合運営の指針として受け継がれ、将来にわたって有形・無形の貢献をなすものである。
30	平成 13 年	梅本喜四郎	東京都鍍金工業組合向島支部において、支部役員を 16 年務められ、支部長理事、常任理事として活躍。組合本部においては、旧出資証券と新出資証券の発行に際し、1 年有余のご苦労と情熱を重ね、また定款及び規約等検討委員会委員として、組合定款作成に大変な尽力を尽くしたことは、特別な功労であった事。
31	平成 14 年	該当者無し	
32	平成 15 年	石川進造	永年に亘り支部運営に多大なる貢献をされ、葛飾区産業展への出展においては展示品の政策やめっき技術の提供・サービスなど並ならぬ熱意と努力、そして創造性を発揮され、めっき製品のイメージ向上と需要開拓に大きな成果をあげ、支部組合員の厚い信頼を得て名実ともに葛飾支部の強固な基盤を築いた。また、新技術の開発に於いて、困難な問題に直面しながらも着実に成果を上げ、めっき業界の発展・向上に寄与してきた事。
33	平成 16 年	菊池忠男	昭和 58 年 5 月、当該組合理事の要職に就任して以来、今日に至る 21 年間余、終始、めっき技術の向上に精励・自己研鑽に励み、また、持前の研究心や努力を傾け、業界が直面する技術課題に真正面から取り組み、数々の成果を挙げたこと。一方、後進の育成にも、力を注ぎ、技能検定試験での合格率の向上、排水処理技術を担う若手技能者の育成、職業訓練校での、訓練をとおり、業界を支える人材の育成に尽力したこと。
34	平成 17 年	該当者無し	
35	平成 18 年	八幡順一	平成 3 年 5 月、当該組合理事の要職に就任して以来、今日に至る 15 年間余、終始、めっき技術の向上に精励・自己研鑽に励み、また、持前の研究心や努力を傾け、業界が直面する技術課題に真正面から取り組み、数々の成果を挙げたこと。一方、後進の育成にも、力を注ぎ、技能検定試験での合格率の向上、排水処理技術を担う若手技能者の育成、職業訓練校での、訓練をとおり、業界を支える人材の育成に尽力したこと。現在も高等職業訓練校の校長として、引き続き後進の指導に当たっていること。
36	平成 19 年	石原祥江	昭和 57 年より昭和 63 年、平成 3 年、平成 6 年から平成 18 年までの 19 年間にわたり、東京都鍍金工業組合 高等職業訓練校の講師として教壇に立ち、めっき素地材料・安全衛生の科目を担当して来ました。また、実技の授業も担当し、訓練生に実験を通じ様々な技術を指導し、人材育成、教育事業に貢献されました。平成 13 年 8 月より 17 年 3 月までの 3 年 8 ヶ月は、東京都鍍金工業組合の技術顧問として、組合員の技術相談員として、業界に貢献されて来ました。
37	平成 20 年	永田一雄	氏は、東京都鍍金工業組合の理事、支部長理事、常任理事として、永年組合運営に貢献され、委員会は広報委員会委員、環境委員会委員を歴任し、現在は環境委員会副委員長として、環境保全に尽力されております。また、東京都鍍金工業組合 高等職業訓練校の講師として教壇に立ち、亜鉛めっき・亜鉛合金めっき・後処理を担当して人材育成、教育事業に貢献されてきました。めっき業界だけではなく、関連する団体(表面技術協会や東京鋳螺協同組合、関東鋳螺釘工業協同組合等)で講師を務め、バレルめっき、亜鉛めっき、3 価クロム化成皮膜、環境問題、P R T 法等について講演を行いメッキ業界のおかれた状況、めっき技術についての理解と啓蒙をはかり、新しい技術の普及に努めてこられました。
38	平成 21 年	該当者無し	
39	平成 22 年	該当者無し	
40	平成 23 年	神谷博行	氏は平成 9 年広報副委員長に就任すると、組合の先駆的な取組みを広く周知させるために、発行対象先を関連業界へと拡大させました。広報誌の使命として、『組合運営の方針や活動の内容』『組合員の意見や要望』『業界内の共通課題』『関係官庁の施策』など 4 つの情報を正確かつ広範に組合員の皆様へお届けし、広報誌の改革のために組合員の関心の高い景気動向、めっきの技術情報、環境科学研

40	平成 23 年	神谷博行	<p>研究所で行う排水分析の結果を踏まえた教育情報、高等職業訓練校の授業情報を加えるなど幅広いニーズに応えるべく積極的に活動致しました</p> <p>これは日本鍍金材料協同組合と日本表面処理機材工業会の組合員を対象にしたもので、機械・薬品・めっき加工と三位一体にて業界全般の問題を共有し解決して行くという、氏の強い決意の表われでありました。この努力の結果、広報誌の発行は 532 回を数え、他組合の模範となっています。めっき業界を思う熱意は、当組合の発展・向上の原動力として、大きな実績を残されました。</p>
41	平成 24 年	該当者無し	
42	平成 25 年	該当者無し	
43	平成 26 年	該当者無し	
44	平成 27 年	荻宿充久	<p>平成 15 年 5 月、東京都鍍金工業組合の理事に就任して以来、支部長理事、常任理事を歴任し、平成 25 年 5 月より副理事長に就任。現在も組合運営に貢献されておられます。めっき技術の向上に精励・自己研鑽に励み、また、持前の研究心や努力を傾むけ、業界が直面する技術課題に真正面から取り組まれて来ました。</p> <p>平成 11 年より技能教育委員として、技能検定試験を始め、排水処理技術を担う若手技能者の育成、高等職業訓練校での訓練をとおして、業界を支える人材の育成に尽力し、また、東日本震災以降は高等職業訓練校の人員確保のため、全鍍連や関係各所に働きかけ、40 名以上を確保するなど、大変尽力されました。平成 25 年度より高等職業訓練校の校長として引き続き後進の指導と高等職業訓練校の運営に尽力されておられます。この様な氏のめっき業界を思う熱意は、当組合の発展・向上の原動力として、また、人材育成に大きな実績を残されました。</p>
45	平成 28 年	小倉攻一	<p>平成 3 年 5 月、東京都鍍金工業組合の理事に就任して以来、支部長理事、常任理事を歴任し、平成 27 年 5 月より監事に就任。現在も組合運営に貢献されておられます。また、葛飾支部の行事で、葛飾区の「葛飾区産業フェア」で無電解めっきの高価な原液を毎回提供して頂き、ピーカー内での実演に使用させて頂きました。めっきとは何か解らない子供達に、めっきの技術として葉の葉脈に無電解めっきと金めっきを実演し、色の変化を見せることによって、子供達に興味を持ってもらうことが出来き、氏はめっきの PR に協力を頂き、「めっき」を広く知って頂けるようになりました。</p> <p>この様な氏のめっき業界を思う熱意は、人材育成に大きな実績を残され、また、めっき業界のイメージ向上に尽力されました。</p>
46	平成 29 年	石崎利一	<p>平成 19 年 5 月、東京都鍍金工業組合 向島支部支部長に就任され、向島支部歴代支部長が積極的に参加していた「すみだものづくりフェア」に引き続き参加し、めっきの PR を積極的に行ってまいりました。また、他業種でもある、東京都印刷工業組合墨田支部とコラボレーションする事により、めっき製品の可能性を広げ付加価値を高め、参加された来場者への関心も集めることに成功されました。</p> <p>平成 23 年 5 月に常任理事となった際には広報委員会副委員長、平成 27 年 5 月に副理事長となった際には広報委員会担当副理事長として広報委員会を永年担当されてきました。昨年末には、組合広報 600 号の記念号も発刊され、50 年間一度も途切れることない組合広報の製作に貢献されてきました。また、公害防止協同組合 運営委員会の委員を兼務され、公害防止協同組合の経営体制を抜本的に変え、黒字経営に導かれました。さらに、公害防止協同組合立ち上げ時の東京都からの借入金を繰り上げ返済し、保証人となっていたすべての組合員の心的、金銭的な負担を取り除かれました。</p> <p>この様な氏のめっき業界を思う熱意は、地域そして東京都のめっき業に対するイメージの向上に貢献され、また、組合員の負担軽減に尽力されました。</p>
47	平成 30 年	土井 正	<p>昭和 57 年より東京都鍍金工業組合 高等職業訓練校の講師を務め、「ニッケルめっき」、「ハルセル試験」、「無機化学」などの講師として講壇に立ち、さらに実技指導として、実験を通じて訓練校生徒に指導を行っております。また、訓練校修了生達から、めっき技術の相談をされるなど、訓練生に絶大な信頼を得ております。近年では、めっき業界の革新的技術開発で、ホウ素規制に対応したクエン酸を用いた「クエン酸ニッケルめっき法」を開発され、普及に取り組んでこられました。</p> <p>その業績が認められ、平成 25 年度の科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 技術部門を受賞されました。平成 14 年 11 月より平成 29 年 10 月まで、長年にわたり国家資格でもあります技能検定試験において、中央職業能力開発協会より中央検定委員に任命され、「めっき・電気めっき作業」の試験問題作成に携わり、取り組んでこられました。</p>

ゴルフ大会リザルト

回	開催日	優勝	準優勝	3位	BB	BG
第1回	S52. 8. 8	宮田栄次郎	金田留雄	木下健次	小松国浩	木下文良
第2回	S53. 6. 25	大沢秀夫	縄田忠治	小林邦夫	八幡順一	大沢章二
第3回	S53. 11. 26	直海和夫	後藤哲夫	仲俣一三	狐塚保之	岩崎俊男
第4回	S54. 5. 27	大沢章二	直海和夫	中井久二	八幡順一	大沢章二
第5回	S54. 9. 9	上村福子	今泉好隆	直海和夫	大場槌寅	直海和夫
第6回	S54. 12. 2	小林邦夫	狐塚保之	小松国浩	西矣田邦夫	縄田敏治
第7回	S55. 3. 20	小松国浩	今泉好隆	中井久二	黒須吉雄	縄田敏治
第8回	S55. 6. 1	細井 肇	伊藤英正	仲俣一三	富田康祐	大沢章二
第9回	S55. 10. 5	狐塚保之	仲俣一三	直海和夫	長島紘太郎	直海和夫
第10回	S56. 3. 8	八幡順一	仲俣一三	黒須吉雄	石川雅一	仲俣一三
第11回	S56. 6. 21	木下健次	近藤澄男	今泉好隆	井上喜夫	近藤澄夫
第12回	S56. 10. 18	中井久二	上村福子	金田留雄	永田一雄	大沢章二
第13回	S57. 5. 23	近藤澄夫	伊藤英正	細井 肇	狐塚保之	大沢章二
第14回	S57. 8. 15	小松国浩	縄田忠治	大沢章二	大沢秀夫	大沢章二
第15回	S57. 12. 5	上村福子	仲俣一三	縄田敏治	柳下和彦	大沢章二
第16回	S58. 7. 24	細井 肇	小林邦夫	柳下和彦	大場槌寅	細井 肇
第17回	S58. 11. 26	小松国浩	縄田敏治	柳下和彦	堀米 清	大沢章二
第18回	S59. 11. 23	遠藤清孝	今泉好隆	保坂晃一	仲俣一三	高倉利守
第19回	※S60	青木 弘	今泉好隆	小室昭進	小林邦夫	青木 弘
第20回	S60. 12. 1	清村進之	上村福子	縄田敏治	永田一雄	高倉利守
第21回	S61. 7. 6	鶴見文雄	縄田敏治	小倉攻一	小室昭進	小倉攻一
第22回	S61. 12. 6	神谷博行	上村福子	小倉攻一	遠藤清孝	小倉攻一
第23回	S62. 4. 19	小室昭進	小林憲和	黒須吉雄	神谷博行	高倉利守
第24回	S62. 11. 1	太田夢一	中村 強	台 大五郎	岩倉文明	高倉利守
第25回	S63. 6. 5	仲俣一三	竹ヶ原 攻	高倉利守	太田夢一	高倉利守
第26回	S63. 9. 4	上野啓司	縄田敏治	保坂晃一	小室昭進	縄田敏治
第27回	H1. 5. 21	小林邦夫	八幡順一	仲俣一三	小室昭進	小林邦夫
第28回	H1. 11. 19	仲俣一三	内藤隆夫	中井俊晴	小室昭進	仲俣一三
第29回	H2. 7. 15	上野啓司	大村公二	清村進之	堀部 清	縄田敏治
第30回	H3. 3. 3	小林邦夫	近藤澄男	縄田敏治	堀部 清	高倉利守
第31回	H3. 6. 16	仲俣一三	今泉好隆	小室昭進	長橋久雄	高倉利守
第32回	H3. 12. 7	八幡順一	小松国浩	小林邦夫	山田英佐夫	齋藤晴久
第33回	H4. 6. 7	清村進之	長橋久雄	縄田敏治	石川雅一	縄田敏治
第34回	H4. 9. 6	内藤隆夫	八幡義一	森 克夫	山田英佐夫	内藤隆夫

回	開催日	優勝	準優勝	3位	BB	BG
第35回	H5. 4. 3	山田英佐夫	小倉攻一	中川士郎	菊地利博	小倉攻一
第36回	H5. 9. 26	梅田高広	今泉好隆	遠藤清孝	森 克夫	小林邦夫
第37回	H6. 4. 24	中川士郎	今泉 勇	二木一郎	小室昭進	中川士郎
第38回	H6. 9. 18	山田英佐夫	竹ヶ原 攻	小倉攻一	上野啓司	小倉攻一
第39回	H7. 4. 23	二木一郎	大沢俊孝	遠藤清孝	森 克夫	大沢俊孝
第40回	H7. 6. 25	遠藤清孝	内藤隆夫	小林邦夫	山田英佐夫	小林邦夫
第41回	H7. 11. 19	二木一郎	齋藤晴久	内藤隆夫	菊地利博	内藤隆夫
第42回	H8. 5. 26	遠藤清孝	上村福子	清村進之	今泉 勇	小林邦夫
第43回	H8. 10. 20	小室昭進	笠原正夫	今泉 勇	岡田 茂	小林邦夫
第44回	H9. 5. 25	梅田高広	竹ヶ原 攻	縄田敏治	齋藤晴久	岡田 茂
第45回	H9. 9. 21	大沢俊孝	上野啓司	小島一浩	森 克夫	小島一浩
第46回	H10. 4. 26	内田悦美	二木一郎	高倉利守	小室昭進	内田悦美
第47回	H11. 4. 25	清村進之	上村福子	新井嘉喜雄	八幡順一	清村進之
第48回	H11. 9. 19	縄田敏治	小林邦夫	中川士郎	小室昭進	小林邦雄
第49回	H11. 12. 4	池田憲治	山田英佐夫	清村進之	齋藤晴久	清村進之
第50回	H12. 5. 27	内田悦美	岡田 茂	中川士郎	仲俣雅行	内田悦美
第51回	H12. 12. 2	遠藤清孝	大沢俊孝	小林邦雄	竹ヶ原 攻	新井嘉喜雄
第52回	H13. 6. 2	縄田敏治	荒井 博	太田寿一	国分大輔	新井嘉喜雄
第53回	H13. 12. 1	新井嘉喜雄	縄田敏治	中川士郎	八幡順一	新井嘉喜雄
第54回	H14. 5. 18	齋藤晴久	太田幸一	石川英孝	近藤澄男	新井嘉喜雄
第55回	H14. 12. 7	上野啓司	上市孝志	八幡義一	八幡順一	縄田敏治
第56回	H15. 4. 20	上村福子	池田憲治	石川英孝	石垣安浩	縄田敏治
第57回	H15. 11. 16	新井嘉喜雄	狐塚保之	上村福子	石垣安浩	新井嘉喜雄
第58回	H16. 5. 16	内藤隆夫	石川英孝	山田英佐夫	梅田伊佐夫	内藤隆夫
第59回	H16. 11. 14	狐塚保之	梅田伊佐夫	山田英佐夫	柴田 徹	新井嘉喜雄
第60回	H17. 5. 22	石川英孝	内藤喜達	今泉 勇	池田憲治	縄田敏治
第61回	H17. 10. 23	狐塚保之	山田英佐夫	縄田敏治	八幡順一	狐塚保之
第62回	H18. 5. 14	縄田敏治	二木一郎	石川英孝	福井通人	縄田敏治
第63回	H18. 11. 12	太田幸一	清村進之	石川英孝	梅田伊佐夫	清村進之
第64回	H19. 4. 22	齋藤晴久	石川英孝	遠藤清孝	上市孝志	縄田敏治
第65回	H19. 11. 11	山田 亮	新井嘉喜雄	山田英佐夫	福井通人	新井嘉喜雄
第66回	H20. 5. 11	上市孝志	二木一郎	能登朋有	太田幸一	清村進之
第67回	H20. 11. 30	上村福子	柴田 徹	石垣安浩	江原 弾	新井嘉喜雄
第68回	H21. 5. 24	内藤喜達	新井嘉喜雄	石川英孝	村松康裕	清村進之

回	開催日	優勝	準優勝	3位	BB	BG
第69回	H21. 11. 29	内藤喜達	石川英孝	江原 弾	上市孝志	廣嶋 力
第70回	H22. 5. 23	江原 弾	吉岡英則	小松慎司	中村 博	清村進之
第71回	H22. 11. 23	石川英孝	上市孝志	山田英佐夫	遠藤清孝	石川英孝
第72回	H23. 11. 20	柴田 徹	内藤喜達	清村進之	池田憲治	清村進之
第73回	H24. 5. 27	新井嘉喜雄	上原裕司	八幡義一	小島秀樹	新井嘉喜雄
第74回	H24. 11. 11	宮坂 純	村松康裕	上原裕司	山田英佐夫	新井嘉喜雄
第75回	H25. 5. 26	小松慎司	小島秀樹	清村進之	太田幸一	石川英孝
第76回	H25. 10. 27	山田英佐夫	狐塚保之	池田優子	内藤喜達	内田悦美
第77回	H26. 5. 17	上原裕司	廣嶋 力	内藤喜達	上村福子	山村宏二
第78回	H26. 11. 9	中村 博	石川英孝	上村福子	狐塚保之	石川英孝
第79回	H27. 5. 17	梅田輝幸	小松慎司	山村宏二	小島秀樹	山村宏二
第80回	H27. 11. 8	廣嶋 力	稀代次郎	村松康裕	中村 博	山村宏二
第81回	H28. 4. 23	谷許俊之	梅田輝幸	内藤喜達	上村福子	谷許俊之
第82回	H28. 10. 30	梅田輝幸	村松康裕	池田優子	宮坂 純	梅田輝幸
第83回	H29. 5. 21	遠藤清孝	中村 博	堀口研一	小平哲也	遠藤清孝
第84回	H29. 10. 14	上市孝志	内田悦美	小松慎司	後藤 章	内田悦美

※ 第19回 ゴルフ大会の日付については不明です。

第84回ゴルフ大会優勝者
上市孝志 様



第83回ゴルフ大会優勝者
遠藤清孝 様



第82回ゴルフ大会優勝者
梅田輝幸 様



寄稿文

八幡鍍金工業株式会社
取締役会長 八幡順一

神谷電化工業株式会社
代表取締役 神谷博行

立石電化株式会社
代表取締役 狐塚保之

福井電化工業株式会社
取締役会長 福井順子

寄稿文 ～十日会と共に歩んだ人生～



『思い出』

八幡鍍金工業株式会社

取締役会長 八幡順一

70周年おめでとうございます。と言うよりご苦勞様です。私にとってこの十日会は、子供の頃より参加させてもらっており、特に日本鍍金協会年次大会は家族旅行も兼ねており楽しみにしていたものでした。十日会の会員となり、40年前のちょうど30周年記念の時に施行部として携わり、その頃の事が今でも昨日の如く思い出します。30周年を行う事になりましたが、肝心の資金の蓄積が全く無く、又どの位の費用が掛るかも検討がつかないし、という事を理由に中止にしてはどうかという方向で考えていたのですが、一様、先輩の方々に相談した所、“節目だし30周年をしないのはおかしい。金はなんとかなるから。”という事でした。

当時は日本経済も右肩上がりで景気も良かった事もあるのか、30周年記念事業を挙げる事となりました。だんだんと進行して行くと、記念誌だけではなく、記念品も出した方がいいのではとか、色々とお出費する事が増え、資金が足なくなり再度会員に臨時会費の徴収というわけにもいかず頭を悩ませておりましたが、先輩達が「やれ」と言ったのだから不足分は先輩達にお願いする事にしようという事になり、主立つ先輩達に集って頂き頭を下げお願いした事を思い出します。

後日、税務署より私の所に電話が有り、「十日会という会でかなりの費用が提出されているが事実かどうか」の確認の問い合わせがあった程、先輩の方々には負担をお願いしたものでした。その後、周年行事には携わってきましたが、やった事はなんとなく覚えている程度で、当たり前的事だがどんな事でも苦勞した分だけが記憶に鮮明に残っているし、今になると大変だった事が楽しい思い出に変わっている。執行部の皆様も大変だと思いますが、私の年位になると良かったと思える様になりますので頑張ってください。



『十日会を通じて』
神谷電化工業株式会社
代表取締役 神谷 博行

日本鍍金協会十日会創立70周年を迎えられ誠にありがとうございます。

創立は昭和23年私が生まれた年でした。戦後の荒廃・混乱の中、復興に向けて新生日本が動き出した時代、日本の経済が大きく変化していく中、私の父親は戦前に自転車に関わる仕事をしていた関係で、自転車のハンドルを製造することになりましたが、その当時めっき代があまりに高く、ハンドルの販売価格の半分以上になり、そこでめっきを自社で行うようになりました。当時は自転車、オートバイ、ミシン、洗濯機などが売れる時代。

私の会社ではめっき技術がなにも分かりませんでしたので、めっき技術の先生に指導を受け行っていました。その先生が研究室でお亡くなりになってからは、材料商・薬品メーカーの方々の指導を受けながらめっき業を行って来ました。

私は高校生の頃に、めっき業を継ごうと決め高校3年生で毒劇物取扱責任者の資格取得、20代でめっき技術や公害防止の本を神田の本屋で買い、第1種公害防止管理者の資格取得、30代で電気めっき作業1級技能士を取得。めっきの勉強をしていた頃に直海和夫会長の時代に会員になりました。八幡順一会長の時に運営委員になり、その後小林邦雄会長、永田一雄会長の元で会運営に携わせていただき、昭和61年、62年と十日会会長を務めさせていただきました。十日会では、めっき技術をはじめめっき業の運営、特に名鍍会、青研会の皆さんの工場を見学させていただき、他社の設備やめっき作業の工夫、その会社社長の理念、経営手腕、経営ビジョンなどをうかがい大変勉強できたのも、十日会に入会したおかげと思います。

現在、私は東京都鍍金工業組合理事長と全国鍍金工業組合連合会の環境担当副会長として活動させていただいています。来年暫定排水基準値が切れるホウ素、フッ素については経済産業省を通じてホウ素、フッ素の安価な処理方法がない為、環境局に暫定排水基準の再延長をお願いしています。現在めっきの機械化・技術・薬品の性能と進歩が目覚ましく、新薬に対する排水処理技術の対応が遅れているのが現状です。ホウ素・フッ素・亜鉛の基準値に適合できていない、都市型のめっき事業所が今後の課題になっています。

めっき業界も事業所の減少を続ける現在、東京十日会、愛知名鍍会、大阪青研会の日本鍍金協会の皆さんの英知をつくして、今後のめっき業界の先導者を輩出させていただきたいと願っております。特にめっき業界のリーダーとして、日本鍍金協会十日会の発展と活躍を祈念いたします。



『十日会も古稀』
立石電化株式会社
代表取締役 狐塚保之

十日会70周年おめでとうございます。人に例えるならば、古稀になります。古稀は、「70年も生きられる人は古来より稀である」に由来します。これも十日会を活発に引き継がれてきた、歴代の役員の皆様と会員の皆様様の努力の賜物に他なりません。

私は、十日会に直海和夫会長時代に、葛飾支部から菊池忠男氏他3名とともに入会しました。その以前には、昭和20年代宇都宮に工場があった時代に、父が何回か十日会の勉強会に出席していたようです。

私事にはなりますが、幼少の頃から遊び場は鍍金作業場と倉庫で育ちました。当時の工場は、回転の銅めっき、ニッケルめっきをしていました。バレルは、木枠とベークライト板に穴が開いていました。使っていると、ベークライトが膨れて、取り換えるといった代物。その後、塩化ビニールが出現して一変しました。

ニッケルの光沢剤がない時代(?)には、ニッケルめっき仕上がり後に、小切れの革と品物を水平バレルに入れ、一時間ほどもんで取り出し、革と品物を選別していました。多少光沢が出たようです。当時、「にかわ」が光沢剤になると父が聞いてきて、良質なにかわを仕入れました。少し入れたら、光沢が出て、大喜び。再び入れると、バリバリのめっき(笑)に仕上がりました。その後は、カドミウムなどを使っていたようです。そんな光沢剤の創成期でした。

今では、装置も光沢剤等も濾過機も分析も発達して、通常では容易に良いめっきが付くようになりましたが、めっき液は生き物です。子供を大切に育てるように扱えば、めっき液は「言うことを聞く」が父の口癖で、私はその言葉を一番大切にしています。マニュアル化できない技術(めっきの心)の伝承は難しいもの。それを、次の世代(うちでは息子)を育成し伝えることが大切だと考えています。

現在、私の十日会の活動は、ゴルフコンペと新年会などを楽しませていただいています。

これからも「めっきを天職とすることによって、日本に奉仕する」「討論する、司会する、協力する」十日会の精神で切磋琢磨し、末永く発展することを祈願いたします。



『70周年おめでとうございます!』

福井電化工業株式会社

代表取締役会長 福井順子

十日会創立70周年、心よりお祝い申し上げます。「同じ年齢ということでは何か…」というお申し出を受け、大変お世話になっている十日会の為、「間違っていたらごめんなさい!」ということで、よろしくお願い致します。

年齢が同じということは、初期の頃は父親達の時代でした。終戦後の何もない中から現在の世界をリードできる産業となる基礎を作ってくれたと思っております。

昔の写真を見るとめっき槽の代わりに酒樽か醤油樽の様な樽を使っているのを見たことがあり、品物は木製のりんご箱に入れていた記憶があります。

その様な状況下、色々な問題の解決、新しい技術の情報等、一人ではできないことを皆で協力しあって開拓したのではないのでしょうか? 幼い時の記憶をたどれば、高浜先生、友野先生、服部先生のお名前を聞き、お顔を思い出します。皆で学問的な理論をお聞きし、現場で実践し、改善していったのではないのでしょうか?

また、アメリカのプロダクトフィニッシング誌の、最後は編集長になられたBlount氏には進駐軍で来日していた頃から、アメリカでのめっきに関する情報等をいただき、後にはアメリカの業界視察の度に見学先をお手配下さり、AESの大会に参加させていただいたりして大変お世話になりました。Blount氏のご自宅にご招待を受けた方も沢山いらっしゃると思います。

また、私共子供としては、湯島の会館(昔の赤い屋根?)での懇親会、小学校時代には日本鍍金協会の家族会で、当時としては破格に贅沢な(多分金額に糸目はなかった?)旅行を毎年させていただきました。当時は何も分からず楽しい思い出ばかりですが、今の状況から考えると「あの費用、全部経費で落としてた!?!」→「すご〜い!」と思うばかりです。

私共では、父(通祐)が長い間お世話になり、その後短い期間でしたが、私の主人と私がお世話になり、現在、今年から社長になりました通人が大変お世話になっております。

私の時も皆さま暖かく受け入れて下さり、今通人には、私では教えられないことを沢山皆様に教えていただいております。

この様に長きに渡りお世話になって、私なりに感じる十日会の良いところは、

- 1)若い人を育てる…年長者が会長になる組織が多い中、十日会は若い人に会長になるチャンスを与え、年長者が暖かく見守りながら指導しており、会社を継ぐ人達には、大変良い勉強をさせていただいていると思います。
- 2)私欲にとらわれない情報交換…困っている点などを教えあうなど、「お互いの成長が 業界の成長」という発足当時の精神は本当に素晴らしいと思います。

最後に、長きに渡って十日会を支えて下さった皆様に心からの感謝を申し上げ、皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

座談会

これからの輝ける将来のために

十日会 70 周年式典を迎えるにあたり、60 周年の振り返りを実施していたところ、当時も今も、業界が抱える問題に大きな差はないことがわかった。

60 周年当時は、リーマンショックに突入する時期であり、当時は、その備えや、対応に苦慮した点については、現在の事業環境とは異なっている。

しかしながら、人口減少・少子高齢化はますます加速しており、事業者数の減少にも歯止めはかかっていない。

一方、めっき産業が完全に装置産業であるならば、良質な被鍍金材と薬品と装置さえあれば、世界中どこでも同様な製品の供給が可能だと思われる。

このような状況下で、これまで生き残り、市場に受け入れられて事業を継続させていただいているということは、なんらか輝いている点があるに相違ない。

そこで、ここに集まった事業規模もめっきの種類もさまざまな事業を運営している皆様にご意見など伺い討論し、司会してみることとした。もちろんその後の協力も忘れてはならない。



1. はじめに

問題点はたくさんあることでしょう。そこで前文にもあるとおり、輝いている点があるに相違ない。と記しましたが、まずは、当社はここが輝いているという点について皆さんの意見を伺いたいと考えます。

<皆さんの輝いている点の紹介>

- ・特許のある製品、また自社ブランドの製品があることです。
- ・多種業界との取引で売上の分散化。
- ・ファイバー部門のような特殊めっきライン構成、人員配置、対売上利益率が理想。
- ・大手メーカーから問い合わせ⇒共同開発案件として量産社内導入率が高い。
- ・金型から受注することによりメーカーの役割で源流に近い営業と情報が得られる。
- ・価値あるめっき業界の一員として、長年にわたり素晴らしい仕入先様・得意先様とお取引を継続いただいている事、大切な仲間（社員）と一緒に和気あいあいと仕事ができている事。

『他社の輝いている点を紹介いただくと、非常に参考になりますね。』

しかしながら、未来も輝いてくには、問題を整理して、解決していかなければなりません。

そこで、現状の問題点から、お話を伺うこととしました。』

2. 問題点を試してみる

『皆さんに、残業について伺ったところ以下の点を問題と考えている。もしくはこれが現状ということがわかりました。』

- ・現状では殆ど会社都合の残業ゼロを実現していますが、逆に営業力弱い方が問題で、こちらをなんとかしなければならぬと感じています。

・残業が80時間を超してしまうという人もあり、一概には言えない感じですね。

・残業で稼ぐ体質も問題視されなければいけないとの考えもあります。

・残業分の稼ぎが利益の根源となっている。

・残業は基本的にゼロで行っています。

・趣味や家庭の時間を取ってもらい、仕事に励んでもらいたいので、土、日、祭日休み、残業0にしたいのだが、現実には、残業をしたがらないこともあり、土、日は休みだが、祭日は仕事、となってしまう。

・人不足でギリギリ、経営者も現場に入っている為1人休まれたらフォローが大変

・方針としては、36協定（特別条項付）に則って時間管理をすることとしています。現状は現場のリーダーに残業時間を把握してもらい、休日出勤のメンテ組と併せて、1週間ごとにシフトを作っている。

・今後の取組として残業を減らす=お給料が減る、という構図になってしまうので、最低でもお給料の水準を下げないように考える必要あり。生産の効率化、売価の見直しなどが必須になってくると考えます。

『残業に関連して有給取得の問題もありますよね。』

・うちでは、企業が収益を上げづらくなるため、国の指針には正直賛同できない部分も多いのだが、国の方針なので取り組みを始めました。

・終業後の会議が多く、人により残業申請の有無もあるため、会議の見直し、時間のルールなど極力グレー部分を明確にした結果、会議は基本一時間以内ルールとなったが、早出・残業代の増加が発生した。

・また計画的に有給取得するため四半期ごとに1人1日計画的(最低年4回以上)に有給を取得することとした結果、有給取得の取りやすい・取りにくいの不平等が減っ

たが、当日欠勤が出た場合の人員調整が難しくなった。

・さらに将来に向けて、年間休日を、段階を追って増やすこととした。具体的には、3年後をめどに 年105日⇒120日とする。これで、求人に向けて良い印象はできるものの、より効率化を追求しないとならないこととなる。

『政府の考えるところ？としては、海外と比べると、日本は生産効率が低い！生産効率が低いので、就業時間が長くなる。では、生産効率を上げるにはどうしたらよいのか？

それでは、働き方を改革してください！となるのでしょうか。』



・政府のいう生産というのは、ものづくりだけでなく、サービス業も含めてのことと思われれます。

・我々業界のコスト構造において、人件費が大半を占めるというところに悩みどころがあるんじゃないですか？

・働き方改革のもっとも困難な業界かもしれない。

・管理者よりワーカーが必要！

・管理者もワーカーも両方も必要！

・ワーカーより管理者が必要！

・うちは小規模だから、ワーカーも管理者もない。

・規模はどうあれ、生産効率を上げ、中身をなんらか変えていかなければならないという現状は共通。

・人の確保は大きな問題で人材の確保を継続しています。

**『つぎに人員確保について伺ったところ
問題点もさることながら、現時点での取
り組みも多く寄せられました。』**

・地元工業高校の職場体験の制度を活用、新入社員を獲得自社で若い時から育成。その他は高齢者のパートタイム採用。部署や所属ラインの垣根を越えた応援をする為にカメラを16台設置し他部署の状況をリアルタイムで確認できるようにしました「監視」ではなく「互助」を目的として自律的省人化に取り組んでいます。入社してから、長く働ける職場環境を目指しています。

**『他部署のフォローができるということは、多岐にまたがって仕事ができている
ということで、人が育っているというこ
とではないでしょうか？**

**そのような人が育っていないというのは
問題の一つですよね。』**

・新卒（高卒が主）採用は昨年まで毎年5～8名は採用できていたが、年々就職率が低くなる傾向が加速する。工業高校や商業高校でも進学率が高まる。

・毎年、7月の求人解禁に併せて部課長と入社2～3年の社員のペアで高校廻りをする事で当面は対応。

・中途は求めるレベルとのかい離も大きく、定着も難しい。

・日本語学校に通う海外学生アルバイトや派遣で一時的人員は対応する。

・タイからの留学生を平均4人入れている。3年から5年に研修期間が延びるのは

メリット。

・人員確保ができていない→そのシワ寄せで残業せざるを得ない。しかも、割に合わない低賃金が問題。

・課題は仕事量が増えた時の人員確保で、現在めっき工場が2工場あるが、1工場は稼働したりしなかったり。1工場のみ24時間稼働であれば人員はそろっているが、受注量の変化により2工場とも24時間稼働させる期間ができる。以前であれば派遣社員を頼み、人員を確保出来たが、現在では依頼した人員の7割程度をそろえるのがやっと。かといって2工場とも24時間稼働時の人員を常時維持することは出来ない。

よって、今後の取組としてアミューズ関連の仕事は浮き沈みが激しい上に、現在は仕事量が激減していることから、少しでも安定して生産する機種を受注獲得と、自動車関連の仕事の割合をアップさせることで、人員確保よりもまずは仕事量の一定化を目指したい。



**『低賃金なので人材確保が難しくなるの
でしょうか？』**

・人員確保に関してはまさに今問題になっていまして、基本的にはハローワークで募集をかけていますがなかなか手を挙げて

もらえていないのが現状です。最近では高校の説明会に参加して、工業高校のデュアルシステム課の生徒の研修を引き受けてそのまま就職させるなどで人員の確保を行っています。ただしなかなか思うようにしていないのが現状です。

『賃金の話もでてきましたね。それでは、賃金の話もいただきましょう。』

・現状査定基準が曖昧で不公平との意見が出て、時代に逆行して年功序列賃金になっているが、今後は年功序列+歩合制を合わせて社員のモチベーションを保ちながら働いてもらえる方法を模索中です。

・毎年、昇給昇格をおこなう。賃上げ率は業績と市場の統計数値から毎年判断している。東京の最低賃金が軒並み上昇することの問題は重い。

・年々見直しをかけて能力、管理、技量など細かくみて個人個人上げています。歳、勤務年数では見ていないのでかなり逆転した賃金体系です。

・うちには明確な人事考課システムがないため、基本的には年齢給のため、若い人でやる気のある人に「こうすれば会社もハッピーだしお給料もアップします」という明確なメッセージを発信できるシステムを作りたい。

『たしかに、賃金とモチベーション大きな課題ですよ。』

つぎに上記の人材確保を掘り下げる方向になりますが、**管理者 後継者等、人材育成について、伺いたいと思います。**

会社の規模によって、後継者も管理者も一緒というところから、組織の話になるところまで幅が広がりますがいろいろ伺いたいと思います。』

・管理者は1級技能士の中から、将来的に特級技能士の受験をさせることで管理者や監督者の考え方を学んでもらいたと思っています。

・後継者は弊社の場合、娘が二人（7歳・4歳）で具体的なことをやっていませませんが、今から洗脳していますw 奥さんが来なくなっても、まずは十日会の新年会に連れて来ることが後継者候補選定の第一歩になると信じてます。ちなみに、おねーちゃん将来の夢はクレープ屋さんになりたいそうです。

・後継者について、これは、弊社の最も頭の痛い部分でもあります。後継者は娘一人のため（大学一年生）まだ何とも言えず。というか、まだ考えないようにしています。

・管理者は現部長が定年を迎えるはざまにあり、課長の引き上げを進めているがまだまだ思うように行っていない。弟が3月から入社し、それまで大手都市銀行にいた関係から外部からマネジメントクラスを引っ張ることも考えにある。

・人材育成はOJTからOFFJTまで結構やってきているが効果の確認と持続が難しい。

・自分は、現時点ではまだ事業の継承をされていないし、子供が幼いので、今現在具体的に思考することはありませんが、『事業の継続』を目的とするならば、必ずしも親族や社内に後継人材を求める必要はないと考えております。例えばM&Aによるバイアウトも選択肢の一つといえます。いずれにしても、会社を客観的に見たときに『事業に何らかの魅力がある』と評価いただける姿にしたいと考えます。

・私はまだ社長ではないですが、自分自身が社長になったらすぐに後継者問題を考えないといけなような年齢。娘2人で全くの白紙状態。管理者については、うちは「組織」がしっかりしていないので「管理者」の職務があいまい。今は「管理者」として

任命しても、会社としてその職務を明確にできていない。まずは「組織」と「職務（責任と権限）」を明確にすることが現在の最重要課題。只今組織の再構築に取り組中。

人材育成については、中央鍍金（本社が所属する協同組合）が共同でISOを取っていることもあり、その組合で行っている教育プログラムに参加させることを基本に行っている。これらはめっきの基礎知識やISOに関する教育が中心なので、自社内ではOJTを中心にしている。



『これといった人が育たないんですよ。皆さん同じ悩みがあることでしよう。』

『また、後継者については、資産の承継まで考えると本当に難しい問題ですね。』

これは、問題と理想と一緒になってしまっていますが、こんなことも考えています。

・人員は有給休暇など休んだ人のフォローオールマイティの人が2人

・賃金 平均収入の2割増とおもっています。

○理想に近づけるには、生産効率を上げて納期を守り残業0になるが、機械のスピードが早く、人がついて来られない。

○理想の人間になるには、5年かかるがそれまでの間にストレス等で潰れてし

まう。

○会社が潰れてしまうリスクもあるといった感じで理想のとおりとはいかないと感じています。

・めっき業は資格を必要とするのが多く、医師と変わらないのではないかと、なのに、収入面での差が大きい。何が違うのかと考えてしまいます。

『役所関係などやる事が多岐にわたり大変ですよ。大変であまり儲からないから参入者が少ないとも考えられます。ですから良い仕事をするとところに仕事も利益も集中するのかもしれないね。』

・うちの最大の課題は右腕、左腕をどうつくるかです！！

社内の人員を育成し、作っていくもののある程度の経営観を持った方でないとなかなか難しい！！ かとって他からひっぱってくるのもなかなか一っ感です

『経営観！ 課題として大きなテーマになりそうですね。』

・気づき・マインドを育てることが課題と考えています。

・今は右腕、左腕になりそうな方に対してのマインド教育を行っています。

週1回の定例会議を開催、主要メンバーにて構成し社長の頭の中を常に開示しマインドを伝授していくとともに工場内で起こっている問題、人事・生産技術・効率・品質・設備などの観点から各担当より発信をしてもらい共有化を実施し、これが定着しある程度の育ちが感じられたら次にライン長クラスの人材の教育を行う。こととしています。

『人数が多いと組織をどう作るかも大きな課題と言えますね。』

・人材育成に関しては毎月勉強会を行っています。その他個別で研修に行くなど行っています。

・液管理や不良対策、機械のメンテナンス等ラインの事は社内で1番理解している者が実施し、後継者は身内がなるといいと思う。そして、年功序列式で上が挙げたら、下が上に上がるピラミッド型にする。全従業員を鍍金学校に入学させ基礎からめっきの事を理解させる。資格もどんどん取得してもらおう。建築業などで働いている元気な人がいい。と考えるも、現実には、身内=私自身となってしまうし、後継者となると、これは本当に難しく、株などのお金の面が発生し、信じられるかどうか大きな問題となるのが容易に想像できる。

実際には、年功序列式ではなく、仕事に対してのやる気を重視。人材を人財にする為には、人に余裕がないと教える事が出来ず、機械のトラブルで設備業者を呼ぶ時に休日出勤をさせ、設備業者と一緒に直さなくては機械の事を理解させる事が出来ない。これは従業員が求めている土、日、祭日の休日とは反している為難しい。ということで、社長に負担が多くかかっているのが現状となっている。

・右腕左腕も大切なことですが、うちみたいに小さなところではtopの指示(考え・やり方)をキチンと出来るかどうか？人の選択は出来ないのも、小言ではないですが、目で見て、耳で聞いてしっかり判断できる人が育つように期待を込めて、常に考え方を話しています。

『育成の種類はいくつもありますが、教育というのは本当に難しいことですね。』

ところで、ベテランがその場で実施しており伝承されていないことはないでしょうか？』

・研磨についてですが、祖父は有名な研磨職人であったようですが、完全に技術が継承されずに研磨職人が1人になってしまいました。自社で研磨の講習会を中堅~若手社員中心に始める予定ですが、費用対効果が無い、危ないことをしたく無いなどの理由で社内では反対意見が多いです。

・当社においてはベテランの方は一部を除きすべて第一線から退いてもらっています。それまでは指導をしながらの技術の継承を行っていた時期もありましたが、現在は若い社員が先頭に立っています。何か起こったときにはアドバイスをもらうことなどは今でもあります。

・マニュアル化し難い内容について、効率的な経験をさせられるかが課題であり、そのような技術を整理し、伝えるための手段を作る必要があると考えています。

『素晴らしいですね。羨ましい限りです。』

・表面処理はプロだが、それを教えるのは素人以下ということがあります。これは、作業は的確に実施できるがその作業がどのような意味を持って何を目的にどのような機構で実施されているかを理解していないために、教えられないという現象がおきるのでしょうか。言葉を悪く使うと、過去にたまたまうまくいったことの積み重ねで作業しているも、理由はわからないから作業手順だけは完璧にこなしていることでしょうかね。

『ところで、そろそろ核心部分に触れてみたいと思います。この業界にどれだけ魅力があるかについて伺います。』

・生産工場の作業環境は改善が進むものの、中々若い人には受け入れがたくなっていくものと思う。作業環境よりものづくり自体の魅力をどう伝えるか？インターネッ

業もイメージを大きく変える必要があり、今がチャンスかもしれない。製造業のブランド化を少し前に考えたことがあるが、製品を創らない我々のブランドとはどういうものかを考えていきたい。

『めっき業が無ければ人類は文明的で快適な生活を送ることが出来ません。』

これだけで十分以上の魅力があると思います。

しかしながら、これからこの業界に身を置こうとする人たちにこのことを理解いただき、従事する喜びを感じてもらうためには、『どのように』その魅力を伝えるか、がポイントであると感じます。

まずはめっき業の魅力を『発信する力』を各々が向上させるためにはどうすれば良いかを思案することが先決でしょうか？

従事者の待遇や職場環境の改善も大事な要素の一つとは思いますが、それだけではなく、複数要素を同時進行的に推進していく事ではないでしょうか？



他の業界の方々も同様の課題を抱えている可能性があると思います。もしかしたら、全く異なる領域の業界の方々との交流がヒントになるかも考える次第です。

▶昔は中小企業でも、一生懸命働けばお給料も増え家族を養って一軒家を買うことが

出来た。

魅力のある「業界」という見方もあると思いますが、働いている人がこの会社で働けばちゃんと生活できる、と実感できることが最大の魅力になると思う。エアコンも必要ですが、休日を増やしたり、子供の都合に寛容だったりする環境を作るように心がけることが魅力につながると思っています。

『それでは、まだまだ魅力ある業界という前提に立って将来にむけた準備についてお聞きしてみようと思います。』

▶人については出来る人を外からつれてくるのではなく、地元在住で、若い頃からおじいさんになるまで、ヤハタメッキの社員として長い期間かけて成長してもらえような、かなり緩めの社員教育を心掛けています。

▶お金について、いざと言う時の運転資金と称して、社長が取れるだけ給料を貰えるようにがんばります（すみません勉強不足で自社で具体的にどんな準備をしているか判りません。）

▶モノについてはこれからに向けても常に教育そして増員は行っています。お金はわかりませんが、ものは古くなってきた設備は更新し、また毎年何らかの設備投資はしています。

▶人材に関してはこれからに向けても常に教育そして増員は行っています。お金はわかりませんが、ものは古くなってきた設備は更新し、また毎年何らかの設備投資はしています。

▶資金の余力のあるうちに生産工場やラインの老朽化対策が急務で経営革新の認定により、5年計画で新工場の計画を進めています。めっきの種類やライン構成は冒頭に書いた輝けるための強みを柱に検討し、

併せて機械化、自動化（IT、ロボット）を検討していきます。

・人財はコアな部分とラインと分けて育成計画を立てる。

・正直なところ今は具体的には何もありません（笑）自分は臆病で小心者なので、何がいくらあっても『これで十分』という事は無いという考えです。今出来ることを一生懸命に取り組んだ結果、何を残す事が出来るかなあ といったところです。

・人材の確保は課題のままであるし、金は、貯まらない。改善、更新は継続といった状態でなかなか戦略的・計画的な対策は難しい。

・現在は装飾クロムめっきが主力だが、それだけでは受注も限られてくるので、色調の違っためっきなどへの取り組み、現在人が行っている作業の自動化、機械化。これらはスペースの確保が課題。自動機も老朽化してきているので、ある程度の規模で修繕する必要があるが、現在は具体的な計画が出来ていない。これについては、上記の機械化等と併せて検討。仕事の量も減ってくる中、中央鍍金という協同組合にいるメリットを活かせるよう、共同受注なども模索中。今は各社コミュニケーションが希薄だが、今後はこれを向上させ、組合全体での受注量アップや人材確保に結び付けたい。

『具体的には、設備の更新といったくらいで、見えない将来に向かって準備をするというのは本当に大変なことですよね？』

効率を上げるということに対しては、大型の自動機を有効に使用するという方向が将来の準備に重要な項目のようですが、手動で稼いでいるところはないのでしょうか？ 手動での輝く未来というのは想像できないのでしょうか？ そうなると規模を追求することになります。規模が大きく固定費が大きいと小心者にとっては

とても怖い部分でもありますよね。

『これまでの話に加えてなにかあればお願いします。』

・働き方改革はじめ、生産性向上せざるを得ない状況の中でも、「魅力あるムダ」を自社にどれだけ残していけるかがヤハタメッキの輝かしい未来への鍵になるのではないかと考えています。

・将来展望としては、社長は常にニコニコで、現場をまわっても【おっ、頑張ってるなあ、はははは】と言う。

・トップダウンからボトムアップの体制を目指していくこれにより従業員さんもやりがい！！を見出してほしい。その為にはライン長はある程度のゆとりが必要！！

・その為には現場をやりながらでなく客観的に見られるポジションに配置をする。その為にはワーカー確保（これは海外実習生の活躍を期待）という流れをつくってきたい。



『ワーカーという点については、法律で外国人技能実習制度もありますが、単純労働分野の解禁というニュースもありますね。（このような法改正についても敏感でなくてはいけないんでしょうね。）』

指導する能力というのは、現場が分かった上にあることなので、リーダーとなれる人の育成が大切ということですね。』

・また、賃金の話になりますが、最低限、世の中の平均年収に持っていきたいと考えれば、一人当たり売上額をあげなければなりません。そのためには、単価をあげる、効率をあげることが重要です。これも難しい。

『それでは、収益を改善すべき仕事を探したらどうでしょう。実際には大きな手間がかかっているとか、歩留まりが悪いとか、努力してもどうにもならないものはないでしょうか？将来につながる魅力あるムダならいいですが、検討を重ねどうにもならないものは適正価格にする努力が必要ではないでしょうか？』

とくに、大きな仕事量をこなしているところや生産性を上げたいところはプライスリーダーでもあるわけですから、このような地道な活動が、マーケットを改善することにつながるのではないかと思います。

確かに問題山積という感じですね。』

・弊社の目的は『事業を継続』していく事であり、利益の追求、従業員満足度・顧客満足度を向上させる、法令遵守、財務内容の強化等、多くの要素は事業継続という目的のための手段の一つと捉えています。

何をしたいか考えると、『事業の継続』であり、語彙が明確で別解釈や反論の余地はないと考えられます。

一方、どうしたいと考えた場合、何を？いつ、どのような方法で？等と考えることになり、選択肢多数。意見が分かるとおもいます。

会社（経営者）が社員や取引先に『何をしたい』を伝えたい場合、数字や文章で具体的に発信する事でほぼ誤解無く伝わる。ただし、『したい事』を目論見通りに具現化するには『どうしたいのか』また『なぜそう

したいのか』も相手に理解してもらう必要がある。そうでないと各自がそれぞれの立場で手段や優先順位を問わずに目的達成に向けて行動することになりかねない。

数字や文章だけでは情報が不足することもあり、受信する側の立場や理解力によっては解釈が異なる等、発信する側の意図が正確に伝わらないこともある。

また、発信する側が言葉や感情、時には身振り手振りを交えて、いろいろな角度から、時や場所を変えて繰り返し発信することでようやく腹落ちする事もある。

したがって、会社（経営者）の『どうしたい』を実現するためには発信・受信側の相互理解、多様性の享受、伝える力などのコミュニケーション力を発揮する必要がある。

そう考えると、『どうしたい』を共有できる同志（社員・取引先）との価値観の一致が大切ということになる。

『同志というか右腕・左腕というか懐刀というかの存在が必要ということになりそうですね。』

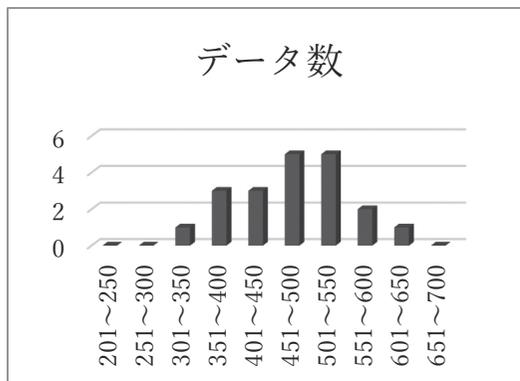
3. 問題解決のためにできること（輝ける将来のために）

『輝ける未来にむかってできることについて、上記の問題点を整理して考えてみたいと思います。』

電気めっき業統計表によると、2014年において、一人当たりの年間売上高は14,671千円（約122万円/月）で給与は3,888千円（約32万円/月）となっているようです。

先ほど、業界平均の二割増しといったお話もありましたが、理想の賃金について考えて皆さんのご意見をいただいて整理するとこのように整理されました。（資料1参照）

【資料 1】



『現状より報酬を上げるには、会社に十分な利益がなければなりません。』

一方、稼ぐのは経営者を含めた従業員の総力で、品質管理のPDCA同様、賃金などの費用が効率的に使用され正のスパイラルとなっていかなければなりません。

出してあげたい賃金と出せる賃金が同等になるよう収益を上げないといけません。

では、しっかり稼ぐために、なにをすればいいのでしょうか？』

・人員確保については、日本人に限らず海外人材の積極的な採用を検討しています。なんて考えもあります。

『法律も前記のとおりの方のようですし、これから避けてはとおれないでしょうね。』

・高校の研修生の受け入れ、また大学にも働きかけていく予定です。このような考えもあります。

・働き方改革の一部ですが、残業は今後もなくします。そのために時間をずらして働くなど実施していく予定です。

・賃金は、一番社員にとってモチベーションにつながるので、評価の仕方を細かくして個々の能力に応じた、成果に応じた賃金

体制にしていく予定です。

省力化の一環とそして、使っていない自動機を積極的に応用・採用し、自動化できるものは自動化にし、無駄を省き生産効率を上げ賃金アップしたいと考えます。

さらに、少しずつ、会社が変わっていくように一個ずつ設備を新しくする等、常に効率の良いラインを従業員と共に考えています。



『効率の良い設備を考えるということは自分の実施している仕事の中身やしゅみを理解しなければできないことなので、この辺の取り組みは人材育成に直結しそうですね。やはり身近なところからものごとを深く考えることが、思考の深度を深める近道かもしれませんね、教育の機会を与えられても、それが自分の仕事に結びつかなければ面白くもならないどころか苦痛になってしまうかもしれません。難しいところです。』

人の確保は、募集の方法を模索中です。現在は、人材派遣会社に頼っています。

募集や面接、斡旋のノウハウが有り、弊社の条件に合わせてもらえるため、定着率も高い状態です。長期の派遣をお願いしていますが、本人の希望と条件があれば、直接の雇用に変更も考えていることを派遣会社にも伝えていきます。また派遣会社から見た弊社の良い点と問題点を確認しています。

社員の残業は、出勤時間をずらし、残業時間と稼働時間の調整を行って月20～

30時間ですが、賃金的には不満の起こらない程度であればと努めています。

休みは、年末年始、夏期、ゴールデンウィークでは、比較的長めにまとめています。祭日も稼働していませんので、客先が稼働していても年間カレンダーを配布して協力して頂いています。

弊社は、女性のパートタイムの方も多く、家事、育児、介護などもあり、休暇が取りやすいようにすることが、メリットのひとつと考えています。

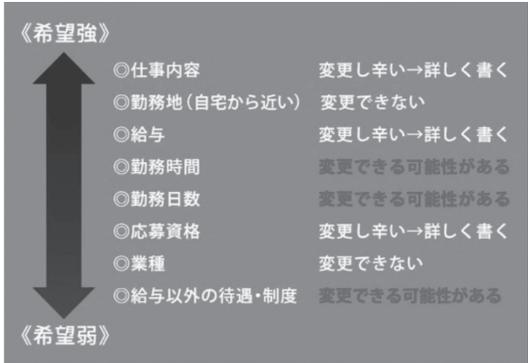
ワークライフバランスという言葉がありますが、働くことの意味、価値と手段としての弊社の立場を「生活共同体」的なものとして考え、年に1回ですが、従業員と面接し、賃金、勤務時間、勤務内容、能力などを確認しています。

『では、一方、求職者は何を求めているのでしょうか？』

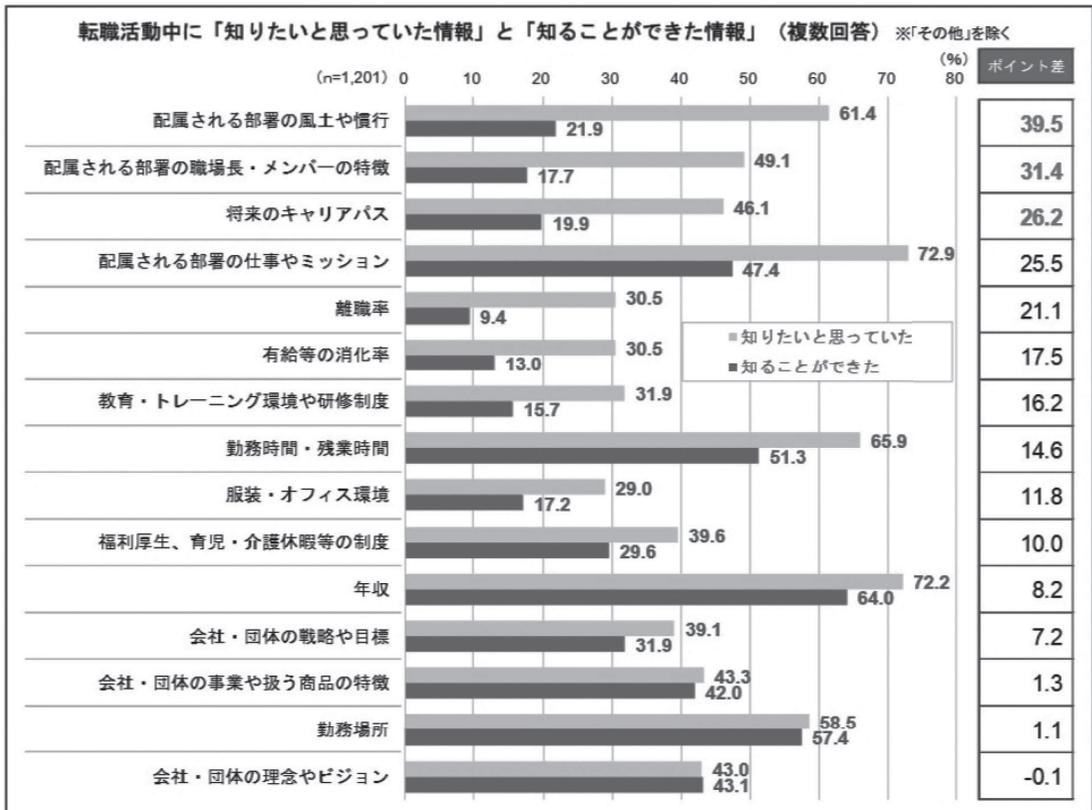
(株)リクルート代理店 (株)アド・イーグル 担当 吉野晴美様からご協力いただいた資料をみると働き方改革を行うなら経営者の頭を柔軟にし、180度変えていかなければならないと思えてきます。

下の【資料.2】では、求職者の仕事探しのポイントが希望の強弱で整理されています。

【資料.2】



【資料.3】



職種・勤務地・給与が大きな動機なので、採用側は変更可能な労働条件について、検討すべきと考えさせられます。

また、前頁には、就職活動中に知りたいたいと思っていた情報【資料.3】が記載されており、職場環境が良いことや将来性が見通せることなどが、キツイ・汚い・危険の3Kを、気軽・極める・輝くの3Kにするヒントになるのかもしれませんが。

気軽に、極めて輝く、このためには、向上心は不可欠と考えますが、このあたりも経営者と従業員に大きな隔りがあるのかもしれない。働きやすい職場とビジョンの共有とでもいうか・・・この辺りが大切ですね。

だからこそ、人の仕事やコミュニケーションの能力や根本的な気遣いが大切ということなのでしょうね。

『人材育成が不可欠ということでしょうか？

では、後継者を含め人材育成というのはどうしたらいいのでしょうか？』

規模の小さい事業者は、技術も経営も後継者探しもすべてやらなければなりません。

ある程度の規模の会社であれば、営業部長・技術部長・経理部長といった感じでトップはこの人物に任せて指示を出すことになるのです。ただ、その内容について、トップは掌握しなければいけません。よって、規模の大小はあるものの、トップが掌握すべき内容はじつに多くなります。しかしながら規模がさらに大きくなるとトップはこのことは誰に聞けというように側近の能力の掌握が大きな仕事になると思われます。

あの人には聞いてもわからないと思われるのは後継者どころではなく、求心力もなくなってしまうます。

『まずは、トップの技量をレベルアップしたいものですね。自分が分かっている人が変わっても教えられますが、わからないと人が辞めればそれまでで、人が辞めて不良が増えたとか、排水処理がうまくいかなかったとかよく聞きますよね。』

管理者の意識が低いという問題に対しては、弊社では、表面処理について少しわかれば、後は”管理”が全てだと教育しています。そのための情報の共有化や自社伝票の活用の徹底を推進しています。例えば自社伝票で言うと、この品物について誰が見てもわかるように一枚のA4の紙にその品物の納期と表面処理の情報が全て記載されていて、いつ、だれが、何をして、今現在どのような状況にあるのか？これが一目でわかります。

さらに紙媒体等で徹底できればデジタルに應用し一人一人がスマホ等を活用して管理をもっと便利にしていきたいと考えています。

しかしながら、現状動き出して間もないので頼れそうな若い人材が出てきたら【意識の低さ】は【賃金】と直結していると考えているので褒めて伸ばす等して気長にやっていきたいと思っています。

さらに技術の伝承は動画で記録するようにしています。

また、従業員に投資として鍍金学校に行かせました。今後その経験を弊社で活かしてくれればと思います。

時間が合えば従業員を工場見学に連れていき、良い所は真似させるように徹底させています。

人材育成についてはもっと外部の研修、または大学との共同研究などを進めて社員を巻き込んでいくという検討も始めています。

『いろいろな工夫を実施されているようですね。しかしながら教えてもらった後は、自立して成長してもらえるとありがたいですね。そう考えると、はじめのほうに出てきましたが、経営観というのも大切ですよ。皆様は経営観として重要なのは何だとお考えですか？』

- ・将来への広がりの可能性の推計・目論見
- ・コストや生産性など、収益性の配慮
- ・他部署等への応用・基幹技術としての価値の創造
- ・考え方や仕組みを広げることで会社全体への良い効果の拡大
- ・円滑な組織づくりに積極的なしくみの導入
- ・時間当たりの売り上げやノルマを意識した業務への取り組み



『このような感覚とか意識というものが育ち始めると、やっと事業継続の土台ができつつ、初めの一步を踏み出せる準備ができるのではないかと感じがしてきますね。』

弊社は『事業を継続』していく為に『どうしたい』のかという観点で、具体的な要素を考えたとき次のようなことを考えています。

○その1

【価値観を共有するため、人材育成による人間力（コミュニケーション力）の向上】

外部機関を利用するなど、取引先様からの声を関係者間で共有することにより自社（自分）を客観的視点から見つめなおす機会を系統的に設ける。また、定期的に社内縦横（労使・部門）間の交流の場を設ける。またジョブローテーションにより職務上の立場の相互理解を深める。

あらゆる場で経営者が『どうしたい』を繰り返し発信し共有し、特に幹部クラス（右腕左腕・番頭さん）の従事者（経営者も含む）は発信力・受信力を向上させるためのトレーニングを欠かさない。こうした努力で、高いコミュニケーション力を備え、価値観を共有した人材の層が厚くなり、会社全体の事業推進力強化に繋がる（経営者の『どうしたい』実現が近づく?）。

○その2

【ITと業務アウトソーシングの活用による人材資源の選択と集中】

物流機能、受発注業務、経理・会計、システム管理業務等の一部で誰が従事しても均一の成果が求められるタスク要素の高い業務を分離しIT化の推進及びアウトソーシングを検討する。近い将来はAIの進化により人間が従事する仕事ではなくなる可能性もあると思われる。

従事する人材によって成果・結果が異なる営業職をはじめとした総合職人材に対する能力開発や教育への投資を促進し、自社の得意領域に質の高い人材を集中的に投入することで市場からの評価価値が向上していくのではないかと考える次第です。

○その3

【自社の市場価値向上のために『二極の視点』で取り組む】

自社のバリュー（市場価値）を高めなければ『事業を継続』していくことは困難。

現在の弊社ビジネスモデルは流通業であり、要素技術や知的財産、生産設備などの経営資源の量と質はメーカー・ユーザー様と比べ著しく劣っている。故に製造業・加

工業とは異なる視点での考え方でなければ自社の強みを発揮し市場での役割は果たせないと考えます。

よって、『二極の視点』: ミクロとマクロの考え方。地域市場への取組みはマーケットニーズを徹底的に深掘りしていく。一方、事業環境の将来予測は市場全体をできるだけ俯瞰的に捉え、大局的な経営判断ができるようにする。

メーカー・ユーザー様とは異なる視点から市場を見つめることで新たな価値を見出すことが目的と考えるも大変難しいー(笑)。

この30年で数回ほど大きな取引先の入れ替わりがあり、経営的にも大きな波を経験してきました。波の大きさを小さくする努力をしても、今後なくなることはないと思います。

管理者、後継者として関わってもらうことでは、諦めない粘り強さと、問題意識が必要だと感じています。

社内の打合せにおいては、様々な課題が出ますが、新規のお取引をいただける際には、更に新たな課題を頂戴しています。それを解決する過程で養ってもらえればと考えています。

『難しいことばかりという感じがしてしまうかもしれませんが、常にこのような意識を持つということが大切だと気づかされますね。ただ、一方では、現場内に育った技術(宝物)をいかに事業に繋げるかとか提案などの際に有用に活用するかというのも大切です。』

例えば、ベテランの方が汚染された製品を加工するとき、これまでの経験から、予備脱脂を行うとか、熱処理品を加工する際、その状態から異変に気づき、対策することで、不良を未然に防ぐとか、受け入れの検査で、普通では気づかない不良に気付くというのは、経験からわかることで、これは、

いくら年数をこなしてもできない人は習得せず、一部の古参の方が持っており、例えばこのような方が退職すると、不良が増えたりします。このような、感覚的なことを顕在化して習得することは本当に大切ですが難しいことと思えます。

また、鍍金加工業でも、被鍍金材料でも、図面などに記載されないで工夫されていることがたくさんあるはずなのですが、これも前記の件同様、顕在化するのには難しいですね。

ここは、不良対策などにしっかりと向き合い、これを減少させ、不良は宝の山だったといえるようにしたいものです。

完全にベテランの人が第一線で働くことがない環境にする。(アドバイザーに徹する)



『でも、もしかしたら仕組みづくり(不良対策の積み上げなどによるビッグデータ化)をすれば、このようなノウハウもAIが教えてくれるようになるかもしれませんね。』

ビッグデータというのが大変そうですが・・・

この業界にどれだけ魅力があるかと考えると、AIやロボットでできない仕事を魅力があると思えるかがポイントになるでしょうか?』

これだけ働き方改革とか、労働安全衛生法など、問題定義されていることに加えて、

今年は学校での熱中症での救急搬送や死亡に至るケースもあったわけですから、将来は作業雰囲気のある有害成分以外にも作業場の温度条件なども労働条件として加えられるかもしれませんね。このような条件がなかなか満たされないのなら、夏季手当のような賃金を厚くするなどの対応も必要になるかもしれません。

・うちでは、自社でしかできない技術を習得し、製品化することでやりがいを感じる人もいます。環境に関しては、におい、温度について徐々に解決していこうと思っています。

・職場の作業環境の改善は、必要不可欠だと思います。自然環境の変化からも、問題を認識していることを伝え改善するよう努力していますが、納得しているかは別だと思います。魅力というか、従業員が働いても良いと考えられる会社の価値を作るのも、私の仕事であると思います。弊社の存在価値や働いてもらえる人の大切さを伝えています。

魅力≠賃金だけとは考えませんが、賃金以外の魅力を、上げるなら以下のようになりそうです。

<我々が期待する魅力として>

- ・やりがいや達成感がある。
- ・自由に意見が発言できる。
- ・思ったことを進言できる
- ・努力や実施したことを十分評価してくれる
- ・教育の機会が十分用意されている
- ・残業がない
- ・疑問について聞いてくれる
- ・責任のある仕事を任せてくれる
- ・難しい問題解決を要求され、評価してくれる

<我々が期待しない魅力として>

- ・気兼ねなく自由(わがまま)に休みが取れる

- ・責任を要求されない
- ・楽ができる
- ・不要な残業代も時間さえつければ支給される
- ・残業がない
- ・言われることだけやれば考えないでよい
- ・仕事がない時間は何をしてもよい
- ・難しい問題解決を要求されない

『このように魅力というのは、経営者側と従業員側では魅力が異なるかもしれません。』

それでは、そこをつなぐ魅力とは何でしょうか？本当の働き方改革とは何なのでしょう？』



・現状では、戦力に乏しい人も辞められたら会社が回らない。人を増やせば、仕事の少ない人が目立ち、それを快く思わない人が現れ、人が増えたことで現場がうまく回らないなどというケースはないわけではありません。

・このような現場で何を魅力あるムダにできるかがポイントかもしれません。

・しかしながら、ムダを維持するにはさらに収益が必要になります。

『ですから、業務の改善・効率化が重要になるわけですね。手動作業が機械化して効率化できると、その機械をどう効率的に管理するかが課題になります。機械に振り回されていたのでは本末転倒です。』

・また、薬品の管理も同様に、例えば薬品メーカーの推奨が自分の工場や薬品に適しているかどうかは、自分たちの工場で見られるもので、これがノウハウになり他社にまねできない競争力ある工場の未来につながるのではないのでしょうか？気づき・マインドそして料理人のようなセンス。裏打された評価によってもたらされる勇氣あるルールの改定・変更、ダーウィンの名言に比喩されますが、変わらないために変化し続けるのだらうと思われまます。

・鍍金業界にとっては、環境規制・自動機の導入（当時FAが言葉として流行、これからはロボット？）今後も影響を与え続ける大きな変化の代表でしょうが運転するのは人で自動運転のように経営が自動化するとは考えにくく、変化をもたらすのは、人の意思に他ならないと思います。

＜ダーウィンの名言＞

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」

また、ダーウィンはこんなこともいっています。

「自然淘汰とは、有用でさえあれば、いかに小さな事であろうとも、保存されていくという原理である。」

金属表面処理業界にとって励みになることばではないでしょうか？

しかし、生き残ってなおかつ輝くには、大変な努力が必要であることは間違いありません。

『それでは、将来にむけた準備はなにか実施しているか伺っていきましょう。』

・人材に関しては、他社でどのような取り組みをしているのかなど様々な業界の方にお話を伺っています。

・モノについて設備投資はかなりお金がかかるので助成金は必ずからめて行います。

『結局、お金がないといろいろ準備ができないですね。とってお金のせいにするわけにはいかないですね。』

・後継者という点については、親族であるならば、はじめにあったように少しずつ、

意識を植え付けるなどということが、大切ですが、親族・それ以外にかかわらず、能力のない人間に継がせてしまえば、お金を準備して盤石な経営状況でもすぐに食いつぶしてしまうだろうし、何もなくてもやる人間は、しっかりやるんだらうと思います。比較的大きな会社ではそれぞれの部署の専門家が道を外さないようしばらくは見てただけのかもしれませんが。これも人を育てたからで、育った人が、まさに組織の宝となるわけですね。

そこで、気持ちとして、自分自身には、
上杉鷹山の

「成せばなる 成さねばならぬ 何事も
成らぬは人の 成さぬ成けり」

（できないのは、自分がやらないからだ
と考える戒めの気持ちと先導の覚悟）

そして、人に対しては、山本五十六の
「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、
ほめてやらねば、人は動かじ。」

（やさしく見守り、ほめて伸ばす慈愛と
辛抱して期待する心）

この辺の言葉がヒントになるのかなあと
思う次第です。

・私は、以前めっき職人は料理人と考えて
いました。食材は薬品ですが、食材が同じ

なのに上手い、下手が出ます。単価も違います。気温や湿度によっても温度設定を微妙に変化させ、2液性の薬品はバランスを崩したりし、メーカーの言う通りにめっきをしたら、いいめっきはできないと考えていました。又やりがいがありました。ですが、私が社長になり現場を離れることになり、私と一緒に仕事をしていた右腕の成長が止まってしまいました。私が抜けてトップになって教える側になり、手取り足取り教えてくれる人がいなくなったのです。数年してレベルが下がりました。人間怠け者で（私を含めて）楽な方へいつの間にか行ってしまったのです。一生懸命仕事をしているのですが、私の要求する人材にはなっていないのです。いつの間にか楽な方へ道がそれている事さえ分かっていないのかもしれない。そこから人ではなく、設備に重きを置き、会社独自のオンリーワン設備の導入に踏み込みました。補助金制度も充実し始め、設備投資の道が5年かかりました。私は現場人間なのでお金の事は無頓着ですが、売り上げがあり、利益が出て設備投資が出来れば、優良企業だと思っています。めっき、設備、お金、全部把握する事は不可能なのです。それぞれの会社規模や人材のスキルによって、重きに置くポイントは違いますが何処を伸ばすかではなく何処を補うかにかかっていると思います。めっき不良さえ出さなければ管理者は工場長1人だけで、あとは従業員だけでいいのです。検査員もいません。箱詰めだけでいいのです。薬品に関して、液体は全て自動補給機、個体は毎日何キロと決め、設備においては消耗品が多いので、治具、バレル、モーター、スイッチなど、チョコ停や不良に繋がるものは定期的に交換するようにしてきています。

しかしながら、設備に重きを置いても装置産業ではなく、管理項目は温度、濃度、時間、pH、電源など会社独自の管理項目な

ので他社ではマネができない立派な技術職になると思っています。これらの事を全て現実にできれば人手不足解消、人件費低減、生産効率向上、となるのです。

・これは自分も含めて経営者側の意見は従業員には理解ができないでしょう。又逆もしかり。「名選手名監督にあらず、名監督名選手にあらず」

・これは独り言ですが、儲けるだけの会社経営はそう難しくないと思いますが、アットホームな会社、従業員満足度が80%、顧客満足度95%などはかなり難しいと思います。ですがこれらの事を現実にすればもっともっと、輝けるのではないのでしょうか。

経営者は山本五十六になれるでしょうが、従業員はなれないでしょう。なぜなら不良を出すと自分が上司に怒れるから。



『そうですね、同じ話になりますが、それでは、理想の従業員と理想の経営者はどのような人でしょうか？経営観をもった理想の従業員とはどのような人なのでしょう？』

つまるところ、経営者にせよ従業員にせよ、どうやって人を育てるかが重要なキーワードになるように思えてなりません。銀行や総合商社がマクロ的な感覚から、AIやビッグデータを活用して行くのに対し、わ

れわれの業界(ニッチ・マイクロ)で、物事を成すということは、AIがビッグデータを用いて計算して進む方向を決定するわけでもなく、機械ロボットが勝手に仕事を進めるわけではありません。金属加工というニッチな業界のなかのごく一部で、需要家の要求を満たし、発展するには、人が大切になるでしょう。

金属加工という仕事がある限り、めっきを含む表面処理が50年100年後もつづくことは明らかだと思いますが、教育がもっとも重要な項目と位置付けられるのではないのでしょうか？

また、ものづくりは、これまで、重厚長大から軽薄短小へシフトしてきました。記憶デバイスや個々の部品の大きさはさらに軽薄短小に進むと思われます。しかしながら、人が暮らすために使うものの大きさに大きな変化はないようにも思えます。業界に大きな変化をもたらす、特に国内においての大きな問題は、やはり、少子高齢化と人口減少と思われ、このような環境下で、方向性の決定や大きな投資を実施する際には、熟慮を重ね会社が傾くことのないよう情報収集や計算をせねばなりません。



事業として成立しないものに、資金や人材を投入することになってしまうことは会社にとって致命傷です。確実に勝てると推察される根拠が必要です。

我々は、その中で先導役を果たさなければなりません。そのためには十分な勉強が

必要です。技術的にも明るく、計算も強く、気力・体力が漲り、人当たりがよく、この人のために働こうという少しのカリスマ性を持ち、ちょっと間抜けで憎めないような人柄を携えた人はなかなかいませんが、このような責任者が自分を含め、育つといいなと思います。

また、三人そろえば文殊の知恵といいますが、この場が、このような知恵の泉になり、続いていくことも先人たちの望むところのひとつではないのでしょうか？

そうなると、一番大切なのは経営者の人柄ではないかとも思えてきます。周囲の切れ者が、全てやってくれてなにもしなくても会社がうまく回っている。なんていうのが理想かもしれませんが、自分たちも成長しないとやがて人は離れてしまうような気がします。研鑽を重ね、周りが全部やってくれていても内容は把握し、その上を行って見守っている。そんな経営者を目指すことこそ輝ける未来の第一歩ではないのでしょうか？この座談会を実施するにあたり、経営者の皆様がどれだけ、真剣に考え策を講じているかが垣間見えたのではないのでしょうか？

個人的には、このような経営者が日々努力を怠らないことこそが輝ける未来に向けての第一歩となるに違いないと思います。

なかなか、結論の出る話ではないですし、どれもこれもどこかで聞いたような話かもしれませんが、これを読んだ人が何か、将来に向けたヒントを得ていただけたなら、幸いです。これからも協力して業界を盛り上げていきましょう。

十日会会則
十日会賞表彰規定
十日会道標

十日会会則・十日会賞表彰規定・十日会道標

十日会会則

(名称及び組織)

第1条 本会は十日会と称す。

第2条 本会は鍍金業並びに鍍金に関係あるもので組織する。

第3条 本会の事務所は東京都文京区湯島1-11-10東京都鍍金工業組合内におく。

(目的及び事業)

第4条 本会は会員相互の親睦を基調として鍍金技術、経営技術の研究発達を図り、日本鍍金協会及び関係諸団体と連携し、業界の発展向上を期するを目的とする。

第5条 本会は目的を達成するため次の事業を行なう。

1. 技術の研究及び普及
2. 工場設備の改善並びに経営合理化の研究
3. 講習会及び講習会の開催
4. 諸文書の翻訳並びに紹介
5. 製品展示会の開催
6. 優良工場の見学
7. 材料製造工業の見学並びに優良製品製造の奨励
8. 技術会員の育成
9. 会員並びにその家族の吉凶に対する慶弔
10. その他本会の目的を達するのに必要な事項

(会 員)

第6条 本会の会員は正会員、技術会員、名誉会員、特別会員の4種とする。

第7条 正会員は鍍金業及び鍍金に関係ある業務を営む企業の経営者、もしくはそれに準ずる者とし、正会員は日本鍍金協会の会員となる。

2. 技術会員は会員企業内の技術指導の責任的地位にあるもので、正会員の推薦のあった者とする
3. 名誉会員は特に本会に趣旨に賛同するもので、役員会の推薦によるものとする
4. 特別会員は本会の趣旨に賛同し、本会の活動に積極的助言を与える物で、役員会の推薦のあった者とする

第8条 本会に入会しようとする者は、正会員2名以上の紹介により、住所、氏名、生年月日を記入し、入会金壹万円をそえて会長に申し込むものとする。会長は役員会に諮り入会を了承する。

(脱 退)

第9条 本会を脱会しようとする者は、脱会届を会長に提出するものとする。

(除 名)

第10条 会員は次の各項に該当する時、役員会の決議により除名されることがある。

1. 本会の事業をさまたげると認められる行ないがあった場合
2. 会員相互の利益に反するような行ないがあると認められる場合
3. 3ヶ月以上理由なく欠席し、本会の趣旨に賛同しない者

(休 会)

第11条 本会を休会しようとする者は、休会理由を明記して、その旨を会長に届け出ることを要する。

(役 員)

第12条 本会に次の役員をおく。

1. 会 長 1名
2. 副 会 長 2名
3. 運 営 委 員 若干名
4. 日本鍍金協会役員 若干名

第13条 会長は最高責任者として、本会を代表し、会務を掌握する。

第14条 副会長1名は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行するものとする。副会長1名は運営委員長として、運営委員を掌握し、本会の運営に当たる。

- 第15条 運営委員中に渉外、会計、編集担当をおく。
1. 渉外委員は官庁並びに諸団体との交渉連絡を司る
 2. 会計委員は本会の財務を司る
 3. 編集委員は本会の編集記録として司る
- 第16条 役員は総会において選挙により選出し、互選を以って担当を決定する。
- 第17条 役員の任期は4月1日より1ヶ年とし再選を妨げない。補欠者の任期は前任者の任期とする。
- 第18条 本会に顧問及び相談役をおくことができる。
1. 顧問は業界の長老または技術、経営、経理の専門家及び本会の功労者を委嘱する
 2. 相談役は業界の先輩にして有識者を委嘱する
- (会議)
- 第19条 本会の会議は定期総会、臨時総会、月例会、役員会の4種とする。
- 第20条 定期総会は毎年度終わりに開き、事業報告、決算報告を審査し、役員の改選を行なう。臨時総会は役員会が必要と認めた時に随時開催するものとする。
- 第21条 月例会は毎月10日に開く。
- 第22条 役員会は会長が必要と認めた時に開催する。
- 第23条 会議は出席会員の半数以上の同意によって決議を行なうものとする。
- (財務)
- 第24条 本会の経費は会費及び寄附金その他の収入を以ってこれにあてる。
- 第25条 会費は年額4万円也とし、日本鍍金協会年会費6千円を含む。
- 休会中の会員の会費は正会員の半額を納入するものとする。
- 納入した入会金及び会費はいかなる事情があっても返還はしない。
- 第26条 本会の会計年度は毎年3月1日に始まり、翌年2月末日をもって終わる。
- 第27条 本会則の改正は総会出席会員の半数以上の同意によるものとする。
- (付則)
- 第28条 本会会則は昭和42年9月1日より施行する。
- 昭和48年4月10日 会費改正
- 昭和63年4月11日 会費ほか一部改正

東京都鍍金工業組合 《十日会賞表彰規定》

(目的)

第1条 日本鍍金協会「十日会」が創立20年事業として、東京都鍍金工業組合（以下工業組合と称す）に基金を寄贈して十日会賞を創設、めっき業界の発展、及び業界のイメージ向上等に特別の功績、並びに功労があった団体、又は個人を工業組合総代会に於いて表彰することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 表彰の対象は、下記項目に該当し、十日会賞選考委員会（以下選考委員会と称す）で推薦された者を、工業組合理事長が表彰する。

- (1) めっき技術に関する改善、改良に著しく顕著な功績があった者
- (2) 時代の要請に応える新しい技術の開発、又は普及に著しく貢献した者
- (3) 省資源、省力化、省エネルギー、無公害化等、作業環境改善技術の開発、普及に著しく貢献した者
- (4) 1～3項の技術を、業界に普及する努力をし、かつ、その功績が顕著な者
- (5) めっき業界の健全なる発展に寄与し、工業組合、協同組合が行う事業運営に格別の功績があった者

(選考委員会の開催)

第3条 理事長は毎年1月開催の理事会に諮り、十日会賞受賞者選考に関する人事の承認を得て、委員長に受賞候補者の選定を諮問しなければならない。

(委員の総数)

第4条 選考委員会は10名以上、13名以内の委員を以って構成したプロジェクト委員会とし、委員の任期は2年間とする。

- 2 任期途中に於いて事故、又は辞任等により委員数が10名以下となった時は委員を補充することができる。
- 3 補充された委員の任期は前任者の残任期間とする。

(正副委員長及び委員)

第5条 正副委員長及び委員は次の通り定める。

- 1 委員は十日会、工業組合、学識経験者を以って構成する
 - 1-1 十日会（3）会長、前会長、副会長とする
 - 1-2 工業組合（7）技能教育担当副理事長、技能教育、総財務、広報、環境各担当委員長とする
但し工業組合委員長組織が変更された時は、新組織の委員長とし、7名を超えることができない。
 - 1-3 学識経験者（3）理事長が指名する
- 2 委員長は技能教育担当副理事長とする。
但し、工業組合委員会組織が変更された時は、理事長の指名とする
- 3 副委員長は1名とし、技能教育委員長とする。
但し、工業組合委員会組織が変更された時は、高等職業訓練校を所管する委員長とする。

(選考委員会の招集、議決)

第6条 選考委員会の招集は、委員長が書面を以って委員に開催の通知をする。

- 2 委員長が事故あるときは、副委員長が委員を招集する。
- 3 委員会の議長は委員長とし、議事は委員の過半数が出席し、議決はその過半数以上の賛成を得て決し、可否同数の時は議長がこれを決する。
- 4 委員長は議事進行に当たり規程項目の運用に疑義を生じた時は、執行部に判断を仰ぐものとする。

(表彰候補者の推薦)

第7条 表彰候補者の推薦は各支部長が本、支部役員及び支部員と協議して若干名の候補者を選考委員会宛に推薦する。

但し、支部長は他の支部長に協議して、同一候補者を協同して選出し推薦することができる。

- 2 選考委員長は出席委員の過半数の賛成を得て、委員会独自の候補者を選定し表彰候補者として推薦することができる。

(推薦書類)

第8条 表彰候補者を選出し推薦を行う時は、下記の推薦書類を添付して選考委員会宛に提出しなければならない。

- (1) 所属団体の長、又は会社代表者の推薦書
- (2) 所属団体又は会社における役職

- (3) 本人の履歴書又は団体における履歴書
- (4) 本人が行った具体的な業績又は功労
- (5) 所属団体における具体的な業績又は功労
- (6) 表彰に特記したい事項

(受賞者の選出)

第9条 選考委員長は各支部長、又は選考委員会で推薦した表彰候補者の選出理由を各推薦書類に基づき委員に説明し、各委員の意見を聴取すると共に議決により、正副各1名の受賞者を選出する。

- 2 選考委員長は選出された正受賞者に、受賞の諾否に関する打珍を行い辞退された時は、副受賞者について同様な打珍を行う。
- 3 正副受賞者共に辞退した時は、速やかに選考委員会を再開し、再度候補者の選考を行わなければならない。
- 4 選考委員会は各支部長から1名の推薦もなく、且つ、委員全員の決議により当期に適切な受賞対象者がいない時は、受賞者の選出は次年度に見送る事ができる。

(次期受賞候補者)

第10条 選考委員長は、委員の過半数の賛成を得て当期受賞者の選に漏れた候補者を、次年度に選考すべき対象者として推薦する事ができる。

(委員の守秘義務)

第11条 委員は受賞者の選出経過、理事長への答申、及び理事会での報告等の事項については承認まで知り得た情報を他に漏らしてはならない。

(表彰の方法)

第12条 被表彰者は毎年1名とし工業組合通常総代会の席上で行い、理事長が賞状及び記念品を贈呈して受賞者の栄誉を称えこれを表彰する。

- 2 記念品は諸般の事情により、金一封とすることもある。
- 3 表彰者が事故等により出席できない時は、その家族に贈呈することができる。

(全国鍍金工業組合連合会表彰への推薦)

第13条 理事長は全鍍連が行う表彰候補者として、受賞者を理事会が推薦した時は、全鍍連執行部に表彰候補者として推薦することができる。

- 2 工業組合選出の全鍍連役員は表彰候補者が受賞する様、関係部門に働き掛けるものとする。

(十日会賞の基金)

第14条 十日会賞の表彰に要する資金は十日会20周年記念資金、及びこの表彰主旨に賛同し寄贈された金員を基金とし、運用益を原資とする。

- 2 副賞として贈呈する記念品の購入資金、又は金一封の限度額は基金の運用益以内を原則とし、支出限度額は別に定める。

(規程の改廃)

第15条 規程は毎年受賞者の選定が終了し、受賞が確定した時期に選考委員会が各項目の見直しを行い、改廃案を作成して理事会に提案し承認を得て改廃することができる。

(付則)

第16条 昭和54年11月14日 制定施行

十日会表彰内規

- 1 賞状に記載する文面の原案は事務局にて作成し、選考委員会にて協議し決定する。
- 2 副賞として贈呈する記念品は、受賞者の意向を打診し、物品又は旅行宿泊券等を贈呈できる様留意する。但し、委員会の協議により諸般の事情を勘案して現金、又は有価証券を以て副賞とすることができる。
- 3 副賞の抛出限度額は毎年100,000円程度を目安とする。

十日会の道標

十日会道標は、十日会の歴史を物語る一つのレリーフである。また、この道標は、故井上喜夫氏執筆であり、昭和44年10月13日に由田繁太郎理事長(第二代理事長)以下理事及び組合役員多数が出席の上、「十日会道標掲額発表の会」を開催した。

道標の内容については、下記の通りです。

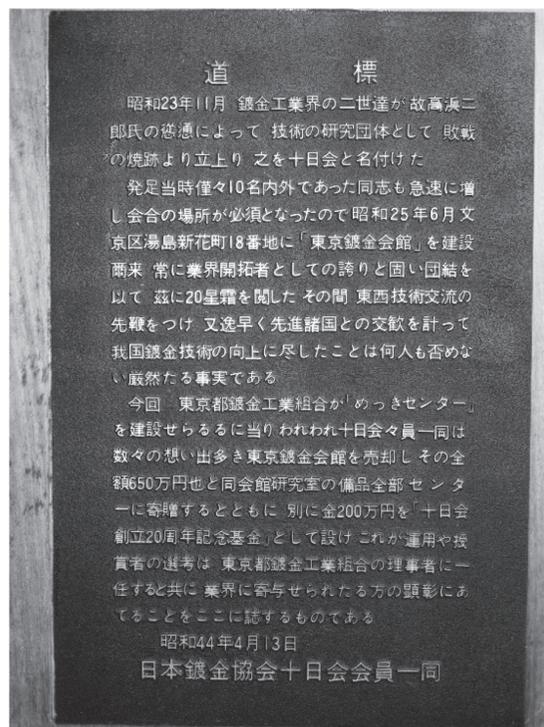
『道標』

昭和23年11月、鍍金工業界の二世達が故高浜次郎氏の徳憑によって 技術の研究団体として 敗戦の焼跡より立上り 之を十日会と名付けた

発足当時僅々10名内外であった同志も急速に増し会合の場所が必須となったので昭和25年6月 文京区湯島新花町18番地に「東京鍍金会館」建設爾来常に業界開拓者としての誇りと固い団結を以て 茲に20星霜を閲した その間東西技術交流の先鞭をつけ 又逸早く先進諸国との交歓を計って 我国鍍金技術の向上に尽したことは何人も否めない厳然たる事実である

今回 東京都鍍金工業組合が「めっきセンター」の建設せらるるに当り われわれ十日会々員一同は数々の思い出多き東京鍍金会館を売却し その全額650万円也と同会館研究室の備品全部センターに寄与するとともに 別に金200万円を「十日会創立20周年記念基金」として設け、これが運用や受賞者の選考は東京都鍍金工業組合の理事者に一任すると共に 業界の寄与せられたる方の顕彰にあてることをここに誌するものである。

昭和44年4月13日 日本鍍金協会 十日会会員一同』



会 員 名 簿

十日会 会員名簿 (平成30年10月1日現在)

会員名/役職名	会社名/代表者名/業種	〒/住所/アドレス	TEL/FAX
正会員(63社)			
坂内 康史 取締役工場長	旭電化工業(株) 電気めっき業	坂内 康修 229-1111 神奈川県相模原市宮下本町 1-28-2 http://www.navida.ne.jp/snavi/100129_1.html	042-752-5562 042-754-2493
遠藤 清孝 代表取締役社長	(有)朝日鍍金工場 電気めっき業	遠藤 清孝 132-0025 江戸川区松江 4-20-11 http://www.asahi-mex.co.jp	03-3653-3431 03-3652-2225
山田 英佐夫 代表取締役	(株)東電工舎 電気めっき業	山田 英佐夫 130-0001 墨田区吾妻橋 3-10-9 http://www.azuma-p.co.jp	03-3622-8111 03-3622-8107
野澤 宗司 代表取締役	足立工業(株) 電気めっき業	野澤 宗司 120-0023 足立区千住曙町 22-8 http://www.adachi-kogyo.com	03-3881-6138 03-3800-5195
上原 裕司 代表取締役	(有)上原メッキ工業 電気めっき業	上原 裕司 334-0063 川口市東本郷 764-8 http://www7b.biglobe.ne.jp/~ueharemekki/	0482-82-1590 0482-82-3567
永峰 聡 化成品営業グループ課長	上村工業(株) 東京営業部 めっき薬品	上村 寛也 103-0011 中央区日本橋大伝馬町 12-7 http://www.uemura.co.jp/	03-5646-2525 03-5645-2511
上村 福子 代表取締役	(株)上村 めっき薬品	上村 福子 114-0001 北区東十条 3-8-13	03-5390-2871 03-5390-2875
永田 一雄 代表取締役	(株)梅田鍍金工業所 電気めっき業	永田 一雄 123-0851 足立区梅田 3-16-1 http://www6.plala.or.jp/pl-umeda/	03-3880-1271 03-3889-8530
森 義典	(株)J C U 本社営業部 めっき薬品・機器	小澤 恵二 110-0015 台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO16 階 http://www.jcu-i.com	03-6895-7001 03-6895-7021
岡田 祥一 代表取締役社長	(株)大倉 電気めっき業	岡田 祥一 342-0056 埼玉県吉川市 1-5-10 http://okuramekki.com/index.html	048-982-6361 048-982-6793
太田 幸一 代表取締役	太田鍍金工業(株) 電気めっき業	太田 幸一 124-0014 葛飾区東四ツ木 2-10-17 http://www.otaplating.co.jp	03-3692-4560 03-3693-0020
岡田 茂 代表取締役	(株)オカダテックス めっき機器	岡田 茂 278-0013 野田市上三ヶ尾 261-9 http://www.okadatecs.co.jp	0471-24-4151 0471-25-6684
山本 大	奥野製薬工業(株) めっき薬品	奥野 和義 123-0865 足立区新田 3-8-17 http://www.okuno.co.jp	03-3912-9241 03-3914-9241
神谷 昌孝 専務取締役	神谷電化工業(株) 電気めっき業	神谷 博行 124-0012 葛飾区立石 2-18-8 http://www.kamiyamekki.com	03-3695-1304 03-3695-1346
小松 慎司 専務取締役	キクヤビーエム(株) めっき薬品・機器	小松 康宏 110-0015 台東区東上野 1-28-9 http://kikuyapm.co.jp/	03-3832-6281 03-3832-1607
森本 高生	キザイ(株) めっき薬品・機器	春日井 博丈 103-0001 中央区日本橋小伝馬町 9-10 http://www.kizai-chem.co.jp/index.html	03-3662-8871 03-3661-8636
上市 孝志 代表取締役	(株)共和機器製作所 めっき設備	上市 孝志 334-0012 埼玉県川口市八幡木 2-15-15 http://www.kyowa1970.jp	048-281-6940 048-285-2093
日塔 賢 営業第1部	(株)クリタ めっき薬品	栗田 光直 130-0025 墨田区千歳 1-3-5 http://kk-kurita.co.jp	03-3631-9101 03-3633-3811
菊池 忠男 代表取締役	光陽鍍金(株) 電気めっき業	菊池 忠男 124-0001 葛飾区小菅 3-15-11 http://techno-plaza.jp/portfolio-view/comp002/	03-3602-6815 03-3603-1718
小島 秀樹 代表取締役	小石田鍍金工業(株) 電気めっき業	小島 秀樹 132-0021 江戸川区中央 2-7-14 http://www.koishida-ep.jp	03-3653-7155 03-3653-7183
真木 洋平 代表取締役	さくらGS(株) 電気めっき業	真木 洋平 221-0024 横浜市神奈川区恵比須町 7-9 http://www.sakurags.com/	045-453-7121 045-453-7124
宮田 朋浩 代表取締役社長	(株)三共 めっき設備	宮田 朋浩 114-0024 北区西ヶ原 4-49-7 mail : k-sankyo@mve.biglobe.ne.jp	03-3949-7741 03-3949-7909
石川 雅一 代表取締役	(株)三恵工業所 電気めっき業・アルマイト業	石川 雅一 116-0013 荒川区西日暮里 5-1-18 http://www.tmk-johoku.jp/company/ishikawa.html	03-3891-6718 03-3807-6244
吉村 圭祐	(株)三進製作所 東京支店 めっき設備	柳下 幸一 170-0002 豊島区巢鴨 1-9-11 http://www.sanshin-mfg.co.jp	03-3942-0251 03-3947-8291

会員名/役職名	会社名/代表者名/業種		〒/住所/アドレス	TEL/FAX
村松 康裕 常務取締役	(株)三松 めっき機器	村松 泰直	144-0051 大田区西蒲田 7-57-11 http://www.sanmatu.co.jp/	03-3733-7131 03-3739-0322
大塚 寛之 営業部	サンライト(株) めっき薬品	松田 武雄	335-0005 蕨市錦町 1-13-12 http://sunlight-warabe.jp	048-442-3810 048-445-5704
渋谷 均 代表取締役	(株)シブヤ電機 めっき設備	渋谷 均	174-0065 板橋区若木 1-9-15 http://itabashi.or.jp/company/shibuya-denki.html	03-3935-7511 03-3550-5784
蝦名 一輝	(株)シルベック 電気めっき業	齋藤 晴久	340-0835 埼玉県八潮市浮塚 879-3 http://www.silvec.co.jp	048-994-5931 048-994-5935
岡崎 淳一 代表取締役	ジャスト(株) 電気めっき業	岡崎 淳一	999-3103 山形県上市市金谷字下河原 1360 http://yamagata-just.co.jp/	023-673-5125 023-673-5189
堀口 研一 代表取締役	上毛電化(株) 電気めっき業・アルマイト	堀口 研一	375-0056 群馬県藤岡市三ツ木 336-6 http://www.alumite.jp/pc/	0274-24-3228 0274-24-4841
廣嶋 力 所長	(株)スイレイ 東京営業所 めっき設備	加納 壮浩	163-1030 新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワーN30 階 http://www.suirei.co.jp/	03-5326-3058 03-5326-3001
岩崎 弘	(株)セムコーポレーション めっき設備	中川 士郎	113-0021 文京区本駒込 1-10-25 https://www.cemco.jp/	03-3946-3335 03-3946-0675
南 忠男 代表取締役	(有)大啓ケアー めっき設備	南 忠男	340-0022 埼玉県草加市瀬崎町 1386-25	0489-24-0833 0489-24-0834
池田 憲治 営業部部長	大日工業(株) 電気めっき業	小倉 攻一	124-0011 葛飾区四ツ木 5-16-11 http://www.dnk-mekki.com/	03-3691-9501 03-3691-9504
瀧澤康一 営業部係長	(株)タイホー 電気めっき業	山口 伸一郎	332-0004 埼玉県川口市東領家 2-37-18 http://www.taihogroup.co.jp	0482-23-6786 0482-23-7714
狐塚 保之 代表取締役	立石電化(株) 電気めっき業	狐塚 保之	124-0013 葛飾区東立石 2-15-17	03-3691-6285 03-3694-3406
田島 正一 取締役営業部長	(株)田島製作所 電気めっき業	田島 薫	132-0021 江戸川区中央 3-13-10 http://www.tajima-tokyo.com	03-3653-5385 03-3674-4697
菅野 秀之 販売1課 課長	(株)中央製作所 東京支店 めっき機器	後藤 邦之	142-0041 品川区戸越 3-1-18 第百生命ビル5F http://www.chuo-seisakusho.co.jp	03-3788-1571 03-3788-5481
大塚 淳生 代表取締役社長	(株)テクノオツカ 電気めっき業	大塚 淳生	116-0013 荒川区西日暮里 5-27-2 グリーンリーフ大塚 805 http://techno-otsuka.server-shared.com/	03-3805-5903 03-3805-5904
関 誠一郎	ディップソール(株) 東京支店 めっき薬品	五十嵐 幸子	104-0028 中央区八重洲 2-7-12 http://www.dipsol-jp.com	03-3548-9354 03-3548-9370
中村 悠希 専務取締役	(株)電測 めっき機器	中村 博	164-0011 中野区中央 2-31-5 http://www.densoku.com/	03-3365-4411 03-3371-1287
川上 隆史 代表社員	(資)東亜鍍金工場 電気めっき業	川上 隆史	146-0093 大田区矢口 2-32-7 http://www.ric.hi-ho.ne.jp/toamekki/index.html	03-3759-3446 03-3759-3448
坂手 保弘 代表取締役	(株)トーテック 電気めっき業	坂手 保弘	153-0064 目黒区下目黒 2-13-7 http://www.tohtec.co.jp	03-3493-0231 03-3779-5296
大村 雅史 代表取締役	(株)都南ビーピー 電気めっき業	大村 雅史	153-0051 目黒区上目黒 4-5-1 http://www.tonanbp.co.jp	03-3719-8221 03-3760-9027
橘 恒一 代表取締役	内外ハイグラス(株) めっき設備	橘 恒一	101-0044 千代田区鍛冶町 1-6-17 http://www.naigai-hg.com/	03-3256-4055 03-3256-4063
寄本 太一郎 営業部リーダー	日本表面化学(株) めっき薬品	石田 俊一	160-0007 新宿区荒木町 20-21 http://www.jasco-kk.co.jp	03-5367-6381 03-5367-4545
野上 敬 代表取締役	野上化学工業(株) 電気めっき業	野上 敬	114-0012 北区田端新町 1-11-13 http://www.tmk-johoku.jp/company/nogami.html	03-3894-5195 03-3800-5195
長谷川 徹 代表取締役社長	長谷川鍍研資材(株) めっき設備	長谷川 徹	110-0013 台東区入谷 2-30-7	03-3872-1191 03-3872-1193
内田 悦美 代表取締役	光鍍金工業(株) 電気めっき業	内田 悦美	179-0081 練馬区北町 1-8-7 http://www.hikarimekki.com	03-3934-0334 03-3931-7125
石川 英孝 代表取締役	(株)ヒキフネ 電気めっき業	石川 英孝	124-0014 葛飾区東四ツ木 2-4-12 http://www.hikifune.com	03-3696-1981 03-3692-9178

会員名/役職名	会社名/代表者名/業種	〒/住所/アドレス	TEL/FAX
大村 卓司 代表取締役	福井精鍍工業(株) 電気めっき業	大村 卓司 130-0011 墨田区石原 2-8-13	03-3624-2751 03-3624-2754
福井 通人 代表取締役社長	福井電化工業(株) 電気めっき業	福井 通人 272-0126 千葉県市川市千鳥町 11 http://fukuidenka.co.jp	047-396-2331 047-396-2338
稲田 晴喜 代表取締役	富士電機工業(株) めっき機器	稲田 晴喜 169-0073 新宿区百人町 1-21-22 http://www.fujidenki-k.co.jp/	03-5925-0512 03-5925-0513
柴田 徹 代表取締役	(株)扶桑電化上平井工業所 電気めっき業	柴田 徹 124-0025 葛飾区西新小岩 5-7-22 http://fusoudenka.jimdofree.com/	03-3697-7225 03-3697-7235
内藤 喜達 常務取締役	平和工業(株) 電気めっき業	内藤 雅文 143-0003 大田区京浜島 2-2-4 http://www.heiwakogyo.com	03-3790-1031 03-3790-2828
草間 誠一郎 代表取締役	(株)三ツ矢 電気めっき業	草間 誠一郎 141-0031 品川区西五反田 3-8-11 http://www.mitsuyanet.co.jp/	03-3492-7191 03-3492-7194
梅田 輝幸 代表取締役	ミナモト電機(株) めっき機器	梅田 輝幸 124-0025 葛飾区西新小岩 3-14-21 http://www.minamotoelectric.co.jp	03-5671-3710 03-5671-3838
江原 弾 代表取締役	メイホー(株) 電気めっき業	江原 弾 144-0033 大田区東糀谷 6-3-1 http://www.meiho.com/	03-3744-6761 03-3744-6763
戸田 教雄 係長	メルテックス(株) めっき薬品	古橋 勝美 103-0004 中央区東日本橋 2-28-5 協和ビル7F http://www.meltex.com/ja/	03-3865-0151 03-3865-0176
八幡 義一 代表取締役	八幡鍍金工業(株) 電気めっき業	八幡 義一 132-0035 江戸川区平井 5-20-9 http://yahatamekki.com/	03-3617-7707 03-3617-7709
後藤 章	ユケン工業(株) めっき薬品	小島 憲和 146-0095 大田区多摩川 1-18-3 http://www.yuken-ind.co.jp/	03-3759-5291 03-3759-5297
渡辺加寿子 代表取締役	(株)渡辺熱理興業 めっき設備	渡辺 加寿子 332-0004 埼玉県川口市領家 4-7-26 http://www.netsuri.co.jp/	03-3899-4612 03-3897-2618

特別会員(2名)

村楨 利弘 工学博士		300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里 21	0298-89-2801 0298-89-2804
土井 正 工学博士	(地独)東京都立産業技術研究センター めっき技術担当研究員	135-0064 江東区青海 2-4-10	03-5530-2111 03-5530-2765

報道(4社)

須崎 秀喜 代表者	スザキ企画 報道『組合広報』	須崎 秀喜 272-0802 千葉県市川市柏井町 2-1419-4	0473-38-1222 0473-38-1222
柏原 歩	表面技術ジャーナル社 報道『表面技術ジャーナル』	101-0026 千代田区神田佐久間町河岸 70	03-3851-0695 03-3851-0695
藤ヶ谷 雄章	日本鍍金材料協同組合 報道『鍍金の世界』	倉田 裕理子 103-0025 中央区日本橋茅場町 2-13-8	03-3666-2416 03-3666-3114
太田 洋平	産業通信(株) 報道『日本鍍金新報』	103-0001 中央区日本橋小伝馬町 19-2	03-3662-8736 03-3661-7317

・十日会の歌「湯島の丘の赤い屋根」とは、

60周年記念誌に掲載された「湯島の丘の赤い屋根」を改めて掲載するにしました。この歌は、60周年記念誌の108ページに掲載されているが、十日会を支えてこられた先輩方の、十日会の精神を垣間見ることが出来る。その精神を引き継ぎ、後世へと伝え、十日会の心の歌として覚えておきたい一曲である。ちなみに、この歌の原曲は、昭和23年ごろに大ヒットした「鐘のなる丘」の替え歌である。

**湯島の丘の 赤い屋根 J. E. P. S 会館の
鐘が鳴ります キンコンカン
若い世代がきたのです
みんながシッカリ 手を組んで めっきの天職 守りましょう**

JES 日本鍍金協会

日本鍍金協会とは…

綱領

- 一、私達は良識ある日本人の誇りを以って行動したい
- 一、私達は鍍金工業を通じて日本産業の興隆に寄与したい
- 一、私達は開拓者の精神を以って業界の推進力となりたい

昭和36年6月25日、この綱領を採択して日本鍍金協会が結成された。以来、十日会(東京)、名鍍会(愛知)、青研会(大阪)、各会の活発な活動とともに、毎年、年次大会、秋季大会を開催し、研修事業等を実施するとともに親睦を図っている。

東京「十日会」、愛知「名鍍会」、大阪「青研会」の3会は、地域を超えた同業者同士の深い交流を実現し、50年以上の歴史を刻んでいる。同業者間での情報交換や、業界を盛り上げて行く為の意見交換など貴重な交流を体験出来る会である。



日本鍍金協会 概要

- ◎会員企業数 203社(十日会62社・名鍍会50社・青研会91社)平成30年4月1日現在
- ◎入会資格 十日会、名鍍会、青研会に属している事
- ◎年度行事 (1)年次大会:会議(現況報告、事業報告、業界動向)、懇親会、会長引継、宿泊、家族同伴可、その他企画
(2)合同役員会:役員引継、会議(JES運営、現況報告、事業報告、その他)、懇親会
(3)秋季大会:工場見学会、会議(現況報告、事業報告、業界動向)、懇親会、日帰り
※1年毎に幹事会を持ち回り(幹事会よりJES会長選任)
- ◎国歌斉唱 大会開催時に斉唱する。日本の国家である「君が代」を歌う機会と言えば、サッカー日本代表戦の時か、JESの大会で歌うことくらいしか無い。現代の多くの日本人で「君が代」を年間一回でも歌う人は少ない。日本人としての誇りを感じる瞬間であり、気が引き締まる瞬間でもある。
- ◎毎年各会持ち回り運営 各会運営幹事が毎年趣向を凝らし、開催場所や企画を考える。その企画や行った事の無い場所へ行く事も楽しみの一つである。
- ◎地域を超えた仲間との交流の素晴らしさ
・東京、愛知、大阪と地域を超えた業界人とのリアルな情報交換は他では得られない貴重な情報である。
・年に2～3回しか会えないのだから会えば真剣に討論したり、酒を酌み交わしながら冗談を言い合ったりできる、そんな仲間達に会えることは楽しみのひとつである。
・日本鍍金協会に集まる人たちは、人間味溢れる人が多く、活気があり刺激を受ける。
- ◎金バッジ 日本鍍金協会のバッジであるが、真ん中の赤い石が昔はルビーだったと言われている。しかし、この金バッジを皆で付けていると何の会なのかと聞かれる。確かに派手で目立つバッジであるが、会員は皆誇らしげに堂々と付けている。

広 告 I N D E X

広告INDEX

あ		(株)電測	132
(株)上村	124	東京鍍金公害防止協同組合	116
上村工業(株)	98	東京都鍍金工業組合	115
大原研材(株)	124	(株)鍍研	133
(株)オカダテックス	125		
奥野製薬工業(株)	102	な	
か		内外ハイグラス(株)	117
(株)河口・サポート	126	中川化学装置(株)	133
カワハラメタル(株)	126	(株)西村ケミテック	134
関東金誠(株)	126	日本化学工業(株)	134
キクヤピーエム(株)	103	日本表面化学(株)	118
キザイ(株)	127	日本フィルター(株)	119
(株)共和機器製作所	104	日本鍍金材料協同組合	120
(株)金属化工技術研究所	127	(株)野坂電機	106
小金商事(株)	109	は	
さ		P a v c o I n c .	105
埼玉薬品(株)	128	(株)フィッシャー・インストルメンツ	135
(株)三進製作所	100	富士化学工業(株)	135
(株)三松	110	ま	
三明化成(株)	128	(株)マミヤ	136
サンライト(株)	111	ミナモト電機(株)	121
(株)JCU	112	メルテックス(株)	122
シナネン(株)	113	森幸鍍金材料(株)	123
伸栄化学産業(株)	129	や	
新共立化工(株)	129	藪田機械(株)	107
新日本電工(株)	130	(株)山本鍍金試験	136
(有)シンワ電熱	130	ユケン工業(株)	108
(株)スイレイ	131		
た		ら	
(株)タイホー	131	(株)ワールドケミカル	137
(株)中央製作所	114	(株)ワールドメタル	137
ディップソール(株)	132		

創立70周年を迎えられましたことを
心よりお慶び申し上げます。





「めっき」でなければ描けない 未来を創造いたします。

環境に優しい製品を開発すること。環境に優しいものづくりに携わること。

品質管理や環境対策、環境に優しい製品づくりに真摯に取り組むことはもちろん、工業製品の影の立役者として、「環境に優しいものづくり」を支えています。

私たちの大切な環境を損なうことなく、めっきの可能性を社会に還元する。

私たちでしか描けない未来を目指して、確かな企業活動を展開しています。

表面処理の事業分野は、薬品・機械・めっき液管理装置の3つに大きく分かれています。

ウヱムラは、その3つ全てを手がけている、業界でも数少ない企業です。



めっき薬品



めっき装置



めっき液管理装置

表面処理技術のリーディングカンパニー

上村工業株式会社 <http://www.uyemura.co.jp/>

[本社] 大阪市中央区道修町3-2-6 TEL.06-6202-8871

[支社] 東京都中央区日本橋大伝馬町12-7 TEL.03-5645-2525

[支店] 名古屋市西区菊井1-20-11 TEL.052-571-5381

[海外] 米国・香港・深圳・上海・台湾・韓国・シンガポール・マレーシア・タイ・インドネシア



水回収と排水処理負荷低減に最適なイオン交換機の引取り再生サービス

資源化センターシステム

Resource Center System

混床塔イオン交換樹脂の引取り再生サービスを開始!

東日本の再生拠点 三進RCS東日本サテライト

全国のお客様を対象に

年間 **6,000** 本以上の

ポンベ型イオン交換機の

引き取り再生を行っております。



- 水洗工程で水・金属回収を実現するポンベ型イオン交換塔の引き取り再生システム。
- 飽和に達したポンベ型イオン交換塔は「資源化センター」で回収・再生され、再びお客様の元で繰り返し使用。
- イオン交換樹脂に吸着した重金属の成分は「資源化センター」で分別再生され、山元製錬所で金属の原料として再利用。
- 一部の金属は電析により金属箔として回収・再資源化が可能。

精密な過程 Ecoe/JVF エコエース プラスシリーズ

ふた開閉にカムレバー方式を用意、
お客様の「ワンタッチで開けたい」を実現!

◆ふた開閉の時間短縮

従来の螺ナットボルト方式に比べ、
ふたの開閉操作時間を短縮できます。

◆締付力の均一化

最適な締め具合で、液漏れを無くすと同時に、
締め過ぎによるふたへのダメージを軽減します。

◆部品の脱落事故防止

カムレバーは普段の開閉操作時において、
部品の脱落事故を心配する必要がありません。



螺ナットボルト方式



カムレバー方式

東京支店 東京都豊島区巣鴨 1-9-11 TEL (03)3942-0251
 北関東営業所 群馬県高崎市矢中町 466-10 TEL (027)352-4078
 東北出張所 福島県郡山市堤 1-88(堤マンション 2号棟 102) TEL (024)952-5226



前工程からの持ち込み、後工程へ与える影響を配慮したプロセス

TOP DuNCプロセス

硫酸銅めっき

- エア流速が弱い箇所で発生するピットが少ない
- 硫酸銅めっきにおけるスラッジの発生が少ない

ニッケルめっき

- 硫酸銅めっき添加剤の持ち込みによる影響を受けにくい
- 耐食性に寄与する皮膜電位が安定に維持でき、管理が容易
- クラックの発生が少ない

クロムめっき

- (6価クロム) ● 付き回りが良く、陽極の溶解が少ないクロムめっき
- (3価クロム) ● 6価クロムに類似した白色: トップファインクロムWR
- スモーク色の黒色外観: トップファインクロムFMB
- 青黒色の黒色外観: トップファルベBLB Plus

処理工程



 奥野製薬工業株式会社

OKUNO CHEMICAL INDUSTRIES CO. LTD.

東京支店 / 東京都足立区新田 3-8-17 TEL 03-3912-9244

京浜営業所 / 横浜市鶴見区尻手 2-9-10 TEL 044-555-6511

URL <http://www.okuno.co.jp>

祝 日本鍍金協会・十日会

創立70周年

地球環境への
配慮も忘れません

微粒子研磨剤

キクモール



50g



250g

キクヤピーエム株式会社

表面処理資材専門商社

本社 〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9

TEL:03-3832-6281 FAX:03-3832-1607

配送センター 〒123-0835 東京都足立区本木西町7-6

TEL:03-3890-5748 FAX:03-3832-1607

E-mail office@kikuyapm.co.jp

Home Page <http://www.kikuyapm.co.jp>

共和のメッキ機器 スーパーシリーズ

極小ロット用・実験用 超小型メッキ装置 (スーパーマイクロシリーズ)

最近のメッキ装置の需要の中で一番多いのが、極小ロットや実験用へ対するものです。共和では、汎用メッキ装置で得たノウハウをそのまま応用した超小型メッキ装置を販売しています。小さいが機能は本格的。ミニバレル、卓上揺動式メッキ装置、ミニ乾燥機等充実したラインナップを揃えております。従来の自動メッキラインや汎用手動メッキ装置で蓄積したメッキ条件を活用でき、また逆に、この極小ロット用・実験用超小型メッキ装置で得たデータを自動メッキラインへ活用できます。只の実験用装置では終わらせません。



スーパーバレル

共和のバレルは何種類もの超精密工作機械で

作られます。メッキ効率の高いこと、蓋にはさまざまなこと、極小製品が内面に付着したり引っかかったりしないこと、曲がりやすく折れやすい部品でも一切変形しないこと、メッキ液の更新に優れていること、内部の攪拌効率に優れていること、まんべんなく均一に通電すること、アミの張替えが容易であること等、当たり前のことが実際に現場でできていますか。共和のバレルなら大丈夫です！数多くの特許やノウハウが活かされています。高付加価値・高品質を体験してください。

攪拌抜群！均一メッキ圧！
共和B/Fバタフライ偏芯型バレル

揺動装置 スーパープレーター



	単槽型 (連槽タイプは別仕様)	2連槽型
本体	特殊ロッカー機構 (3相 200V 0.2kw)	
制御盤	ロッカー機構用インバーター / ろ過機 on/off / 温調デジタル	
タンク	FRP製 500Wx600Lx550H (液量 120L)	FRP製 500Wx1210Lx550H (液量 240L)
陰極バスバー帯板	特製 Cu/FB 10x30 スライド型	
陽極バスバー帯板	チタンソリッドバー (オプション) 10x30 スライド型	
アノードケース	水中チタンケース / PVC製特殊配管用特製ケース (各種オプション)	
ろ過機	特殊吸引方式 / 噴流攪拌 / 活性炭チャンバー (オプション)	
加熱・冷却	オプション	

スーパープレーター独自の揺動ストロークとインバーター制御による可変スピードコントロールとの調和が、バレル内部のメッキ製品をダイレクトに刺激します。バレル内攪拌の効率化、メッキ厚の均一化、メッキ時間の短縮化はもちろん、例えば、リッド、パッケージ部品、極小チップ部品、極細線材、変形もの、重なり製品、極小ボール、キャップ部品等・・・可能性は無限です。また、効率的なイオン拡散による陽極溶解度の促進や、陽極スライム除去等により生産効率の向上し、またメッキ液のスローイングパワーの向上により、メッキの高速化・緻密な層析出・均一電着性が更に上がってきます。併せてメッキ液のミキシング効果で、温度分布の均一化等により、空中ミストの減少もたいへん注目されています。



極小製品対応!!
共和ビス止め張替式アミ張りバレル



乾燥機 スーパードライヤー

変形シミなし、溶剤不要、超高速乾燥！

◇超高速・超風量により水気を一気に吹き飛ばし、シミの発生を抑制します。

◇乾燥製品は静止したまま！ チッピングなし。

変形、欠け、傷つき一切なし！

◇極小微細部品も飛散しません。

◇リッド製品、パッケージ製品、極小チップ部品、板形状、極細線材、重なりもの、変形もの等の製品に特に威力を発揮します。

型式	101型
本体寸法	W800 x D1200 x H1760
乾燥室寸法	W320 x D345 x H330
フロア	5.5kw
電気仕様	15.0kw
蒸気熱交仕様	5.5kgf/cm ² (MPa) ヒーター20.0kw相当
制御方式	シーケンス/インバータ/2段温調による 統合制御方式
①強制予備冷風モード	設定/非設定の選択可
②本乾燥モード	時間/温度の任意設定
③結露防止モード	時間/温度の任意設定
標準乾燥時間	2分～5分 (60℃)



製造  株式会社 共和機器製作所
販売 映光精密株式会社

ホームページ
メールアドレス

〒334-0012 埼玉県川口市八幡木 2-15-15

www.kyowa1970.jp TEL 048-281-6940
info@kyowa1970.jp FAX 048-285-2093



次世代酸性亜鉛めっき
光沢剤の働き方改革。
設備をそのままに、処理能力をアップ。
最大50%の売り上げアップ実現。



A PRODUCT BY
PAVCO

Merlin
メルリン

ジンケート維新。
めっき効率、最大30%アップ
炭酸塩処理を必要としないアルカリ亜鉛めっき。



Pavco製品に関する情報は、弊社代理店メルテックス
までお問い合わせ下さい。
メルテックス株式会社
048-665-2122
www.meltex.com

PAVCO

豊富なソフトと頑丈なハードで ものづくりを力強く支え続けます。

ものづくりはハードからソフトの時代へ。
60 余年で得た経験と技術で表面処理のトータルシステムプレーヤーとして、
世界のものづくりを力強く支え続けます。



全自動めっき装置 (オベレット HR 型)



株式会社野坂電機

URL: <http://www.nosaka.co.jp>

☎143-0003 東京都大田区京浜島 2-2-9 ☎03-3790-1531 Fax03-3790-0224

海外製造拠点: NOSAKA ASIA Co., Ltd. (タイ) ST.NOSAKA Co., Ltd. (タイ) NOSAKA DE MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ)

藪田式フィルタープレス

●特長

- ・ 全機種、圧搾型フィルタープレスで、脱水ケーキの減容化に貢献します。
- ・ 小型機種～大型機種、手動型～全自動型をラインナップしています。
- ・ 濾過助剤(プレコート)もしくは濾紙を用いた全量濾過もでき、亜鉛規制にも対応可能です。
- ・ 濾板の一部に SUS を採用する事で、機長を抑える事ができます。
設置スペースはそのままで、能力アップが可能になります。



手動型、半自動型



小型全自動型

型式仕様

型式	室数(室)	濾板寸法(cm)	濾過面積(m ²)
66型	4～40	66×66	2.6～26
100型	6～100	100×100	10～170

藪田機械株式会社

本社 大阪市中央区備後町4丁目3番4号

電話(06)6228-4600(代表)

営業所 東京都千代田区岩本町2丁目12番2号

電話(03)5835-3340(代表)

化学品事業

化学品製造販売

Chemical Products

パナ+
METASU

浸漬洗浄剤
電解洗浄剤

メタス
PAKUNA

亜鉛めっき光沢剤
亜鉛系合金めっき光沢剤
三価クロム化成処理剤

コーティング剤
トップコート

電子部品用めっき光沢剤
電子部品用後処理剤



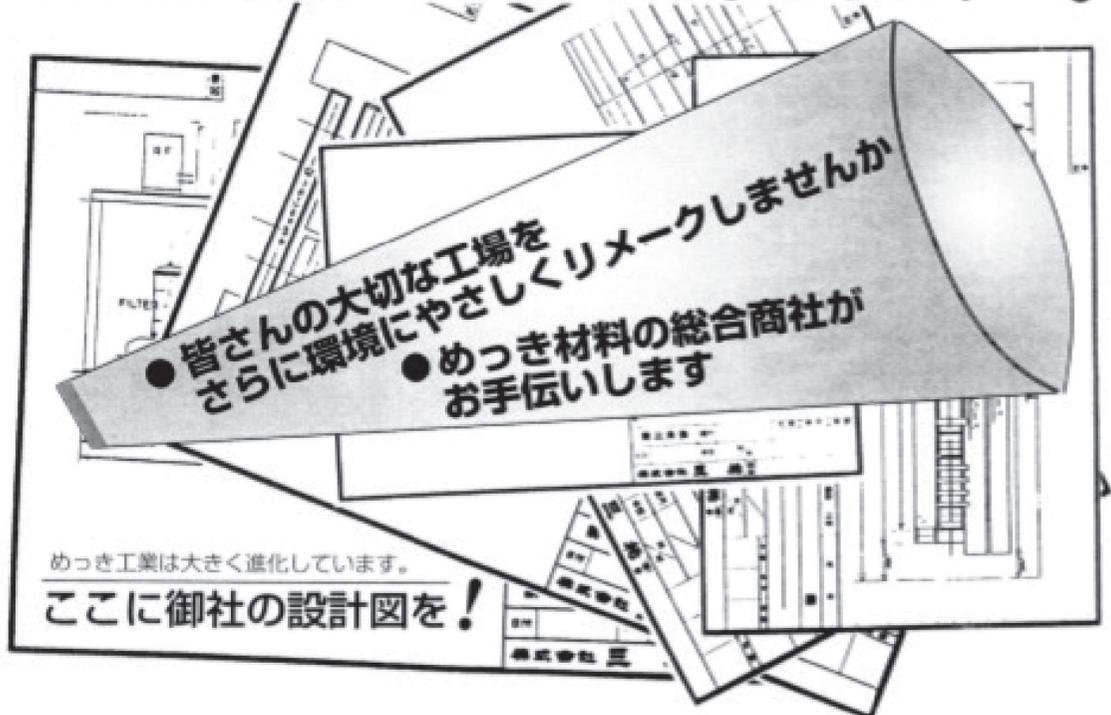
人に、環境に優しい製品づくりをめざします。

 **YUKEN**

<http://www.yuken-ind.co.jp>

ユケン工業株式会社 名古屋営業所
〒466-8521 愛知県安城市高欄町土井ノ内123番地
TEL : 0566-73-8220 FAX : 0566-73-8222

SANMATSUはプラントプランナー。



SANMATSU は、プランニング、設計・製作、建浴、メンテナンスまで、一貫してお手伝いできる表面処理業界唯一の総合プラントプランナーです。

SANMATSU の高い信頼性は、半世紀にわたる生産現場のニーズに即して開発されたハードウェアと、あらゆる産業分野でのシステムを構築してきたソフトウェア両面のノウハウが支えております。

SANMATSU は、表面処理薬品や資材、機械装置や機器に付加価値をつけて提供できます。

SANMATSU の豊富な経験を持つスタッフは、付属機器類、排水処理装置、試験分析器具等についても、お客様に最適な商品をセレクトし、有効活用するためのノウハウを提供出来ます。

お問合せご相談は、弊社営業部でお受けいたしております。

めっき材料総合商社 **SANMATSU**



株式会社 **三 松**

本社 〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-57-11 TEL.03-3733-7131 FAX.03-3739-0321
湘南 〒251-0046 藤沢市辻堂西海岸2-14-45 TEL.0466-34-1711 FAX.0466-34-0581
横浜 〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町7-5 TEL.045-461-6088 FAX.045-461-6077

良い仕上げはより良いスタートから…

金属表面処理において、最初に問題になるのは前処理、いわゆる金属の洗浄ですが、その良否はその後の各種処理に重大な影響を及ぼします。

この金属の洗浄剤の専門メーカーとして、サンライト株式会社は創設以来40年、当初の高性能洗浄剤からノンシアン、ノンキレート、省エネルギーと時代の変化、要求に応じた製品を次々と作り出しております。特に自動化の普及に併せて従来の前処理技術を見直して、めっき前処理の常識を変えた酸電解E-700、ウルトラ酸等、サンライト独特の新製品と合理化されたプロセスで実績を上げています。

弊社の営業方針は使用される工場の立場となり、洗浄性の向上、合理化、コストダウン、排水対策等の諸問題を共に考え、納得した基本線に従い工場側にメリットの出るものの販売に専心致しております。各種表面処理工場にて鍛えられた豊富な経験に基づく自信のある技術をぜひご利用下さい。

——— 時 を 追 っ て 益 々 好 評 ・ 真 価 を 発 揮 す る ———

予備酸洗を省略
酸電解 E-700 シリーズ

フロン・エタン代替洗浄剤
スーパー DX・スーパー K

1液でニッケルを剥離！
サンストリップ N-400



サンライト株式会社

本 社 〒335-0005 埼玉県蕨市錦町1-13-12 TEL 048-442-3810
名古屋営業所 〒452-0802 名古屋市西区比良2-301 TEL 052-503-3320



CONNECT THE WORLD, CONNECT THE FUTURE



その技術が
世界を繋ぎ
未来に繋がる

www.jcu-i.com



私たちは、お客様のニーズの“その先”を見据えた表面処理技術の提供で、
未来のモノづくりをリードし、新たな市場の創造に貢献していきます。

株式会社 JCU

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
TEL : 03-6895-7001 FAX : 03-6895-7021

電気料金削減・省エネは

シナネン

群馬県 製造業 K 社様

契約電力 1,200 kW
年間使用量 2,646,939 kWh
年間電気料金 61,702,029 円

↓
4,920,480 円 / 年
電気料金削減に成功！

茨城県 製造業 N 社様

契約電力 1,350 kW
年間使用量 3,320,984 kWh
年間電気料金 71,842,266 円

↓
3,003,642 円 / 年
電気料金削減に成功！

愛知県 製造業 M 社様

契約電力 504 kW
年間使用量 965,333 kWh
年間電気料金 22,985,771 円

↓
2,935,600 円 / 年
電気料金削減に成功！

SINANEN 

〒105-8525 東京都港区海岸 1-4-22

TEL : 03-5470-7327 (代表)

<http://www.sinanen.com>

シナネン株式会社 電力事業部

TEL : 03-5470-7135

担当：松井



祝 創立70周年

Hi-VERTORO

Hi-Mini / サイリスタ制御方式



HVS 4 E型



MB 8 C型

Power-Master



PMD 2型



PMS 1型

《営業品目》	直流電源装置	表面処理装置	電気抵抗溶接機	環境機器
	電解バリ取装置	各種省力機器	超音波洗浄機	めっき厚さ測定器
	各種計測器	各種試験装置		

株式会社 中央製作所

URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp>

本社・工場 〒467-8563 名古屋市瑞穂区内浜町 24 番 1 号
 TEL 052-821-6110 (代) FAX 052-821-9154
 東京支店 TEL 03-3788-1571 (代) FAX 03-3788-1571
 大阪支店 TEL 06-6974-6161 (代) FAX 06-6974-0603
 仙台営業所 TEL 022-291-3330 FAX 022-295-0335
 福岡営業所 TEL 092-414-2016 FAX 092-414-2021

祝 創立70周年



〈めっきセンタービル〉



〈環境科学研究所〉



〈高等職業訓練校〉

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合

TOKYO ELECTRO-PLATING INDUSTRIAL ASSOCIATION

東京鍍金公害防止協同組合

TOKYO CYANIDE TREATMENT CORPORATIVE ASSOCIATION



環境科学研究所
高等職業訓練校

〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10
TEL: 03(3814)5621 FAX: 03(3816)6166
URL: <http://www.tmk.or.jp>
E-mail: webmaster@tmk.or.jp



シアン濃厚廃液収集運搬斡旋
～廃液処分から土壌汚染対応まで～

〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10
TEL: 03(5805)3193 FAX: 03(5805)3194
URL: <http://www.tmk.or.jp/kougaioubushi/>
E-mail: tctca@mub.biglobe.ne.jp



めっき業界の共同処理施設



JQA-EM5493



JAB
EMS Accreditation
RE006

祝 十日会 創立七十周年

東京鍍金公害防止協同組合

〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10
TEL 03(5805)3193 FAX 03(5805)3194
E-mail tctca@mub.biglobe.ne.jp
URL <http://www.tmk.or.jp/jonan/jonan.html>

環境保全のパイオニア・資源回収に貢献する 城南処理センター

産業廃棄物のご用命は 城南処理センター

多くの方が組合に加入して、施設を利用しています。

出資3口3万円、賦課金月額 200円

土壌汚染状況調査 環境大臣 指定調査機関

廃棄物処理法の許可内容

- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(東京都) 許可番号 第1368003658号
 - (1)業の区分:収集・運搬(保管・積替えを含む)
 - (2)産業廃棄物の種類:①廃アルカリ ②特定有害産業廃棄物(汚泥)
- ・特別管理産業廃棄物処分業許可(東京都) 許可番号 第1378003658号
 - (1)業の区分:中間処理(シアン化合物の分解)
 - (2)特別管理産業廃棄物の種類:①廃アルカリ ②特定有害産業廃棄物(金属等を含む廃棄物)
- ・産業廃棄物収集運搬業許可(東京都) 許可番号 第1310003658号
 - (1)業の区分:収集・運搬(保管・積替えを含む)
 - (2)産業廃棄物の種類:燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、以上8種類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

収集運搬許可(大森興産㈱):[関東]東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉県、千葉市、茨城県栃木県、宇都宮市、埼玉県、群馬県、山梨県 [信越]新潟県 [東海]静岡県、浜松市、名古屋市 [近畿・中国]大阪市、東大阪市、神戸市、倉敷市
その他の地域は、ご相談下さい。

祝 創立 70 周年



「ガラスライニング槽の保温加工」



「アルマイ卜鍍金槽」

内外ハイグラス株式会社

代表取締役 **橘 恒一**

本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-6-17

TEL 03-3256-4055

千葉工場 〒283-0114 千葉県山武郡九十九里町真亀 861

TEL 0475-76-9331(代)

FAX 0475-76-9338

50 since 1968 JASCO th

日本表面化学株式会社

Eco Live Together

●三価クロム化成皮膜

トライナー（亜鉛めっき用）

TR-173シリーズ（有機型）

TR-175シリーズ（無機型）

TR-185シリーズ（黒色）

ベルスクード（アルミ・アルミ合金用）

VS-624

●均一電着型

ジンケートめっき

ハイバージンク

300（回転用）

9000（静止用）

●亜鉛ニッケル

合金めっき

ストロンNiジンク

ZN-208（アルカリ浴）

アシッドNiジンク

AZN-6900（酸性浴）

ALL OVER THE METAL

JASCO

技術とサービス

日本表面化学株式会社

<http://www.jasco-kk.co.jp>

本社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町20番地21

TEL 03-5367-6381

FAX 03-5367-4545

EMAIL info@jasco-kk.co.jp

営業部・海外部 0467-58-1131

名古屋支店 052-389-4031

大阪支店 06-6787-7531

東北営業所 022-784-1835

北関東営業所 0270-31-0277

排水中の残留亜鉛を低コストで処理

<特殊処理剤>

III NiF

Zスキャン⁺

「Zスキャン」はますます厳しくなる亜鉛などの排水規制値に対応した排水用特殊処理剤です。塩化アンモニウム浴などの亜鉛めっき排水で、従来の処理では残留してしまう亜鉛を確実に処理します。
①従来の凝集沈殿処理に添加、②凝集沈殿処理に替えてMICRO-FLO（膜分離）システムに添加、のいずれにも対応できます。

特長

- 既設の排水処理に添加することで排水規制値をクリアできます。
- 無機助剤法（鉄塩、カルシウム塩）で残留する亜鉛の処理に対応できます。
- 高アルカリ処理、硫化物処理の代替が可能です。
- 微細フロックにも対応できる MICRO-FLO（膜分離）システムで使用することで、さらに薬品の使用量を低減できます。

■処理水質（例） 処理水質の変化（亜鉛処理の場合） 単位：mg/L

	A社	B社	C社	D社
従来の処理	4.3	4.0	3.9	3.2
Zスキャン添加処理	0.7	0.9	0.4	0.6

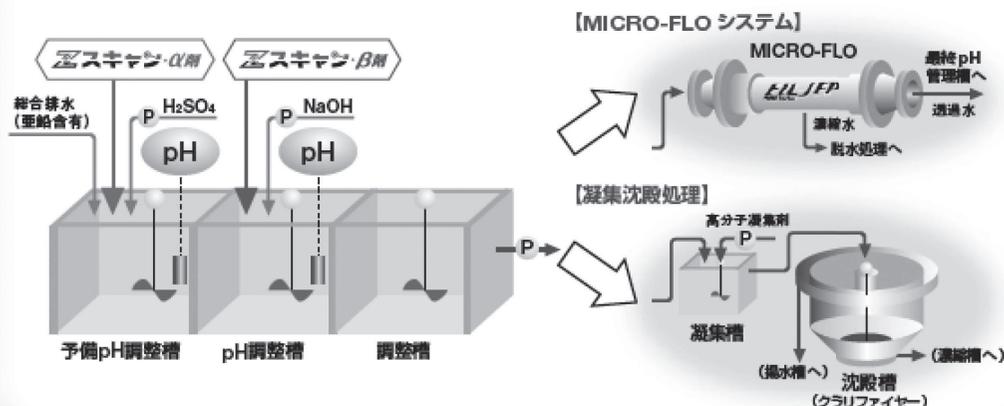
A社～D社の総合排水は100～400mg/Lの亜鉛を含む。
Zスキャン添加処理は、「Zスキャン」をα剤：0.5～2mL/L、β剤：0.5～1mL/L添加し、MICRO-FLOで処理した水質を示す。

商品名

Zスキャン⁺・α剤（型式：ZSC-101）<18L/個>

Zスキャン⁺・β剤（型式：ZSC-201）<18L/個>

「Zスキャン」による処理例



日本フィルター株式会社

本社／横浜市戸塚区上矢部町2107-3 ☎045-811-1531

<http://www.nihon-filter.com>

仙台営業所 ☎022(772)6050 名古屋営業所 ☎052(622)8562
大阪営業所 ☎072(626)8920 熊本営業所 ☎096(274)1515

日本鍍金協会・十日会 祝 創立70周年

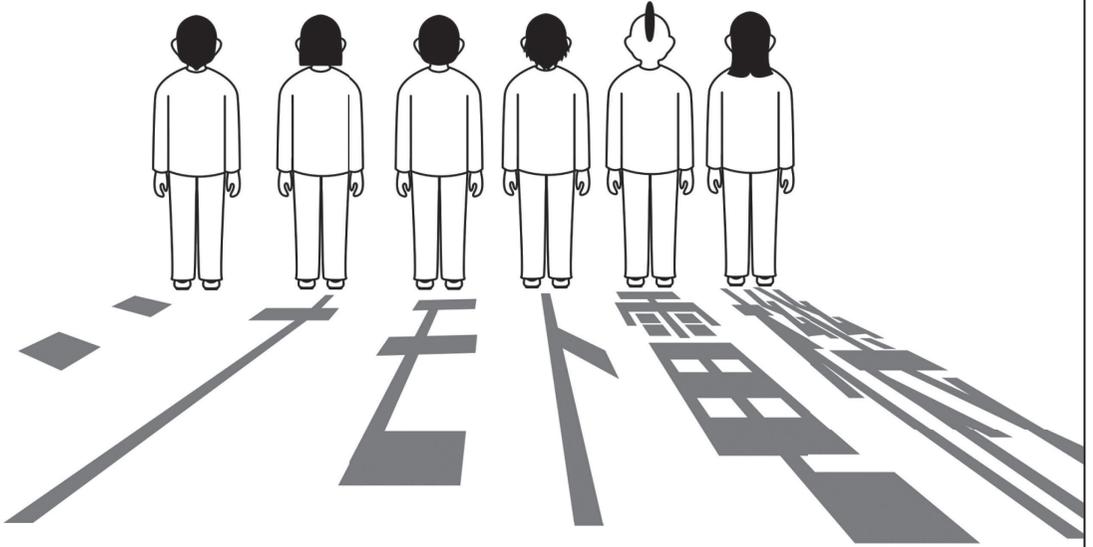
心よりお祝い申し上げます

日本鍍金材料協同組合

赤坂物産(株)	板通(株)	(株)上村	(株)SPF
大原研材(株)	奥野製薬工業(株)	関東金誠(株)	キクヤピーエム(株)
キザイ(株)	(株)クリタ	江東研磨材(有)	(株)コーテック
小金商事(株)	近藤耐酸槽(株)	(株)三工商会	(株)三社電機製作所
(株)三進製作所	(株)三松	三明化成(株)	サンライト(株)
JX金属商事(株)	(株)JCU	伸栄化学産業(株)	(株)タイホー
谷口ヒーターズ(株)	中央化学産業(株)	ディップソール(株)	(株)電測
(株)鍍研	中川化学装置(株)	二幸産業(株)	(株)西山脩次商店
日本化学産業(株)	日本テクノ(株)	日本表面化学(株)	日本マルセル(株)
日本ワコン(株)	(株)野坂電機	長谷川鍍研資(株)	長谷川鍍研薬品(株)
畑一産商(株)	(有)ハルナ鍍研材	不二ケミカル(株)	富士電機工業(株)
二葉産業(株)	(株)マミヤ	ミナモト電機(株)	(株)ミノショウ
(株)ムラタ	室町金属(株)	メルテックス(株)	森幸鍍金材料(株)
(株)山本鍍金試験器	ユケン工業(株)	横浜木村鍍研材(株)	(有)吉田メッキ材料店
(株)渡辺熱理興業			

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-13-8
電話：03-3666-2416 ファックス：03-3666-3114
U R L: <http://www.plama.or.jp/>

ミナモト電機って知ってる？



共創

お客様と共に作り上げる、それをモットーにしております。

我々は、工業用電機ヒーターの専門メーカーです。

 MINAMOTOELECTRIC Co.,Ltd.

住所：東京都葛飾区西新小岩 3-14-21

電話：03-5671-3710

FAX：03-5671-3878

ホームページ：<http://www.minamotoelectric.co.jp>

ミナモト電機

映像事業部もあるってよ...

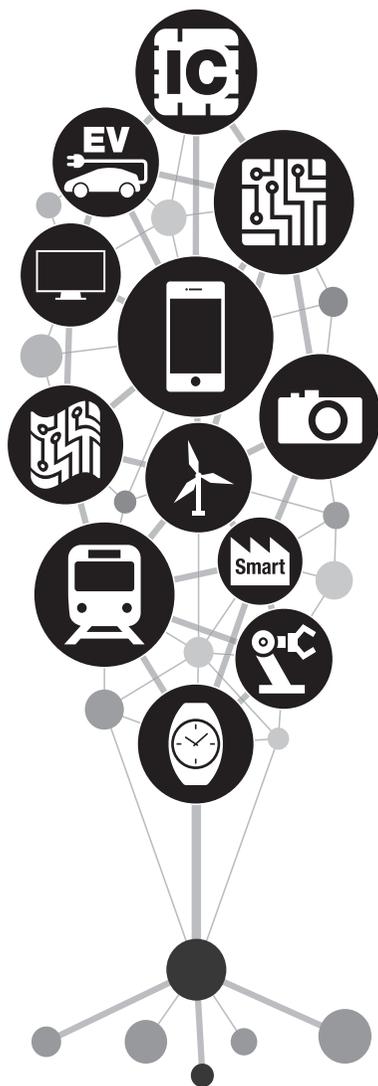
ここをスキャン→



企業PR動画も制作します!!

<https://www.minamoto-vision.com>

お客様と共に素晴らしい未来へ



 **Meltex** Link to X

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-2 イワキビル

TEL.03-3279-0671

<http://www.meltex.com/>



表面処理業の技術商社

めっき材料・工業薬品・研磨剤販売
めっき液分析・環境計量証明事業所

表面処理業のほしいもの・やりたいことをご相談ください

環境 ISO14001:2015 品質 ISO9001:2015

森幸鍍金材料株式会社

Moriko Electroplating Materials Inc.

- 本社：東京都港区浜松町 2-12-19
- 事業本部：東京都大田区京浜島 2-2-3
- Tel : 03-3790-1081 Fax : 03-3790-8556
- URL: <http://www.morikou.com>
- E-mail: info@morikou.com

祝 創立 70 周年

株式会社 上村

代表取締役 上村福子

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-10-5

営業所 〒114-0001 東京都北区東十条 3-8-13

TEL 03-5390-2781(代) FAX 03-5390-2875

祝 創立 70 周年

めっき材料販売・機械装置施工・メンテナンス修理

大原研材株式会社

東京都葛飾区宝町 1-3-11

TEL 03-3697-3241・FAX 03-3697-8915

<http://www.ohhara.co.jp>

祝 創立 70 周年

Your Dreams Come True

株式会社 **オカダテックス**

**SMART
ONE**

by

**PROCESS
TECHNOLOGY**



火事になりにくい SmartOne ヒーター

株式会社 **河口・サポート**

〒458-0847

名古屋市緑区浦里二丁目 11 番地

TEL 052-848-9235 • FAX 052-848-9237

<http://www.kawaguchi-support.jp>

重金属含有汚泥の再資源化
100%非鉄金属鉱山へ納入

カワハラメタル株式会社

本社 〒133-0061

東京都江戸川区篠崎町4-17-1



エコアクション21

TEL 03-3670-5251 FAX 03-3670-5244

<http://www.kawaharametal.com>

祝 創立 70 周年

非鉄金属/表面処理薬品/研磨材料

関東金誠株式会社

代表取締役 國井尚美

本 社 〒123-0844 東京都足立区興野 1-14-19

T E L 0 3 - 3 8 5 2 - 7 2 2 1

F A X 0 3 - 3 8 5 2 - 7 2 2 4

高 崎 〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町 746

営業所 T E L 0 2 7 - 3 4 6 - 3 9 2 5

F A X 0 2 7 - 3 4 6 - 3 9 2 0

祝 創立70周年

より美しく。より新しく。

表面処理の新時代をひらく。

キザイ株式会社

代表取締役 春日井 博丈

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 9-10

TEL 03(3662)8871 FAX 03(3661) 8636

営業所:東京・名古屋・大阪

海外代理店:台湾・韓国・マレーシア/シンガポール・インドネシア・香港・中国

<http://www.kizai-chem.co.jp>

★輝き続ける★を目指した 性能とアフターフォロー！

各種製品

CP1000

硫酸銅光沢剤

プロマスター5000L

高レベリング液性ニッケル光沢剤

リボルPXシリーズ

バレルニッケル光沢剤

ニプロン930

鉛フリー無電解ニッケル

エボニークロム

低電流密度黒クロムソルト

マーブル

硬質工務用クロム

クロミア-70 (70S)

低電流/低濃度クロムめっきソルト

※自動機ブラめっきに最適



㈱金属化工技術研究所

本社 〒131-4600 東京都墨田区立花4-28-22

☎ 03-3617-4600 FAX 03-3617-4688

東京 03-3617-4602 大阪 06-6783-3449

名古屋 052-902-3810 信栄産業㈱ 03-3617-4695



化学薬品を通して
技術の革新・未来の環境を新たに

埼玉薬品株式会社

工業薬品・試薬
理化学機器・他
お気軽にご相談下さい

埼玉薬品

検索

住所 〒337-0004

埼玉県さいたま市見沼区御町 1-43

TEL 048-686-5221 FAX 048-686-3332

Mail info@saitamayakuhin.co.jp

HP <http://www.saitamayakuhin.co.jp>

三明化成株式会社



本 社 〒141-8615

東京都品川区西五反田1-21-7

TEL 03-3490-3031 FAX 03-3493-6326

ホームページ <http://www.sunmay.co.jp>

川崎営業所 〒210-0854
相模営業所 〒252-0231
北関東営業所 〒374-0042
東北営業所 〒023-0132
山梨営業所 〒408-0203
福島営業所 〒960-8057
西日本営業所 〒501-6264

神奈川県川崎市川崎区浅野町3-6
神奈川県相模原市中央区相模原8-11-11
群馬県館林市近藤町691-3
岩手県奥州市水沢区羽田町字明生298-5
山梨県北杜市明野町三之蔵270-1
福島県福島市笹木野字南中谷地30-6
岐阜県羽島市小熊町島3-36

TEL 044-333-3031
TEL 042-757-0111
TEL 0276-75-3031
TEL 0197-22-5351
TEL 0551-25-4331
TEL 0245-57-8666
TEL 058-392-1323

三明国際有限公司 (香港)

3201-02,32/F,TrendyCenter,682-684
CastlePeak Road,Laichikok,Kowloon

TEL 852-2412-2882

THAI SANMEI Co.,LTD (タイ)

5 SITTHIVORAKIT 12thFl,SoiPipat,Silom
Road,BangRak,BangKok,10500

TEL 66-2238-4660

三明(広州)商貿有限公司 (中国)

広東省広州市天河区北路233号 中信広場2218

TEL 86-20-8752-1980

十日会創立 70 周年おめでとうございます

水と共に伸びて栄える会社

水の再利用方法、エネルギー資源の削減方法を提案します

- | | | |
|-----------|---|--------------|
| ●排水処理プロセス | ⇒ | 排水規制値引き下げに対応 |
| ●資源回収 | ⇒ | メッキ液の清澄化 |
| ●生産プロセス | ⇒ | 水変えて製品品質の向上 |
| ●純水製造プロセス | ⇒ | 純水レベルに最適な製造 |

SHiN·Ei

伸栄化学産業株式会社

〒341-0038 埼玉県三郷市中央 2 丁目 12-10

TEL:048-953-1616 FAX:048-953-1688

祝 創立 70 周年

未来に向けて躍進する
SKKの表面処理機器装置

新共立化工株式会社

代表取締役 植松 勉

〒333-0844 埼玉県川口市上青木 2-22-6

TEL 048-269-2726

FAX 048-267-7382

祝 創立 70 周年

水環境の豊かな社会を目指し、持続可能な水利用を実現する環境技術をご提案いたします。

新日本電工株式会社

代表取締役社長 白須 達朗

〒103-8282 東京都中央区八重洲 1-4-16
(東京建物八重洲ビル 4階)

TEL 03-6860-6814

FAX 03-6860-6836

www.nippondenko.co.jp

祝 創立 70 周年

有限会社シンワ電熱

代表取締役 加藤智之

〒132-0025 東京都江戸川区松江 2-29-14

TEL 03-5607-1187

FAX 03-5607-1182



美しい水をつくる。
美しい水を創造しつづける。

株式会社スイレイ

〒455-0803 愛知県名古屋市長区入場1丁目206-2 TEL.052-383-8585
<http://www.suirei.co.jp/>



匠の黒、
さらに凛々しく

美しい亜鉛めっきの黒色皮膜をお約束する
タイホーの3価ブラック

 zinc-black.com



株式会社 **タイホー**

埼玉県川口市東領家2-37-18
048-223-6786
<http://www.taihogroup.co.jp>

祝 創立 70 周年

地球をいとおしむ

ディップソールの表面処理プロセス

ディップソール株式会社

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-7-12

TEL 03-3548-9351

FAX 03-3548-9370

祝 創立 70 周年

膜厚計の総合メーカー

株式会社 電測

代表取締役 中村 博

〒164-0011 中野区中央 2-31-5

TEL 03-3365-4411

FAX 03-3371-1287

<http://www.densoku.com>

祝十日会創立 70 周年

田 口 利 一

株式会社 鍍 研

埼玉県北足立郡伊奈町小室 4811 〒362-0806

TEL048-722-1151 Fax 048-722-0209

営業所 群馬・栃木・福島・山形・秋田

<http://www.token-j.sakura.ne.jp>

おかげさまで創立 50 周年
これからもきれいな水と青空のために

中川化学装置株式会社

代表取締役社長 中川 武

〒112-0015 東京都文京区目白台 2-13-1

TEL: 03-3944-4451(代表)

FAX: 03-3944-3334

info@nakagawakagaku.co.jp

インドネシア・中国・ベトナム・フィリピン・タイ・メキシコ・ミャンマー

NYS

NISHIMURA CHEMITECH



SISECAM

トルコ SISECAM社 KROMSAN®

無水クロム酸 塩基性硫酸クロム(III)



日本総輸入元
株式会社西村ケミテック

品質・価格・納期お問い合わせ下さい

本社 〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目5番21号 TEL: 06-6773-2211 (大代表)

ホームページ <http://www.nishimura-ct.co.jp>

[人を大切に、技を大切に]

----- 化学に新しい風 -----



未来を見つめる
化学工業の
パイオニア

技術革新の一翼を担い、
幅広い分野の新素材、新製品を
生みだしています。

重クロム酸ナトリウム・カリウム

フレーク無水クロム酸

酸化クロム

硝酸クロム・硫酸クロム・リン酸クロム・塩化クロム

◀▶ 日本化学工業株式会社

〒136-8515 東京都江東区亀戸9-11-1
TEL 03-3636-8111 FAX 03-3636-6817

【お問い合わせ先】

営業本部

化学品営業部 第二グループ

TEL 03-3636-8438 FAX 03-3636-8463

大阪駐在

TEL 06-6202-1181 FAX 06-6202-3024

<http://www.nippon-chem.co.jp>

祝 創立70周年

膜厚測定・素材分析・材料試験・硬さ試験
測定機器のフィッシャー

株式会社 フィッシャー・インストルメンツ

東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-6 TEL: 03-3864-6101
S-GATE秋葉原ビル7階

本店事業所 TEL: 048-929-3455 名古屋営業所 TEL: 052-209-9910
大阪営業所 TEL: 06-6873-5560 九州サービスセンター TEL: 092-953-0547

www.helmutfischer.jp

祝 創立70周年

富士化学工業株式会社

代表取締役社長 遠藤憲雄

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 655-7
TEL 047-450-5511
FAX 047-450-9822

祝 創立 70 周年

株式会社マミヤ

本社 〒131-0041 東京都墨田区八広 1-31-11
TEL 03-3611-4121
FAX 03-3618-0381
倉庫 〒131-0041 東京都墨田区八広 3-4-2



YAMAMOTO-MS

ハルセルだけでなく、様々な実験用製品を数多く取り揃えています。ピーカーサイズから 100L 程度の各種実験用セットや MEMS・太陽電池・半導体・陽極酸化等の先端技術に欠かせない実験装置、その他試作や小規模生産も可能な装置など、様々なニーズに対応しためっき装置をご用意しております。
またお客様のご要望に合わせて特注品も作製しております。
是非ともお問い合わせください。

www.yamamoto-ms.co.jp

株式会社 山本鍍金試験器

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-28-1 TEL:03-3352-2475 info@yamamoto-ms.co.jp

祝 ✨ 創立 70 周年

「薬液移送」と「浮上油回収」の困ったを
オリジナル技術で解決します



株式
会社

ワールドケミカル

〒110-0016

東京都台東区台東 1-1-14 ANTEX24 3階

TEL : 03-5818-5130 FAX : 03-5818-5131

[http : //www.wcc.co.jp](http://www.wcc.co.jp)



祝 創立 70 周年

株式会社 ワールドメタル

代表取締役社長 林田洋之

本社 〒578-0903 東大阪市今米 2-1-29

TEL 072-967-2732

関東営業所 〒243-0021 厚木市岡田 2-8-28 パストラル飯島A202

TEL 046-229-4884

編集後記

よもや自分が、十日会創立 70 周年記念誌の編集委員長の大役を仰せつかるとは思いませんでした。その前の、十日会 60 周年記念、日本鍍金協会 50 周年記念のときには、役員幹事でしたのでお手伝いはしたものの、いざ編集委員長となると何をどうしていいものか、さっぱり見当もつきません。とりあえず、過去の 20 周年、30 周年、40 周年、50 周年、60 周年記念誌を参考にしようと思い、拝見したところ更なる重圧が押し掛かってきました。先輩方の企画力・構成などが素晴らしく、とても私には務まらない、これは早々に辞退しなければとの思いでした。しかし、実行委員長に石川英孝氏、会長に江原弾氏そして実行委員には、頼もしいメンバーが揃いましたので、記念事業の成功は皆さんに託す事とし、私は記念誌の構成に力を注ぐことに致しました。

輝くめっき！輝く未来！をコンセプトに掲げました。めっきは常にキラキラと輝いているもの、そして企業も常に輝いていなければならないとの意味です。

記念誌は、各団体からの祝辞、平成 20 年～29 年の 10 年間の事業報告と歴史年表、そして実行委員メンバーによる座談会の構成。目玉は座談会、会社経営方針など前回の 60 周年で話し合った内容と今で、考え方に違いがないのでは？とのことから始まりました。近い将来、人工知能 AI、IOT の活用、働き方改革など我々を取り巻く環境は目まぐるしく変貌していくことでしょう。これらをテーマにして、様々な意見交換をいたしました。自分たちで作る記念誌、討論する・司会する・協力するの精神が形となったことに満足しています。更に、70 周年ということで年齢が 69 歳から 71 歳になられた、諸先輩方から寄稿文をいただきました。十日会と共に歩んできた人生を振り返り、良き時代を歩んでこられたと実感いたしました。

この 10 年間には、岩手宮城内陸地震・東日本大震災・熊本地震・大雨による水害そして北海道胆振東部地震と甚大なる災害に見舞われております。日本中が復興に向け、歩んでいます。これからの、未来がより輝くことを心より祈念申し上げます。

むすびに記念誌の発刊にあたり、ご寄稿を頂いた皆様方に深甚なる感謝の意を表しますとともに、広告掲載にご協力いただきました、企業様に喪心より御礼申し上げます。

追伸 十日会創立 70 周年記念誌作成に際し、惜しみない協力をしていただいた石川実行委員長をはじめ、江原会長、そして実行委員のメンバーに有難うと言いたい。

十日会創立 70 周年記念誌編集委員長
柴田 徹



十日会創立 70 周年記念誌編集委員会

委員長 柴田 徹

委員 石川英孝、上原裕司、内藤喜達、八幡義一、
江原 弾、福井通人、田島正一、大村雅史、
川上隆史、小松慎司、村松康裕、蝦名一輝、
岡田祥一、島田昌潔

事務局 宮部圭典



題字 (公財)日本手芸普及協会 カリグラファー 池谷めぐみ

創立 70 周年記念誌
日本鍍金協会・十日会

2018 年 11 月 17 日発行 非売品

○発行 日本鍍金協会・十日会
東京都文京区湯島 1 丁目 11 番地 10 号 めっきセンター
東京都鍍金工業組合内
TEL:03-3824-5621 FAX:03-3816-6166
<http://www.tokakai.com/>

○編集 十日会創立 70 周年記念誌編集委員会

○編集協力 株式会社 アリカ

○印刷製本 株式会社 ニホンプリント

©2018 日本鍍金協会・十日会 Printed in Japan

※本書の内容を無断で複製・複製することは法律で定められた場合を除き、著作権・出版権の権利侵害となります。

※本書の内容は 2018 年 10 月現在のものです。



日本鍍金協会
十日会

十日会の会旗(ロゴマーク)について

当時、十日会役員の永田一雄氏がデザイン作成したものです。
会期デザインの意味について、当人に確認した所、真ん中の十字部分が漢字の「十」を意味し、周りの円については、漢字「日」を丸くしたものという事でした。

これにより、現在でも総会等で使われる十日会の会旗が完成しました。

